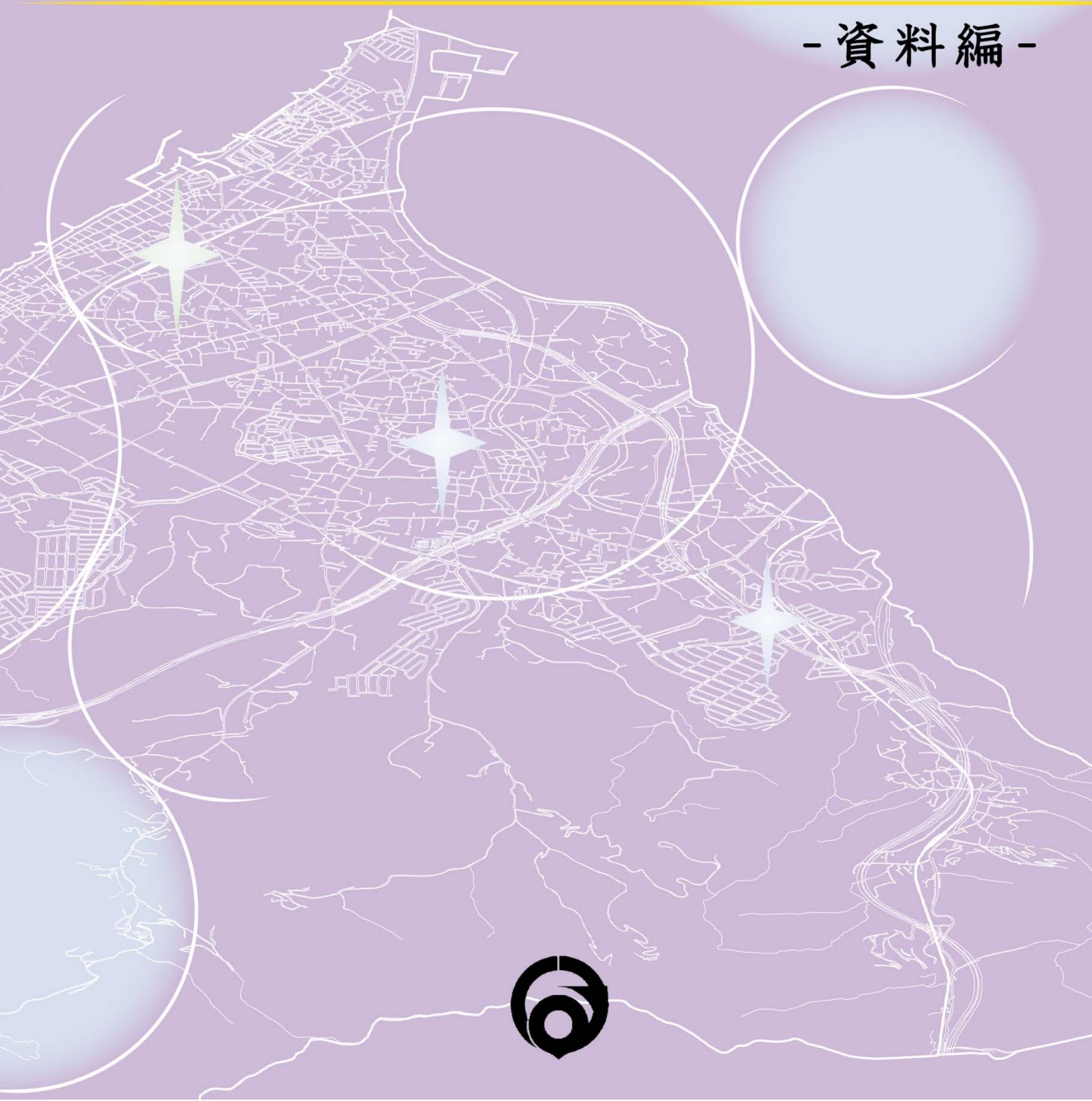




阪南市公共交通基本計画

- 資料編 -





目 次

1. 住民アンケート調査	1
1.1 調査概要	1
1.2 回答状況	2
1.3 回答者属性	2
1.4 普段の外出状況	4
1.4.1 平日の外出状況	4
1.4.2 休日の外出状況	8
1.4.3 同伴者との外出状況	12
1.4.4 普段の移動における満足度	13
1.4.5 交通手段別に見た出発時間の状況	14
1.4.6 バス交通の利便性と必要性	16
1.5 市内バスの利用状況	18
1.6 公共交通の税負担に関する意識	22
1.7 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度	23
1.8 将来における外出	27
1.9 尾崎駅周辺のまちづくりのあり方	30
1.10 ご近所付き合いの状況	31
1.11 自由意見	32
2. バス利用実態調査	34
2.1 バス利用実態調査概要	34
2.2 路線バス	35
2.2.1 利用者数	35
2.2.2 年齢別に見た利用者数	36
2.2.3 運行時間帯別	36
2.2.4 バス停別乗降人員	37
2.2.5 尾崎駅前時間帯別乗降人員	39
2.2.6 箱作駅前時間帯別乗降人員	40
2.2.7 OD 集計結果	41
2.3 コミュニティバス「さつき号」	43
2.3.1 利用者数	43
2.3.2 年齢別に見た利用者数	44
2.3.3 運行時間帯別【全コース】	45
2.3.4 運行便別【コース別】	45
2.3.5 バス停別乗降人員	46
2.3.6 区間別乗車人員	49
2.3.7 OD 集計結果	61



3. コミュニティバス利用者ヒアリング調査	68
3.1 コミュニティバス利用者ヒアリング調査概要.....	68
3.2 集計結果	69
3.2.1 回答者属性.....	69
3.2.2 コミュニティバス「さつき号」の利用状況	71
3.2.3 サービス向上による利用意向と支払可能金額	72
3.2.4 これまでのルートや時刻表の変更による利用状況の変化	74
【参考資料 1】住民アンケート調査依頼文・調査票.....	75
【参考資料 2】コミュニティバス利用者ヒアリング調査票.....	86



1. 住民アンケート調査

1.1 調査概要

阪南市公共交通基本計画を策定するにあたって、市民の交通行動、生活実態等を調査すること
で、公共交通に対するニーズ等を把握するために住民アンケート調査を実施した。

(1) 調査方法

住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収
(6ヶ月以上在住者対象、地区別・年代別・性別ごとに阪南市の人口構成に応じて均等抽出)

(2) 調査対象

阪南市在住の15歳以上の市民

(3) 調査規模

阪南市全域で3,000部郵送
(尾崎地区：382部、東鳥取地区：1,278部、西鳥取地区：632部、下荘地区：708部)

(4) 調査時期

平成28年12月22日(木)～平成29年1月17日(火)

(5) 調査項目

- ① 普段の外出状況
- ② 市内バスの利用状況
- ③ 公共交通の税負担に対する意識
- ④ 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度
- ⑤ 将来における外出
- ⑥ 尾崎駅周辺のまちづくりのあり方
- ⑦ ご近所付き合いの状況

(6) 注意事項

- ・グラフ及び表中の構成比(%)は、小数第2位を四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。
- ・サンプル数の見方について、基数となるべき実数は「n」(回答者数)、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としています。
- ・属性別のクロス集計については、各属性(性別、年齢、地区等)が無回答のサンプルを除外して集計しています。そのため、属性ごとの各選択肢の回答数を合計しても、調査結果全体の数値と一致しない場合があります。
- ・複数回答方式では、割合を算出する分母として、各質問に回答した回答者数としています。このため、回答の合計は100%を超える場合があります。

1.2 回答状況

- 回答部数は 1,152 票、回答率は 38.4%である。
- 回答者の平均年齢は 58 歳であり、高齢者及び 10 年後に高齢者となる世代の割合が多いアンケートデータである。

表 1.1 阪南市の人口構成に対する回答部数

	阪南市 性別・年齢別・地区別人口 (平成28年9月末現在)									住民アンケート回答者の状況									
	男性				女性				計	男性				女性				未回答	回答部 数合計
	15～ 54歳	55～ 64歳	65～ 74歳	75歳 以上	15～ 54歳	55～ 64歳	65～ 74歳	75歳 以上		15～ 54歳	55～ 64歳	65～ 74歳	75歳 以上	15～ 54歳	55～ 64歳	65～ 74歳	75歳 以上		
尾崎地区	1,655	515	529	294	1,774	516	606	532	6,421	29	9	9	9	34	17	11	18	2	138
東鳥取地区	5,729	1,597	1,744	962	5,913	1,761	1,949	1,537	21,192	65	29	63	31	108	38	59	44	0	437
西鳥取地区	2,388	904	1,131	648	2,487	1,065	1,143	888	10,654	35	21	27	18	46	27	46	24	1	245
下荘地区	3,158	808	958	586	3,238	861	1,028	847	11,484	47	18	31	21	76	32	37	20	3	285
未回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0	0	4	3	1	1	10	24	47
合計	12,930	3,824	4,362	2,490	13,412	4,203	4,726	3,804	49,751	180	77	130	83	267	115	154	116	30	1,152
割合	26.0%	7.7%	8.8%	5.0%	27.0%	8.4%	9.5%	7.6%	100.0%	15.6%	6.7%	11.3%	7.2%	23.2%	10.0%	13.4%	10.1%	2.6%	100.0%
	47.4%				52.6%					40.8%				56.6%					

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある。

1.3 回答者属性

(1) 普段の外出頻度

- 普段の外出頻度を年齢別に見ると、ほぼ毎日外出する方は 15～54 歳が約 8 割に対して、65～74 歳が約 4 割、75 歳以上が約 3 割と低い。

表 1.2 外出頻度（年齢別）

	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日 程度	月に1～2日 程度	月に1日 未満	計
回答者数(n=1127)	59.0%	22.7%	13.8%	3.4%	1.1%	100.0%
15～54歳(n=448)	80.4%	10.7%	7.6%	0.9%	0.4%	100.0%
55～64歳(n=192)	65.1%	21.9%	10.4%	2.1%	0.5%	100.0%
65～74歳(n=283)	41.7%	37.8%	16.3%	3.2%	1.1%	100.0%
75歳以上(n=198)	30.3%	29.8%	27.3%	9.6%	3.0%	100.0%

(2) 自動車等の保有状況

- 自動車等の保有状況を年齢別に見ると、自動車を自分で運転する方は、65～74 歳の方の割合も高く、自転車を保有している方は 75 歳以上の方も目立つ。

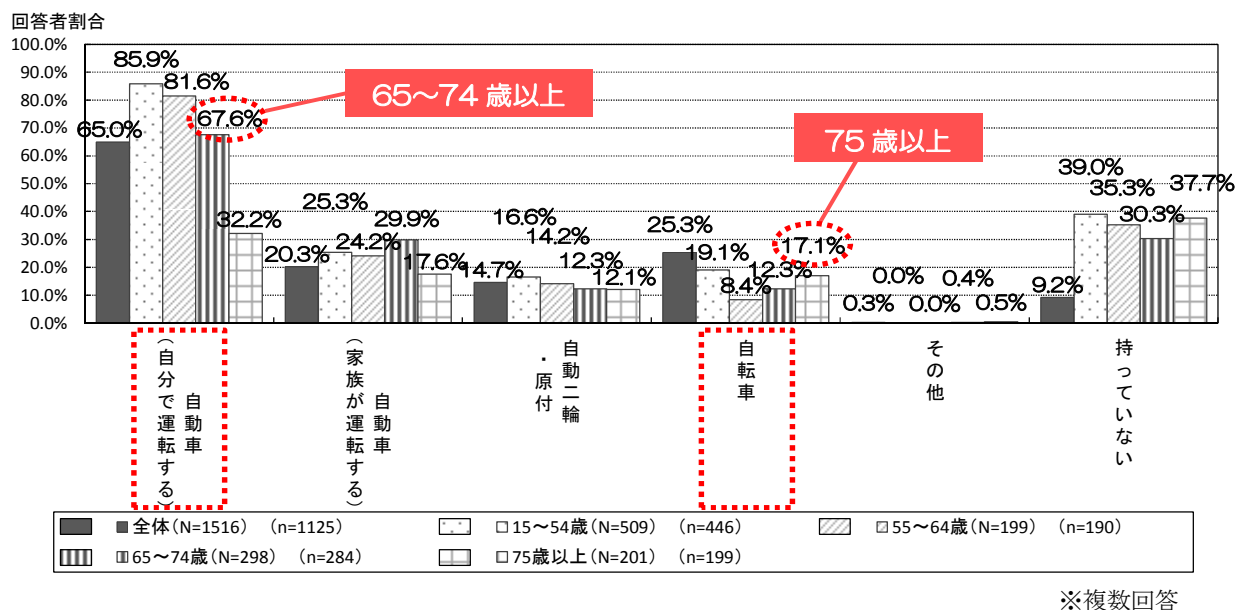


図 1.1 自動車等の保有状況（年齢別）

(3) 同居人の状況

- 同居人の状況を年齢別に見ると、移動が困難な家族と同居や一人暮らしの方は、75 歳以上の方が多い。

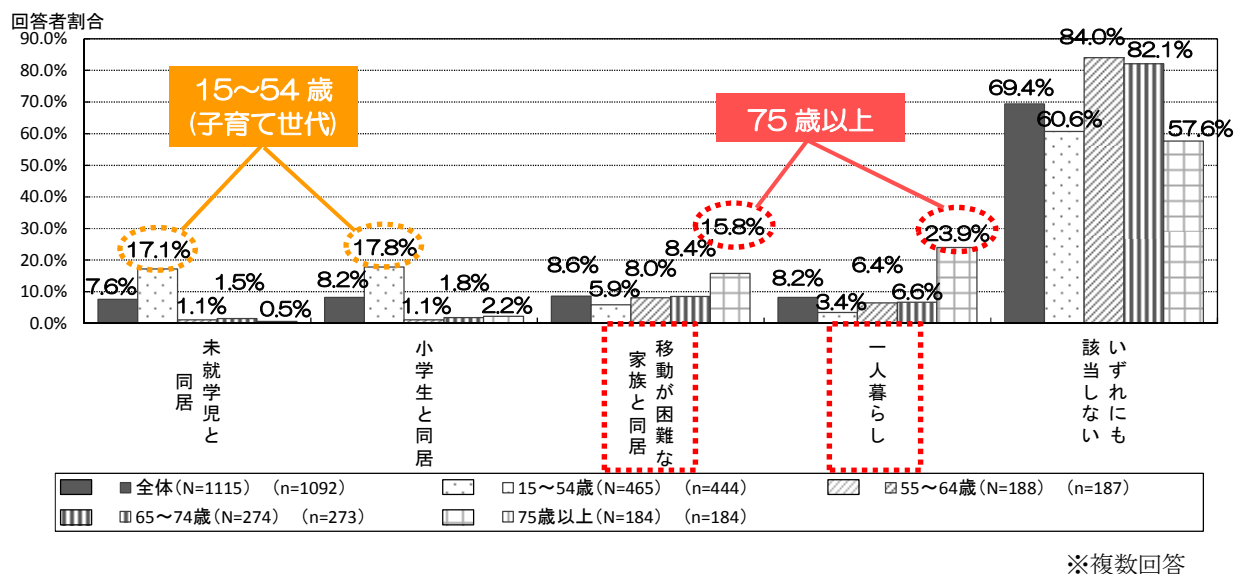


図 1.2 同居人の状況（年齢別）

1.4 普段の外出状況

1.4.1 平日の外出状況

(1) 外出目的

- 外出目的を年齢別で見ると、通勤・通学の外出は15～54歳が約7割、買い物は65～74歳及び75歳以上が約6割を占める。
- 外出目的を主な外出先別に見ると、尾崎駅周辺は買い物が約6割を占め、その他阪南市内や鳥取ノ荘駅周辺は買い物が約5割、泉南市は通勤・通学が約5割、買い物が約3割、大阪市は通勤・通学が約9割を占める。

表 1.3 外出目的（年齢別（平日））

年齢別	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	計
回答者数(n=1136)	38.9%	42.3%	6.4%	5.8%	6.5%	100.0%
15～54歳(n=445)	70.6%	22.0%	0.7%	2.9%	3.8%	100.0%
55～64歳(n=191)	40.3%	45.5%	5.2%	3.1%	5.8%	100.0%
65～74歳(n=282)	16.0%	61.0%	5.0%	10.3%	7.8%	100.0%
75歳以上(n=196)	0.5%	58.7%	20.4%	8.7%	11.7%	100.0%

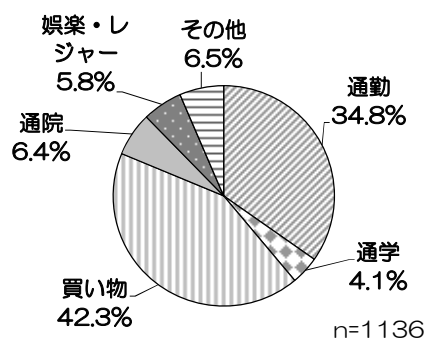


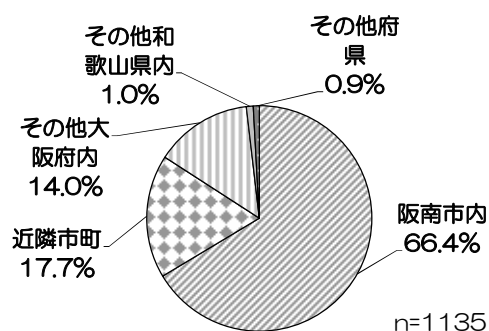
図 1.3 外出目的（全体（平日））

表 1.4 外出目的（主な外出先別（平日））

		通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	計
回答者数(n=1136)		38.9%	42.3%	6.4%	5.8%	6.5%	100.0%
阪南市内	尾崎駅周辺(n=461)	18.0%	64.0%	7.2%	6.3%	4.6%	100.0%
	その他阪南市内(n=123)	13.8%	52.0%	8.1%	14.6%	11.4%	100.0%
	鳥取ノ荘駅周辺(n=76)	27.6%	50.0%	9.2%	2.6%	10.5%	100.0%
近隣市町	泉南市(n=85)	47.1%	34.1%	1.2%	7.1%	10.6%	100.0%
その他大阪府内	大阪市(n=78)	91.0%	1.3%	0.0%	1.3%	6.4%	100.0%

(2) 主な外出先

- 主な外出先を見ると、阪南市内が約 7 割を占める。主な外出先の内訳を見ると、尾崎駅周辺が最も多く全体の約 4 割を占める。市外は、泉南市、大阪市、泉佐野市の順でいずれも 1 割未満である。



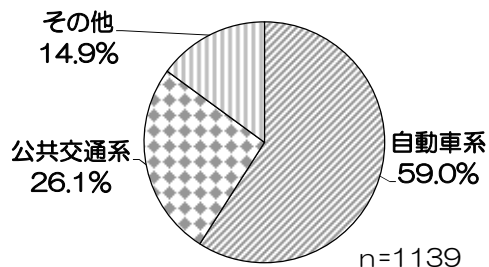
	回答数	割合
阪南市内 (n=754)	754	66.4%
尾崎駅周辺 (n=464)	464	40.9%
鳥取ノ荘駅周辺 (n=76)	76	6.7%
箱作駅周辺 (n=44)	44	3.9%
和泉鳥取駅周辺 (n=39)	39	3.4%
その他阪南市内 (n=126)	126	11.1%
未回答・不明 (n=5)	5	0.4%
近隣市町 (n=201)	201	17.7%
泉南市 (n=85)	85	7.5%
泉佐野市 (n=62)	62	5.5%
岬町 (n=11)	11	1.0%
和歌山市 (n=35)	35	3.1%
未回答・不明 (n=8)	8	0.7%
その他大阪府内 (n=159)	159	14.0%
大阪市 (n=78)	78	6.9%
岸和田市 (n=20)	20	1.8%
堺市 (n=16)	16	1.4%
その他 (n=41)	41	3.6%
未回答・不明 (n=4)	4	0.4%
その他和歌山県内 (n=11)	11	1.0%
その他府県 (n=10)	10	0.9%
計 (n=1135)	1,135	100.0%

図 1.4 主な外出先（平日）

(3) 外出先への交通手段

■全体

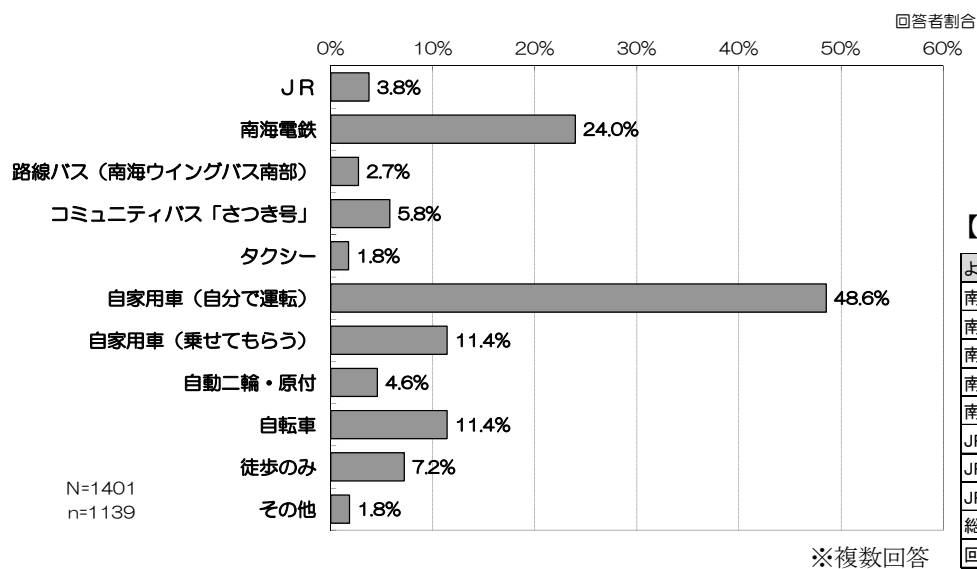
➤ 外出先への交通手段を見ると、自動車系が約 6 割、公共交通系が約 3 割を占める。



※主な外出先への交通手段を以下の交通手段別で分類している。

- ・ 公共交通系：JR、南海電鉄、路線バス（南海ウイングバス南部）、コミュニティバス「さつき号」、タクシー
- ・ 自動車系：自家用車（自分で運転）、自家用車（乗せてもらう）
- ・ その他：自動二輪、自転車、徒歩のみ、その他

図 1.5 主な外出先への交通手段分担率（全体）



【よく利用する鉄道駅】

よく利用する鉄道駅名	回答数
南海樽井駅	1
南海尾崎駅	99
南海鳥取ノ荘駅	31
南海箱作駅	57
南海淡輪駅	1
JR和泉砂川駅	3
JR和泉鳥取駅	22
JR山中溪駅	1
総回答数	215
回答者数	212

※複数回答

図 1.6 主な外出先への交通手段（全体）

■主な外出先別の交通手段

- 外出先への交通手段を主な外出先別に見ると、阪南市内では約 5～7 割が自動車系による移動で、泉南市は自動車系が約 9 割を占める。大阪市は公共交通系が約 9 割を占める。

表 1.5 主な外出先別の交通手段

		JR	南海電鉄	路線バス (南海ウイングバス南部)	コミュニティバス「さつき号」	タクシー	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (乗せてもらう)
総回答数 (N=1401)		3.8%	24.0%	2.7%	5.8%	1.8%	48.6%	11.4%
阪南市内	尾崎駅周辺 (N=594)	1.3%	18.2%	3.2%	10.6%	1.7%	47.4%	14.7%
	その他阪南市内 (N=146)	1.6%	8.1%	0.0%	1.6%	3.2%	58.1%	10.5%
	鳥取ノ荘駅周辺 (N=92)	0.0%	14.5%	1.3%	6.6%	5.3%	35.5%	14.5%
近隣市町	泉南市 (N=93)	3.5%	4.7%	2.4%	2.4%	0.0%	80.0%	10.6%
その他 大阪府内	大阪市 (N=107)	9.0%	88.5%	6.4%	1.3%	0.0%	10.3%	2.6%

		自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	計
総回答数 (N=1401)		4.6%	11.4%	7.2%	1.8%	123.0%
阪南市内	尾崎駅周辺 (N=594)	4.5%	16.7%	8.7%	1.5%	128.6%
	その他阪南市内 (N=146)	3.2%	16.1%	12.9%	2.4%	117.7%
	鳥取ノ荘駅周辺 (N=92)	9.2%	10.5%	21.1%	2.6%	121.1%
近隣市町	泉南市 (N=93)	3.5%	1.2%	0.0%	1.2%	109.4%
その他 大阪府内	大阪市 (N=107)	6.4%	7.7%	1.3%	3.8%	137.2%

※主な外出先別の交通手段は複数回答

※平日の主な外出先上位 5 位を対象に集計

表 1.6 主な外出先別の交通手段分担率

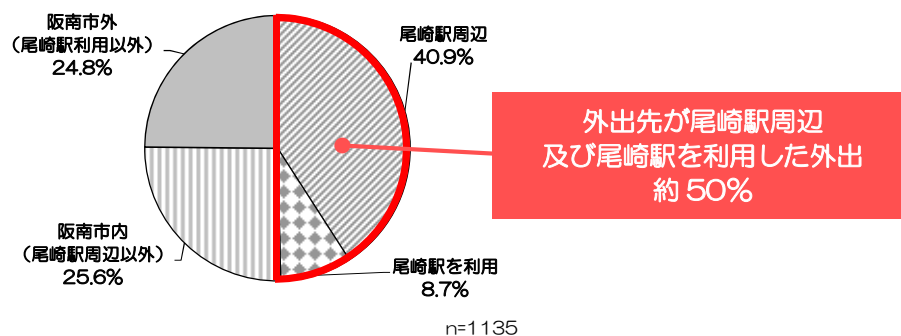
		自動車系	公共交通系	その他
総回答数 (N=1401)		59.0%	26.1%	14.9%
阪南市内	尾崎駅周辺 (N=594)	61.0%	19.0%	20.0%
	その他阪南市内 (N=146)	65.0%	10.0%	25.0%
	鳥取ノ荘駅周辺 (N=92)	50.0%	17.0%	33.0%
近隣市町	泉南市 (N=93)	89.0%	6.0%	5.0%
その他 大阪府内	大阪市 (N=107)	12.8%	86.0%	1.2%

※主な外出先への交通手段を以下の交通手段別で分類している。

- ・公共交通系：JR、南海電鉄、路線バス（南海ウイングバス南部）、コミュニティバス「さつき号」、タクシー
- ・自動車系：自家用車（自分で運転）、自家用車（乗せてもらう）
- ・その他：自動二輪、自転車、徒歩のみ、その他

■外出先が尾崎駅周辺及び尾崎駅を利用して外出する方の割合

- 外出する方のうち、外出先が尾崎駅周辺及び尾崎駅を利用して外出する方の割合は、約 5 割を占める。



1.4.2 休日の外出状況

(1) 外出目的

- 外出目的を年齢別で見ると、買い物の外出が、全世代とも約 6～7 割を占める。
- 外出目的を主な外出先別に見ると、尾崎駅周辺や泉南市は買い物が約 8 割を占め、その他阪南市内や泉佐野市は買い物が約 6 割、大阪市は娯楽・レジャーが約 5 割を占める。

表 1.7 外出目的（年齢別（休日））

年齢別	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	計
回答者数(n=1067)	1.8%	66.6%	2.2%	20.1%	9.3%	100.0%
15～54歳(n=443)	3.2%	64.6%	0.2%	24.8%	7.2%	100.0%
55～64歳(n=191)	1.0%	69.1%	0.5%	17.8%	11.5%	100.0%
65～74歳(n=263)	1.1%	69.6%	0.8%	18.3%	10.3%	100.0%

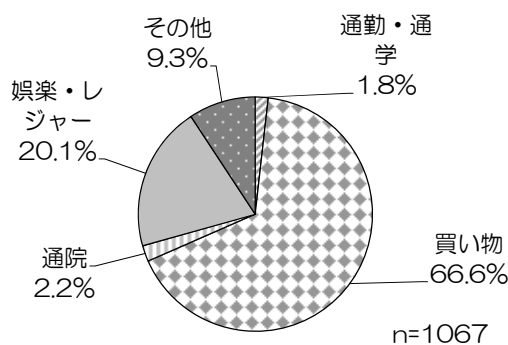


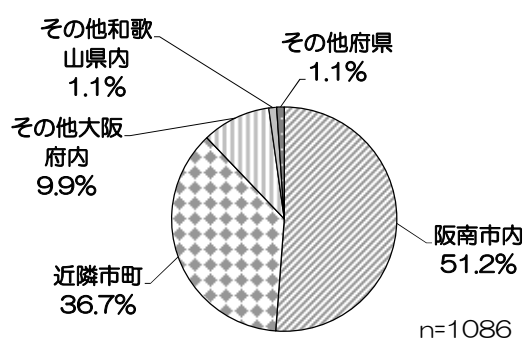
図 1.8 外出目的（全体（休日））

表 1.8 外出目的（主な外出先別（休日））

		通勤・通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	計
回答者数(n=1067)		1.8%	66.6%	2.2%	20.1%	9.3%	100.0%
阪南市内	尾崎駅周辺(n=375)	0.8%	81.3%	2.9%	9.9%	5.1%	100.0%
	その他阪南市内(n=98)	0.0%	58.2%	6.1%	20.4%	15.3%	100.0%
近隣市町	泉南市(n=280)	0.4%	78.2%	0.4%	19.6%	1.4%	100.0%
	泉佐野市(n=66)	1.5%	60.6%	0.0%	25.8%	12.1%	100.0%
その他大阪府内	大阪市(n=70)	2.9%	37.1%	0.0%	51.4%	8.6%	100.0%

(2) 主な外出先

- 主な外出先を見ると、阪南市内が約 5 割を占める。主な外出先の内訳を見ると、尾崎駅周辺が最も多く約 4 割を占める。市外は、泉南市が約 3 割、大阪市と泉佐野市ともに約 1 割である。



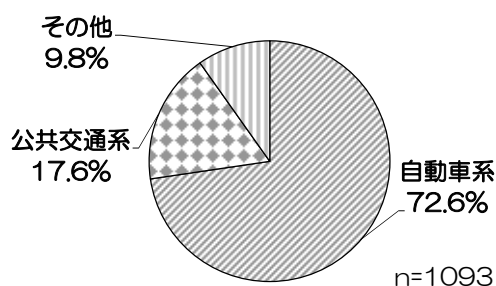
	回答数	割合
阪南市内 (n=556)	556	51.2%
尾崎駅周辺 (n=384)	384	35.4%
鳥取ノ荘駅周辺 (n=30)	30	2.8%
箱作駅周辺 (n=18)	18	1.7%
和泉鳥取駅周辺 (n=14)	14	1.3%
その他阪南市内 (n=100)	100	9.2%
未回答・不明 (n=10)	10	0.9%
近隣市町 (n=399)	399	36.7%
泉南市 (n=281)	281	25.9%
泉佐野市 (n=67)	67	6.2%
岬町 (n=13)	13	1.2%
和歌山市 (n=33)	33	3.0%
未回答・不明 (n=5)	5	0.5%
その他大阪府内 (n=107)	107	9.9%
大阪市 (n=70)	70	6.4%
岸和田市 (n=6)	6	0.6%
その他 (n=20)	20	1.8%
未回答・不明 (n=7)	7	0.6%
その他和歌山県内 (n=12)	12	1.1%
その他府県 (n=12)	12	1.1%
計 (n=1086)	1,086	100.0%

図 1.9 主な外出先（休日）

(3) 外出先への交通手段

■全体

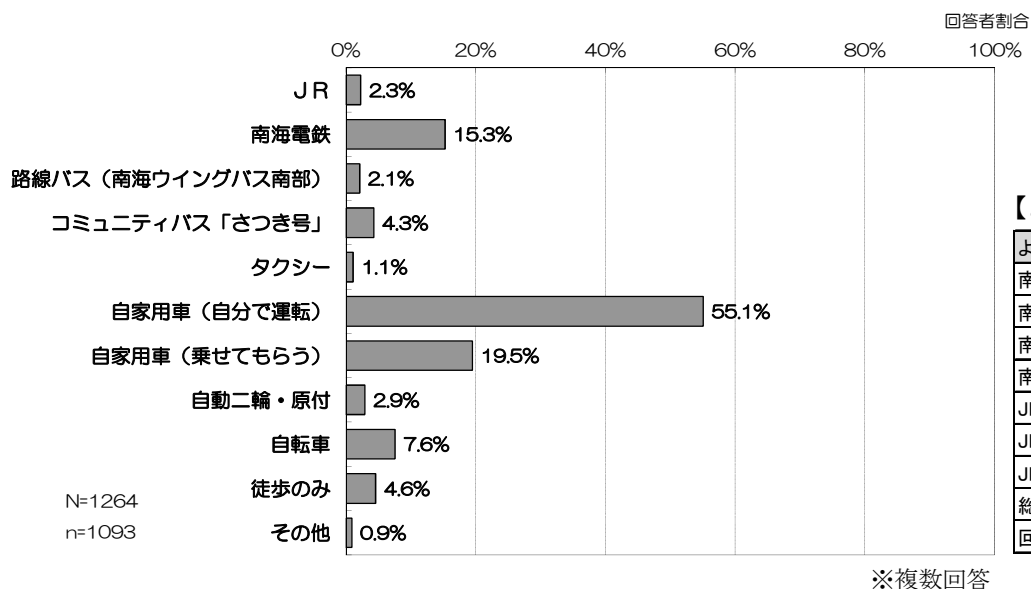
- 外出先への交通手段を見ると、自動車系が約7割、公共交通系が約2割を占め、平日よりも休日の方が自家用車の分担率が高い。



※主な外出先への交通手段を以下の交通手段別で分類している。

- ・ 公共交通系：JR、南海電鉄、路線バス（南海ウイングバス南部）、コミュニティバス「さつき号」、タクシー
- ・ 自動車系：自家用車（自分で運転）、自家用車（乗せてもらう）
- ・ その他：自動二輪、自転車、徒歩のみ、その他

図 1.10 主な外出先への交通手段分担率（全体）



【よく利用する鉄道駅】

よく利用する鉄道駅名	回答数
南海樽井駅	2
南海尾崎駅	58
南海鳥取ノ荘駅	17
南海箱作駅	30
JR和泉砂川駅	1
JR和泉鳥取駅	14
JR山中溪駅	1
総回答数	123
回答者数	123

※複数回答

図 1.11 外出先への交通手段（全体）

■主な外出先別の交通手段

- 外出先への交通手段を主な外出先別に見ると、阪南市内では約 6～7 割が自動車系による移動で、泉南市と泉佐野市は自動車系が約 9 割を占める。大阪市は公共交通系が約 9 割を占める。

表 1.9 主な外出先別の交通手段

	JR	南海電鉄	路線バス (南海ウイングバス 南部)	コミュニ ティバス 「さつき 号」	タクシー	自家用車 (自分で 運転)	自家用車 (乗せても らう)
総回答数 (N=1264)	2.3%	15.3%	2.1%	4.3%	1.1%	55.1%	19.5%
阪南市内							
尾崎駅周辺 (N=464)	1.1%	15.3%	3.4%	8.2%	1.1%	51.8%	17.9%
その他阪南市内 (N=120)	1.0%	9.3%	0.0%	5.2%	5.2%	53.6%	15.5%
近隣市町							
泉南市 (N=296)	0.4%	2.8%	0.4%	0.4%	0.0%	69.8%	26.3%
泉佐野市 (N=74)	1.5%	10.4%	1.5%	3.0%	1.5%	61.2%	28.4%
その他 大阪府内							
大阪市 (N=87)	13.0%	82.6%	8.7%	4.3%	0.0%	5.8%	0.0%

	自動二 輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	計
総回答数 (N=1264)	2.9%	7.6%	4.6%	0.9%	115.6%
阪南市内					
尾崎駅周辺 (N=464)	4.2%	12.1%	6.1%	1.1%	122.1%
その他阪南市内 (N=120)	3.1%	14.4%	15.5%	1.0%	123.7%
近隣市町					
泉南市 (N=296)	1.8%	2.5%	0.7%	0.4%	105.3%
泉佐野市 (N=74)	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	110.4%
その他 大阪府内					
大阪市 (N=87)	0.0%	8.7%	1.4%	1.4%	126.1%

※主な外出先別の交通手段は複数回答

※平日の主な外出先上位 5 位を対象に集計

表 1.10 主な外出先別の交通手段分担率

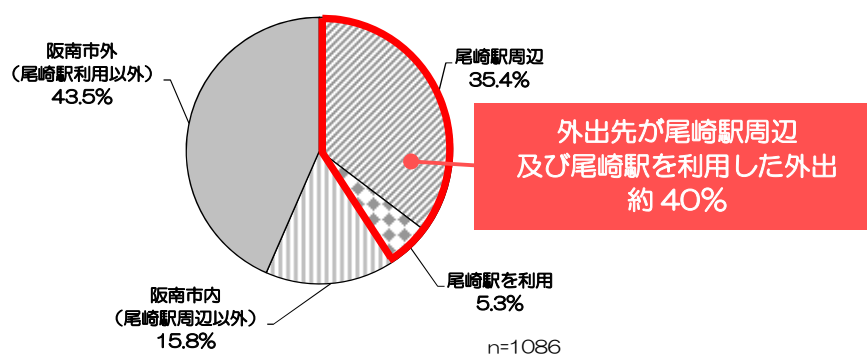
	自動車系	公共交通系	その他
総回答数 (N=1264)	72.6%	17.6%	9.8%
阪南市内			
尾崎駅周辺 (N=464)	67.0%	18.0%	15.0%
その他阪南市内 (N=120)	64.0%	11.0%	25.0%
近隣市町			
泉南市 (N=296)	94.0%	2.0%	4.0%
泉佐野市 (N=74)	88.0%	10.0%	2.0%
その他 大阪府内			
大阪市 (N=87)	5.8%	91.0%	3.2%

※主な外出先への交通手段を以下の交通手段別で分類している。

- ・ 公共交通系：JR、南海電鉄、路線バス（南海ウイングバス南部）、コミュニティバス「さつき号」、タクシー
- ・ 自動車系：自家用車（自分で運転）、自家用車（乗せてもらう）
- ・ その他：自動二輪、自転車、徒歩のみ、その他

■外出先が尾崎駅周辺及び尾崎駅を利用して外出する方の割合

- 外出する方のうち、外出先が尾崎駅周辺及び尾崎駅を利用して外出する方の割合は約 4 割であり、平日と比べて約 1 割少ない。



1.4.3 同伴者との外出状況

(1) 普段の外出時における同伴者の状況

- 普段の外出時における同伴者の状況は、約 7 割の方が誰かと一緒に外出している。配偶者が最も多く、次いで子供、父親・母親、友人の順であり、家族との外出が多くを占める。

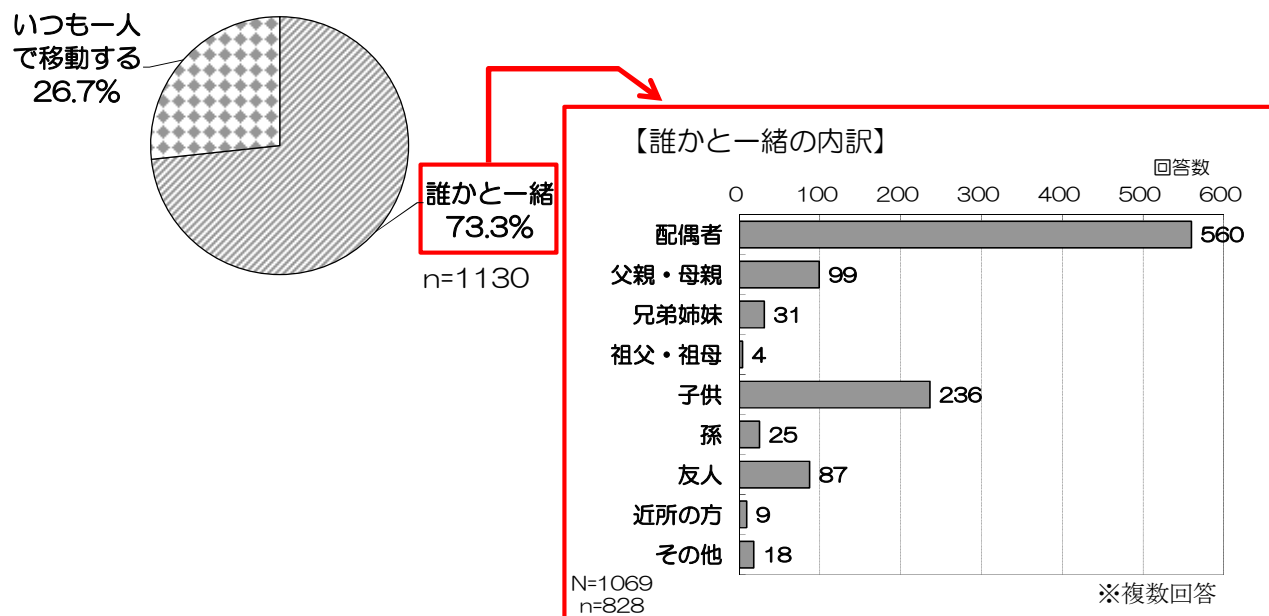


図 1.13 普段の外出時における同伴者の状況

(2) 同伴者との外出頻度（同伴者との外出目的別）

- 同伴者との外出頻度を同伴者との外出目的別に見ると、買い物や娯楽・レジャーでは週に 1～2 日程度が最も多い。

表 1.11 同伴者との外出頻度（同伴者との外出目的別）

年齢別	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日程度	月に1～2日程度	月に1日未満	計
回答者数(n=764)	8.5%	18.2%	47.8%	21.1%	4.5%	100.0%
通勤・通学(n=21)	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
買い物(n=579)	5.9%	20.4%	51.6%	18.8%	3.3%	100.0%
通院(n=40)	2.5%	15.0%	42.5%	30.0%	10.0%	100.0%
娯楽・レジャー(n=80)	3.8%	7.5%	43.8%	37.5%	7.5%	100.0%
その他(n=38)	23.7%	10.5%	31.6%	21.1%	13.2%	100.0%

(3) 外出先への交通手段別に見た普段の外出時における同伴者の状況

- ▶ 同伴者との外出状況を外出先への交通手段別に見ると、友人との外出は家族の場合に比べ、公共交通利用の割合が高い。休日は平日に比べて、自動車系の分担率が高い傾向にある。

表 1.12 外出先への交通手段別に見た普段の外出時における同伴者の状況

		JR	南海電鉄	路線バス(南海ウイングバス南部)	コミュニティバス「さつき号」	タクシー	自家用車(自分で運転)	自家用車(乗せてもらう)
平日	配偶者(N=560)	2.7%	20.6%	0.5%	2.7%	0.5%	52.2%	9.5%
	父親・母親(N=82)	6.2%	32.1%	0.0%	1.2%	0.0%	42.0%	9.9%
	子供(N=97)	4.2%	17.7%	7.3%	0.0%	2.1%	41.7%	26.0%
	友人(N=47)	8.5%	51.1%	8.5%	6.4%	0.0%	21.3%	6.4%
	いつも一人で移動する(N=302)	4.7%	24.0%	0.0%	6.3%	0.3%	42.3%	1.0%
休日	配偶者(N=538)	2.0%	7.1%	0.4%	2.2%	0.2%	61.3%	21.7%
	父親・母親(N=86)	1.2%	18.3%	1.2%	0.0%	0.0%	46.3%	31.7%
	子供(N=99)	1.1%	15.7%	4.5%	0.0%	1.1%	51.7%	29.2%
	友人(N=58)	6.5%	41.3%	10.9%	4.3%	2.2%	30.4%	6.5%
	いつも一人で移動する(N=288)	3.1%	24.3%	0.3%	3.5%	0.7%	46.2%	2.4%

		自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	計	自動車系	公共交通系
平日	配偶者(N=560)	2.3%	5.2%	3.4%	0.4%	100.2%	61.7%	38.3%
	父親・母親(N=82)	1.2%	6.2%	2.5%	2.5%	101.2%	51.9%	48.1%
	子供(N=97)	4.2%	10.4%	8.3%	2.1%	101.0%	67.7%	32.3%
	友人(N=47)	2.1%	12.8%	6.4%	0.0%	100.0%	27.7%	72.3%
	いつも一人で移動する(N=302)	4.0%	11.0%	6.3%	0.0%	100.7%	43.3%	56.7%
休日	配偶者(N=538)	0.7%	2.4%	1.9%	0.0%	100.0%	83.1%	16.9%
	父親・母親(N=86)	1.2%	4.9%	0.0%	0.0%	104.9%	78.0%	22.0%
	子供(N=99)	2.2%	3.4%	2.2%	0.0%	111.2%	80.9%	19.1%
	友人(N=58)	8.7%	8.7%	4.3%	2.2%	126.1%	37.0%	63.0%
	いつも一人で移動する(N=288)	3.5%	10.4%	5.2%	0.3%	100.0%	48.6%	51.4%

※主な外出先別の交通手段は複数回答

1.4.4 普段の移動における満足度

- ▶ 普段の移動における満足度は、自動車を運転する方は満足度が高く、自動車を運転できない方は満足度が低い。

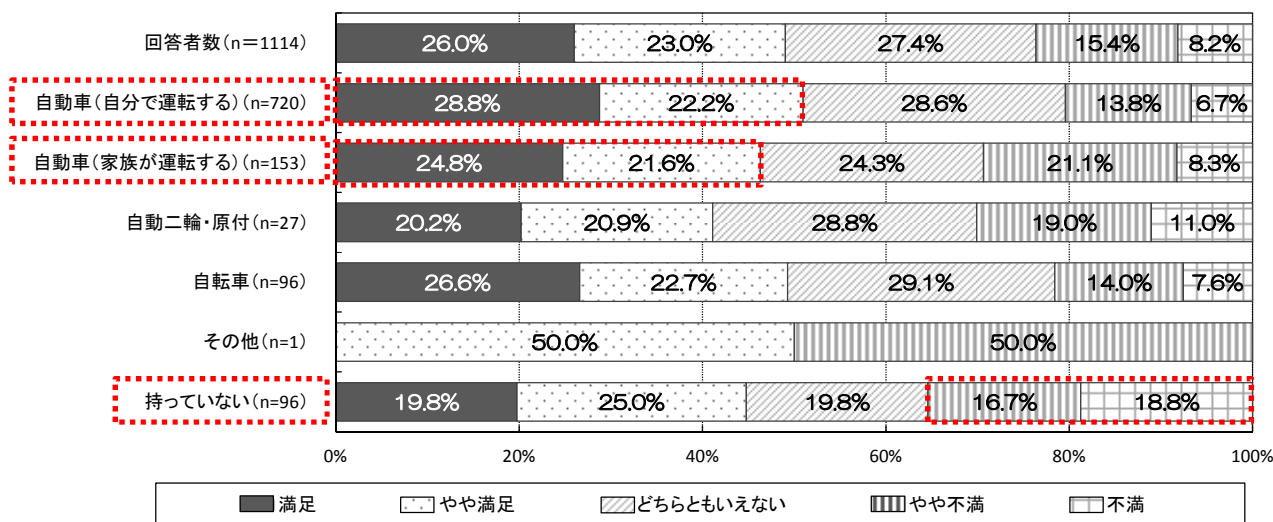


図 1.14 普段の移動における満足度(自動車の保有状況別)

1.4.5 交通手段別に見た出発時間の状況

(1) 平日

- 鉄道（JR と南海電鉄）や路線バスは、8 時台までの出発が約 6～7 割、コミュニティバス「さつき号」は 9～10 時台の出発が約 5 割を占める。
- 全ての交通手段において、午前中に出発する割合が高い状況にある。

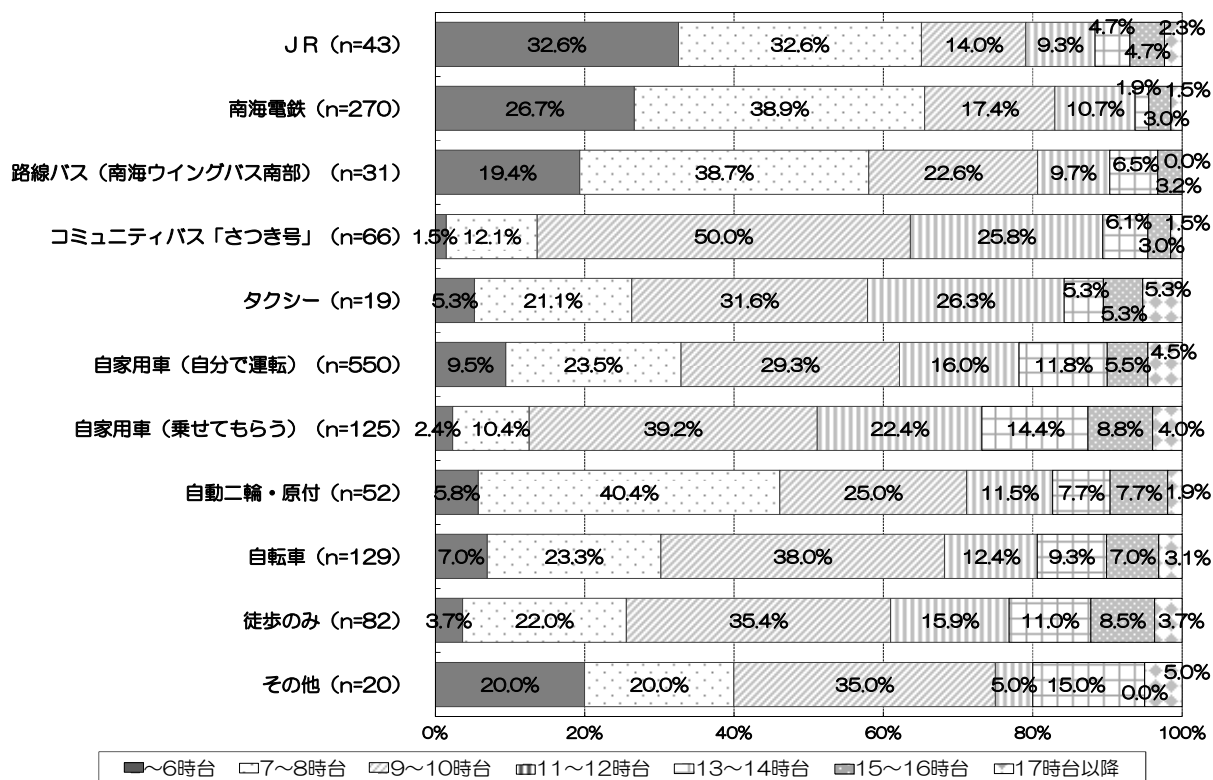


図 1.15 平日における交通手段別に見た出発時間

(2) 休日

- 鉄道（JR と南海電鉄）、路線バス及びコミュニティバス「さつき号」は 9～10 時台の出発が約 4～5 割を占める。
- 全ての交通手段において、午前中に出発する割合が高い状況にある。

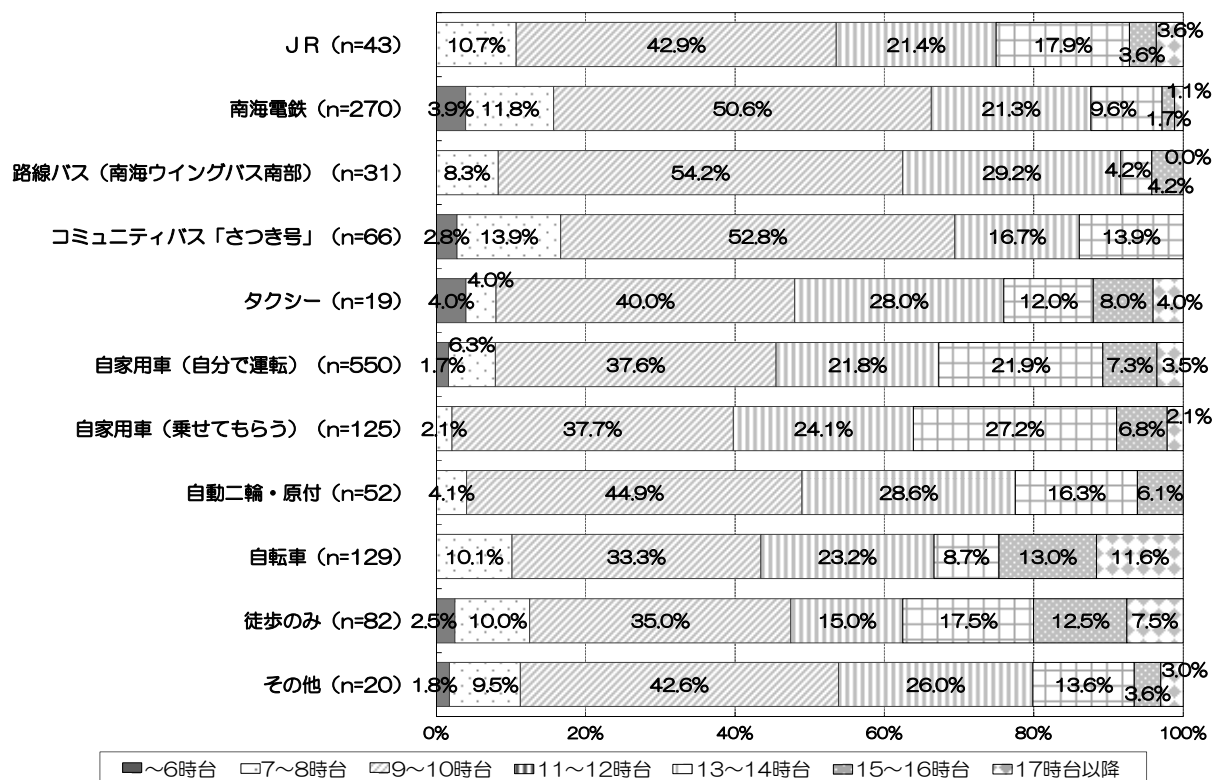


図 1.16 休日における交通手段別に見た出発時間

1.4.6 バス交通の利便性と必要性

(1) 日常生活を送る上でのバス交通の利便性

- 「重要」と回答した方が約 26%、次いで「あまり重要でない」と回答した方が約 23%である。
- 地域別で見ると、日常生活を送る上でのバス交通の利便性については、西鳥取地区や下荘地区は「重要」との回答が多い。

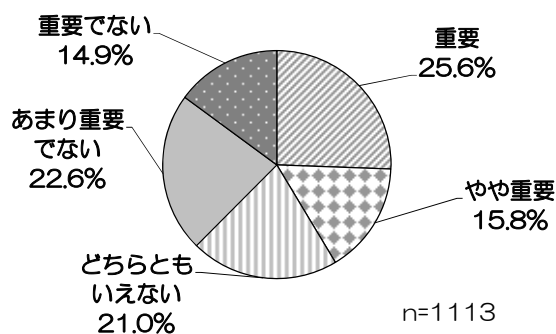


図 1.17 バス交通の利便性は日常生活を送る上で重要か

表 1.13 バス交通の利便性は日常生活を送る上で重要か（地域別）

	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	計
回答者数(n=1113)	25.6%	15.8%	21.0%	22.6%	14.9%	100.0%
尾崎地区(n=131)	13.7%	13.0%	23.7%	23.7%	26.0%	100.0%
東鳥取地区(n=425)	22.1%	16.5%	23.5%	23.5%	14.4%	100.0%
西鳥取地区(n=241)	30.7%	15.4%	16.2%	24.5%	13.3%	100.0%
下荘地区(n=278)	31.7%	16.2%	19.1%	21.6%	11.5%	100.0%

	重要 (重要+やや重要)	どちらともいえない	重要でない(あまり重要でない+重要でない)
回答者数(n=1113)	41.4%	21.0%	37.6%
尾崎地区(n=131)	26.7%	23.7%	49.6%
東鳥取地区(n=425)	38.6%	23.5%	37.9%
西鳥取地区(n=241)	46.1%	16.2%	37.8%
下荘地区(n=278)	47.8%	19.1%	33.1%

(2) 市内のバス交通の必要性

- 「必要」「やや必要」と回答した方は約 5 割である。
- 市内のバス交通の必要性は、55～64 歳、65～74 歳、75 歳以上で必要（「必要＋「やや必要」）との回答が約半数を占める。

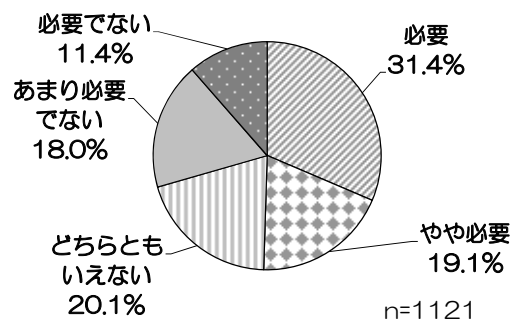


図 1.18 市内のバス交通の必要性

表 1.14 市内のバス交通の必要性（年齢別）

	必要	やや必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	計
回答者数 (n=1121)	31.4%	19.1%	20.1%	18.0%	11.4%	100.0%
15～54歳 (n=445)	26.5%	19.3%	21.8%	21.3%	11.0%	100.0%
55～64歳 (n=191)	34.6%	19.4%	15.7%	17.3%	13.1%	100.0%
65～74歳 (n=281)	32.0%	19.6%	22.1%	17.4%	8.9%	100.0%
75歳以上 (n=185)	40.5%	15.7%	16.8%	13.0%	14.1%	100.0%

	必要 (必要＋やや必要)	どちらともいえない	必要でない(あまり必要でない＋必要でない)
回答者数 (n=1121)	50.5%	20.1%	29.4%
15～54歳 (n=445)	45.8%	21.8%	32.4%
55～64歳 (n=191)	53.9%	15.7%	30.4%
65～74歳 (n=281)	51.6%	22.1%	26.3%
75歳以上 (n=185)	56.2%	16.8%	27.0%

1.5 市内バスの利用状況

(1) バス利用の有無

- バス利用の有無を年齢別に見ると、74歳以下の世代はバスを利用しない方（「ほとんど利用しない」＋「利用したことがない」）が約7～8割を占める。

表 1.15 バス利用の有無（年齢別）

	よく利用する	時々利用する	ほとんど利用しない	利用したことがない	計
回答者数(n=1127)	6.9%	20.0%	30.6%	42.5%	100.0%
15～54歳(n=443)	4.5%	16.9%	34.1%	44.5%	100.0%
55～64歳(n=190)	5.3%	15.8%	33.7%	45.3%	100.0%
65～74歳(n=279)	5.0%	24.4%	30.5%	40.1%	100.0%
75歳以上(n=194)	17.0%	23.7%	19.6%	39.7%	100.0%

(2) 市内バスの利用状況（バスを利用する方のみ）

- バスを利用する方（「よく利用する」＋「時々利用する」）のうち、主に路線バスを利用する方は15～54歳のうち約6割、主にコミュニティバスを利用する方は65～74歳のうち約8割、75歳以上のうち約6割を占める。

表 1.16 市内バスの利用状況

	主に路線バス（南海ウイングバス南部）	主にコミュニティバス「さつき号」	路線バスとコミュニティバスの両方を同じ程度利用する	計
回答者数(n=293)	31.4%	54.6%	14.0%	100.0%
15～54歳(n=93)	55.9%	32.3%	11.8%	100.0%
55～64歳(n=40)	37.5%	45.0%	17.5%	100.0%
65～74歳(n=81)	18.5%	76.5%	4.9%	100.0%
75歳以上(n=73)	12.3%	64.4%	23.3%	100.0%

(3) バス利用頻度（バスを利用する方のみ）

- バスを利用する方の利用頻度は、平均週1回の利用であり、週1回以上利用する方は約4割を占める。

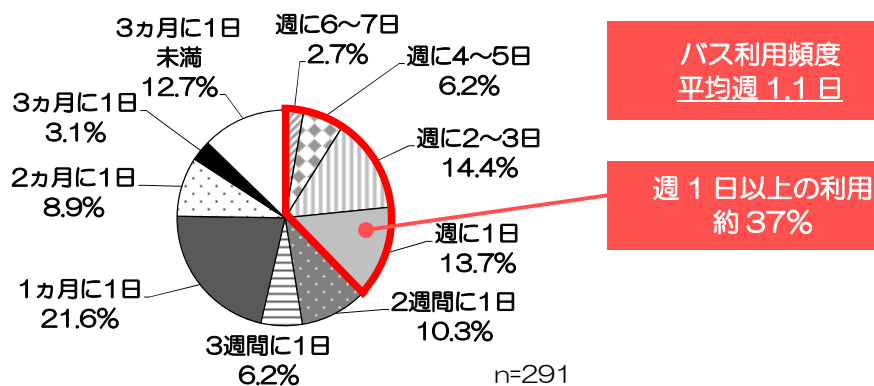


図 1.19 バス利用頻度

(4) バスの利用目的（バスを利用する方のみ）

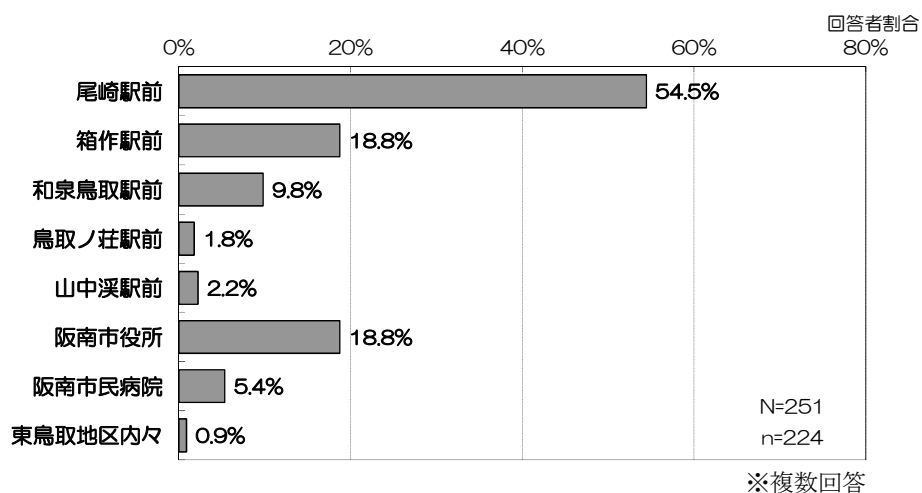
- 主にコミュニティバスを利用する方と、路線バスとコミュニティバスを同程度利用する方は、買い物目的が多い。主に路線バスを利用する方は娯楽・レジャーや通勤目的が多い。

表 1.17 バスの利用目的（バス別）

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	計
回答者数 (n=290)	12.1%	2.8%	37.6%	17.9%	19.7%	10.0%	100.0%
主に路線バス(南海ウイングバス南部) (n=90)	26.7%	5.6%	23.3%	2.2%	28.9%	13.3%	100.0%
主にコミュニティバス「さつき号」 (n=155)	6.5%	1.9%	40.0%	25.8%	14.8%	11.0%	100.0%
路線バスとコミュニティバスの両方を同じ程度利用する (n=39)	2.6%	0.0%	59.0%	20.5%	17.9%	0.0%	100.0%

(5) バス利用時の目的地（バスを利用する方のみ）

- バスを利用する方のバス利用時の目的地は、尾崎駅前が最も多く、次いで箱作駅前及び阪南市役所である。



※出発地及び目的地のバス停の両方を回答したものを対象に集計
 ※尾崎駅前は、尾崎駅前バス停と尾崎駅北バス停の総数
 ※和泉鳥取駅前は、和泉鳥取駅前バス停と和泉鳥取バス停の総数
 ※東鳥取地区内々は、「中村⇒下出」と「緑ヶ丘口⇒滑石田」の総数

図 1.20 バス利用時の目的地

(6) バスでの移動に対する満足度（バスを利用する方のみ）

- バスでの移動に対する満足度を見ると、不満（「不満」＋「どちらかといえば不満」）が約7割を占める。

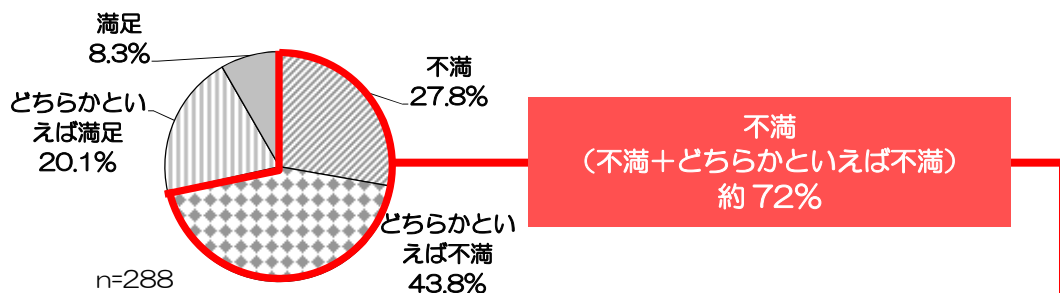


図 1.21 バスでの移動に対する満足度

■バスでの移動に対する不満の理由

- 不満の理由は、「運行本数が少ない」が最も多く、次いで「利用したい時間に走っていない」、「鉄道との乗り継ぎが悪い」、「バスルートが悪い」の順である。

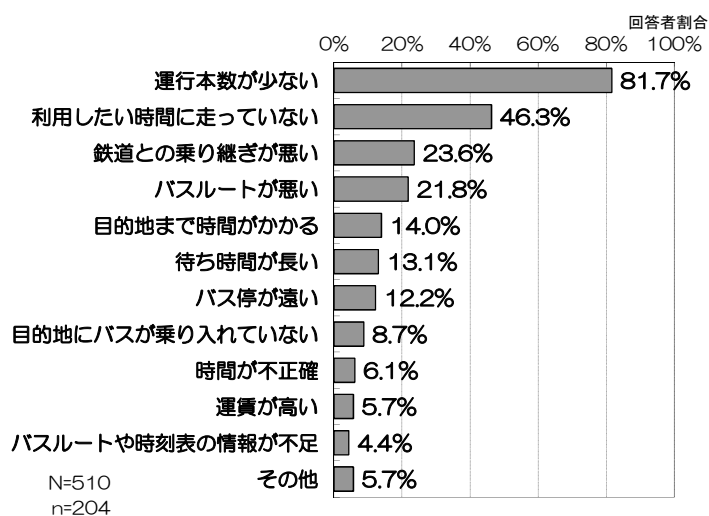


図 1.22 バスでの移動に対する不満の理由

(7) バスを利用しない理由（バスを利用しない方のみ）

- バスを利用しない方（「ほとんど利用しない」＋「利用したことがない」）のバスを利用しない理由は、「自動車移動する」が最も多い。

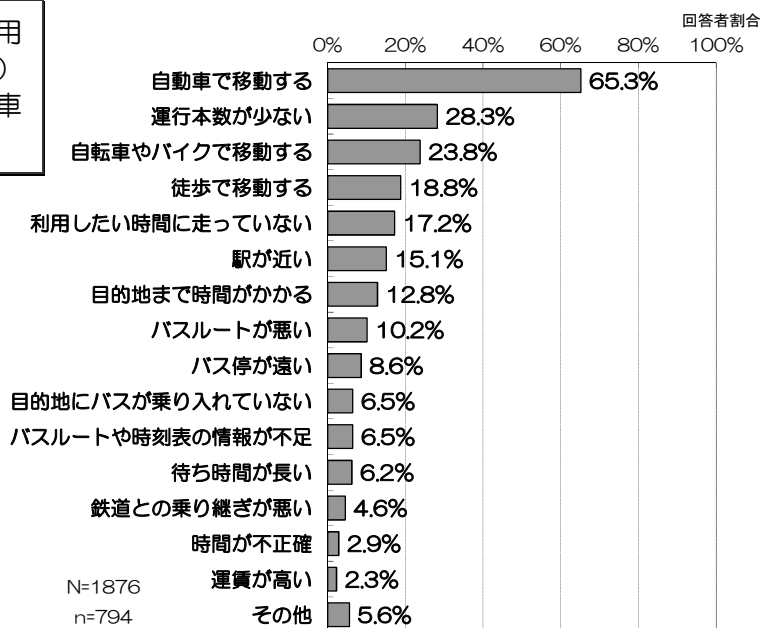


図 1.23 バスを利用しない理由

(8) バスサービスが改善された場合のバス利用の変化

- バスサービスが改善された場合のバス利用の変化をバス利用状況別に見ると、バスをよく利用する方は、バス利用の増加が見込まれる。利用しない方は、サービスが改善されても「今とほとんど変わらない」との回答が多い。

表 1.18 バスサービスが改善された場合のバス利用の変化（バス利用状況別）

	今よりもっと乗るようになる	今より少しだけ乗るようになる	今とほとんど変わらない	わからない	計
回答者数(n=1078)	21.3%	21.7%	37.0%	19.9%	100.0%
よく利用する(n=73)	69.9%	21.9%	8.2%	0.0%	100.0%
時々利用する(n=209)	45.9%	35.9%	12.4%	5.7%	100.0%
ほとんど利用しない(n=330)	17.3%	27.0%	40.3%	15.5%	100.0%
利用したことがない(n=453)	5.5%	11.5%	50.6%	32.5%	100.0%

(9) バス利用を増加させるために改善すべき項目

- バス利用を増加させるために改善すべき項目は、「バスルート」が最も多く、次いで「終発時刻」、「鉄道や他のバス路線との乗継ぎ」の順である。

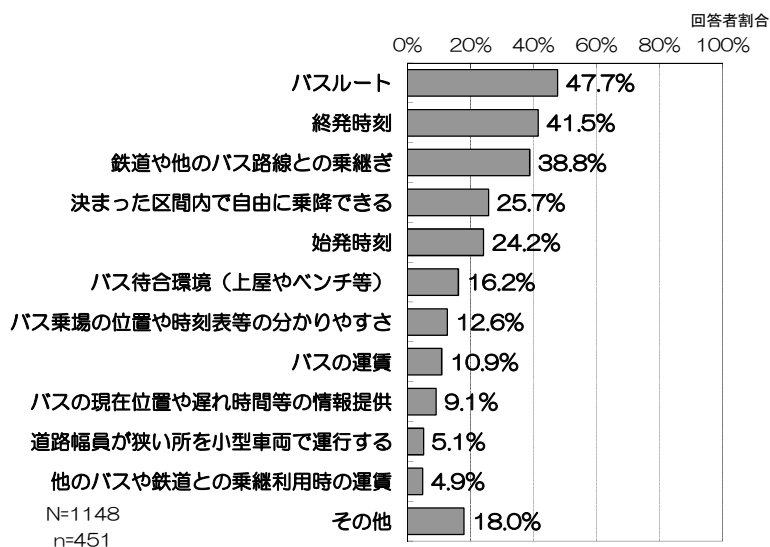


図 1.24 バス利用を増加させるために改善すべき項目

1.6 公共交通の税負担に関する意識

(1) コミュニティバス「さつき号」を維持・充実するために、市が経費を負担することについて

- 阪南市では、市民の交通手段を確保するために、コミュニティバス「さつき号」の運行に年間約 3,700 万円（市民 1 人あたり年間で約 670 円）の財政負担をしている（平成 26 年度実績）。こうしたなか、バスを維持・充実するために、市が経費を負担することについては、約 9 割が容認している。

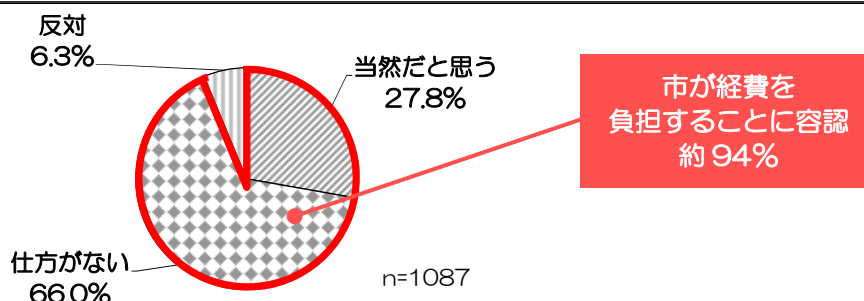


図 1.25 バスを維持・充実するために、市が経費を負担することについて

(2) コミュニティバス「さつき号」を維持していくための方法

- 「可能な限り市が負担すべき」と「運賃の値上げや、路線の縮小や減便もやむを得ない」と回答した方がともに約 5 割である。
- コミュニティバス「さつき号」を維持していくための方法は、「可能な限り市が負担すべき」を選んだ方が、東鳥取校区、朝日校区、舞校区、下荘校区において約 6 割を占める。

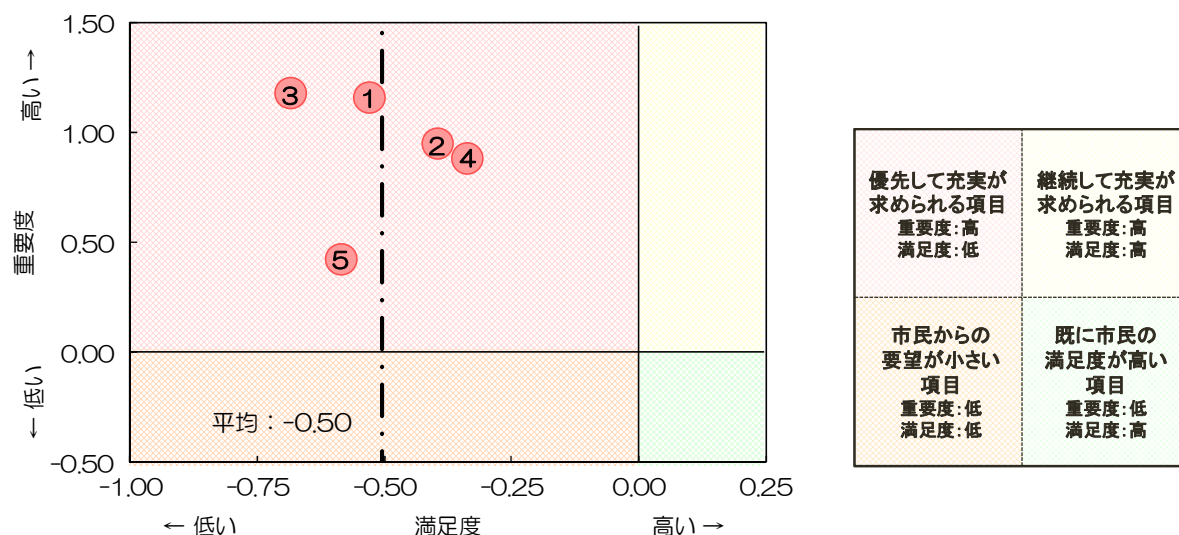
表 1.19 コミュニティバス「さつき号」を維持していくための方法

	便数や路線を充実させるために、利用者の運賃の値上げをせずに市が財政負担すべき	現状の路線や便数を維持するために、利用者の運賃の値上げをせずに市が財政負担すべき	便数や路線を充実させるために、利用者の運賃を値上げすべき	現状の路線や便数を維持するために、利用者の運賃を値上げすべき	市の財政負担を下げるために、路線の縮小や減便をすべき	計
回答者数(n=1043)	26.8%	21.2%	26.1%	16.8%	9.1%	100.0%
尾崎校区(n=118)	22.9%	22.0%	22.0%	22.9%	10.2%	100.0%
上荘校区(n=123)	20.3%	22.0%	20.3%	19.5%	17.9%	100.0%
東鳥取校区(n=130)	23.8%	33.8%	13.1%	18.5%	10.8%	100.0%
朝日校区(n=110)	35.5%	21.8%	10.0%	30.9%	1.8%	100.0%
西鳥取校区(n=81)	21.0%	27.2%	18.5%	19.8%	13.6%	100.0%
舞校区(n=188)	30.3%	28.7%	16.0%	20.2%	4.8%	100.0%
下荘校区(n=176)	26.1%	30.7%	18.2%	18.8%	6.3%	100.0%
桃の木台校区(n=86)	25.6%	26.7%	19.8%	19.8%	8.1%	100.0%

	可能な限り市が負担すべき	運賃の値上げや、路線の縮小や減便もやむを得ない	計
回答者数(n=1043)	48.0%	52.0%	100.0%
尾崎校区(n=118)	44.9%	55.1%	100.0%
上荘校区(n=123)	42.3%	57.7%	100.0%
東鳥取校区(n=130)	57.7%	42.3%	100.0%
朝日校区(n=110)	57.3%	42.7%	100.0%
西鳥取校区(n=81)	48.1%	51.9%	100.0%
舞校区(n=188)	59.0%	41.0%	100.0%
下荘校区(n=176)	56.8%	43.2%	100.0%
桃の木台校区(n=86)	52.3%	47.7%	100.0%

1.7 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度

- ①～⑤の全ての項目において、優先して充実が求められる項目となっている。
- 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度のうち、満足度の状況を見ると、「③自家用車がなくても（運転できなくても）気軽に移動ができる」の満足度が最も低く、次いで「⑤駅周辺を楽しく歩いて回遊ができる」、「①高齢者や障がい者が外出しやすい」の順となっている。
- 重要度の状況を見ると、「③自家用車がなくても（運転できなくても）気軽に移動ができる」が最も高く、次いで「①高齢者や障がい者が外出しやすい」となっている。



1	高齢者や障がい者が外出しやすい
2	子育てする人が気軽に安全に移動できる
3	自家用車がなくても(運転できなくても)気軽に移動できる
4	阪南市から大阪市や他都市への移動がしやすい
5	駅周辺を楽しく歩いて回遊できる

※「現状の満足度」・「重要度」を以下のとおり点数化し、結果の件数に下記の点数を乗じて満足度・重要度のレベルを算出

【現状の満足度の点数】

- 2点: 「1. 不満」
- 1点: 「2. やや不満」
- 0点: 「3. どちらともいえない」
- 1点: 「4. やや満足」
- 2点: 「5. 満足」

【今後の重要度の点数】

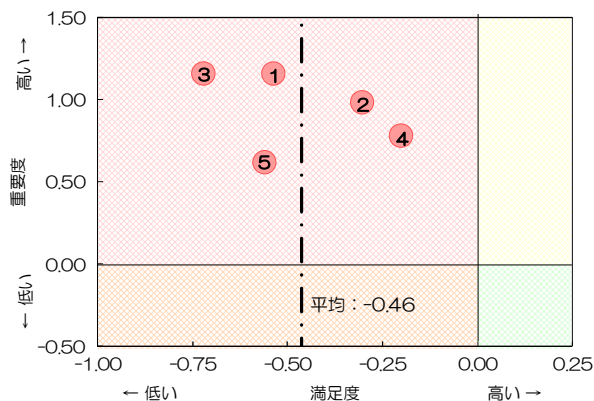
- 2点: 「1. 重要でない」
- 1点: 「2. あまり重要でない」
- 0点: 「3. どちらともいえない」
- 1点: 「4. やや重要」
- 2点: 「5. 重要」

図 1.26 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度（市全体）

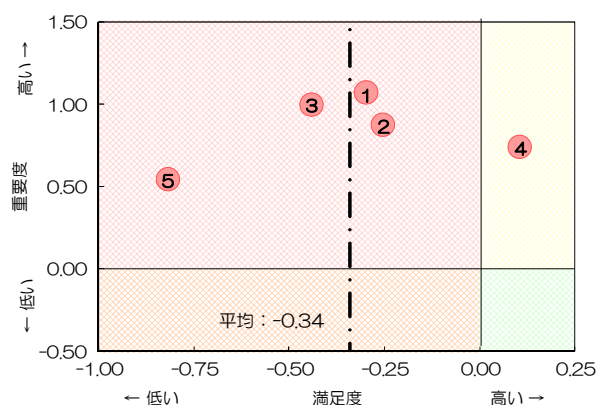
【参考】校區別（1/2）

- 「④阪南市から大阪市や他都市への移動がしやすい」を見ると、上荘校区、尾崎校区及び西鳥取校区では、鉄道駅に隣接する校区であるため、他校区に比べ満足度が高い。
- 「⑤駅周辺を楽しく歩いて回遊ができる」を見ると、上荘校区や東鳥取校区では、他校区に比べて満足度が低い。

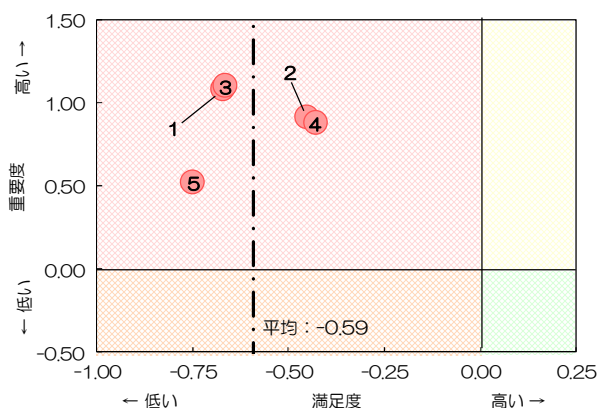
■尾崎校区



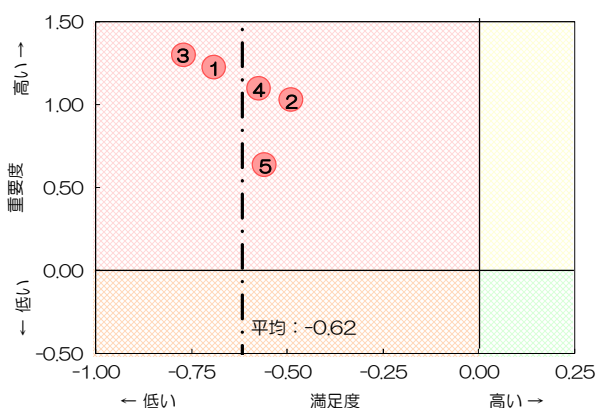
■上荘校区



■東鳥取校区



■朝日校区



1 高齢者や障がい者が外出しやすい
2 子育てする人が気軽に安全に移動できる
3 自家用車がなくても(運転できなくても)気軽に移動できる
4 阪南市から大阪市や他都市への移動がしやすい
5 駅周辺を楽しく歩いて回遊できる

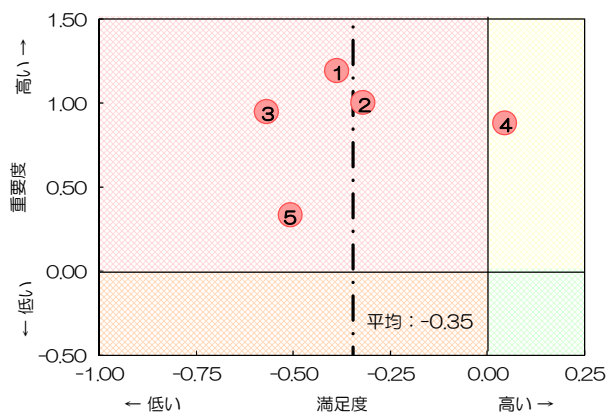
優先して充実が 求められる項目 重要度:高 満足度:低	継続して充実が 求められる項目 重要度:高 満足度:高
市民からの 要望が小さい 項目 重要度:低 満足度:低	既に市民の 満足度が高い 項目 重要度:低 満足度:高

図 1.27 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度（校區別 1/2）

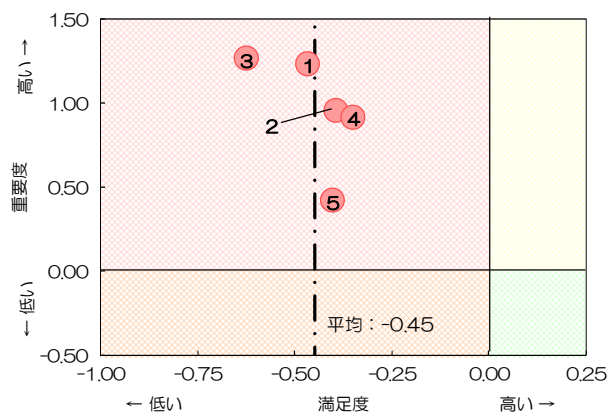
【参考】校区别 (2/2)

- 「③自家用車がなくても(運転できなくても)気軽に移動ができる」を見ると、桃の木台校区や下荘校区では、西鳥取校区や舞校区に比べ、満足度が低い。
- 「②子育てする人が気軽に安全に移動ができる」を見ると、桃の木台校区では、他校区に比べて満足度が低い。

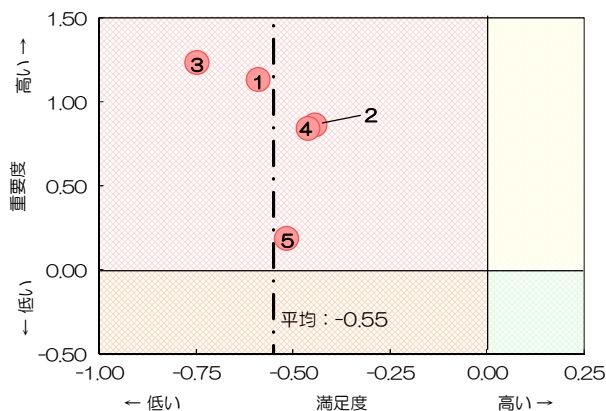
■西鳥取校区



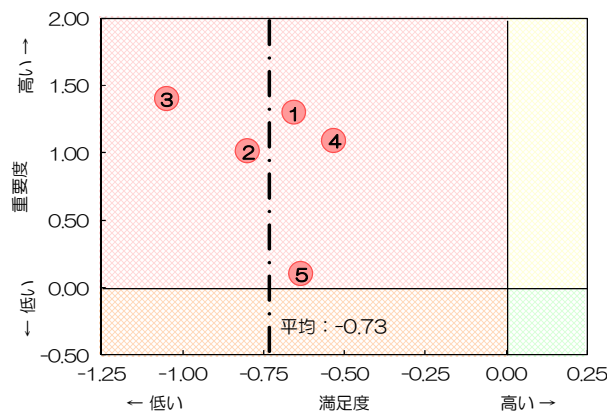
■舞校区



■下荘校区



■桃の木台校区



1	高齢者や障がい者が外出しやすい
2	子育てする人が気軽に安全に移動できる
3	自家用車がなくても(運転できなくても)気軽に移動できる
4	阪南市から大阪市や他都市への移動がしやすい
5	駅周辺を楽しく歩いて回遊できる

優先して充実が 求められる項目 重要度:高 満足度:低	継続して充実が 求められる項目 重要度:高 満足度:高
市民からの 要望が小さい 項目 重要度:低 満足度:低	既に市民の 満足度が高い 項目 重要度:低 満足度:高

図 1.28 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度 (校区别 2/2)

【参考】世代別

- 15～54 歳、55～64 歳、65～74 歳、子育て世代の女性（25～45 歳）は、75 歳以上の方に比べ、全ての項目において満足度が低い状況にある。
- 「③自家用車がなくても（運転できなくても）気軽に移動ができる」を見ると 15～54 歳、55～64 歳、65～74 歳、子育て世代の女性（25～45 歳）は、75 歳以上の方に比べ、満足度が低い状況にある。

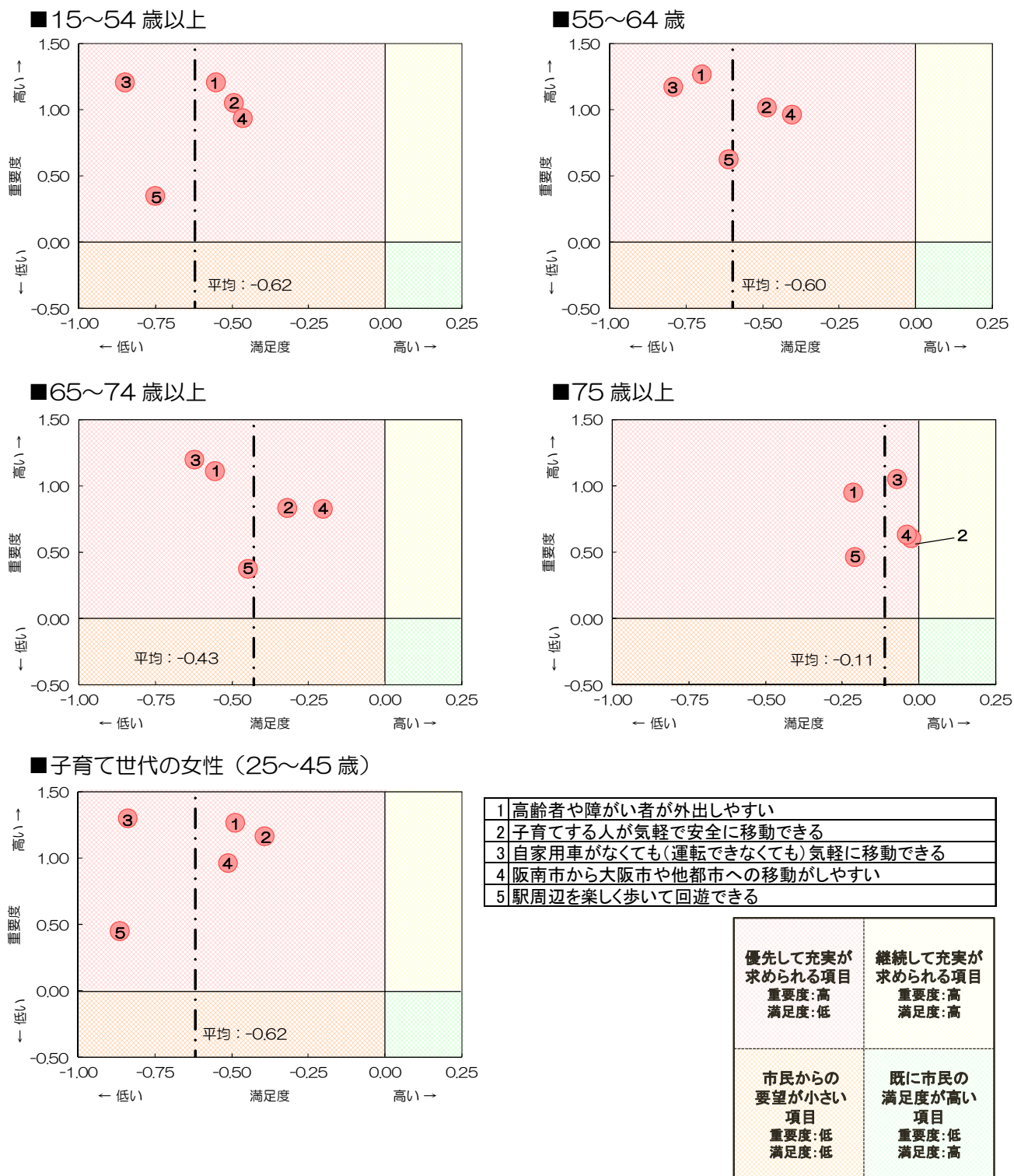


図 1.29 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度（世代別）

1.8 将来における外出

(1) 将来の外出が変化する時期

- 将来の外出が変化する時期は、「自動車を運転できなくなってから」、「身体機能が低下してから」、「退職してから」、「就職してから」、「結婚してから」、「子供ができてから」、「子供が独立してから」、「子供が進学してから」、「その他」が多い。

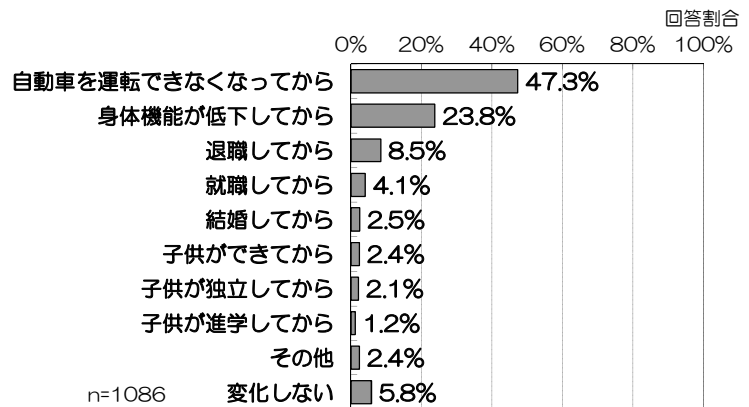


図 1.30 将来の外出が変化する時期

(2) 将来の外出頻度の増減と将来の外出目的

- 将来の外出頻度の増減は、「今より減ると思う」と回答した方が約 7 割を占める。
- 将来の外出目的は、「買い物」が約 5 割と最も多く、次いで「通院」が約 3 割を占める。

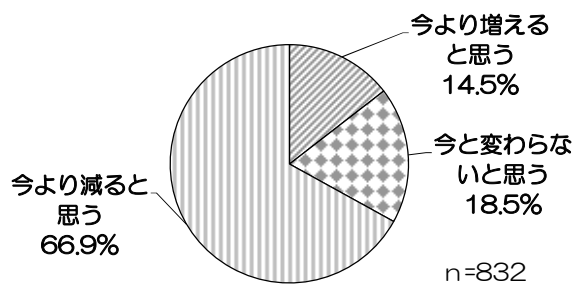


図 1.31 将来の外出頻度の増減

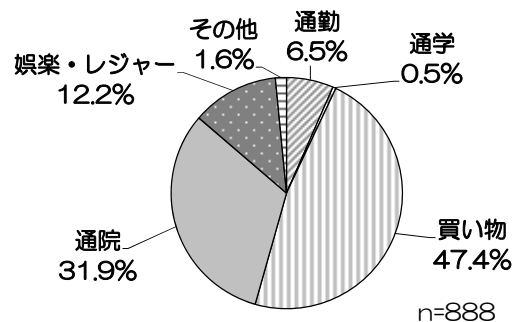


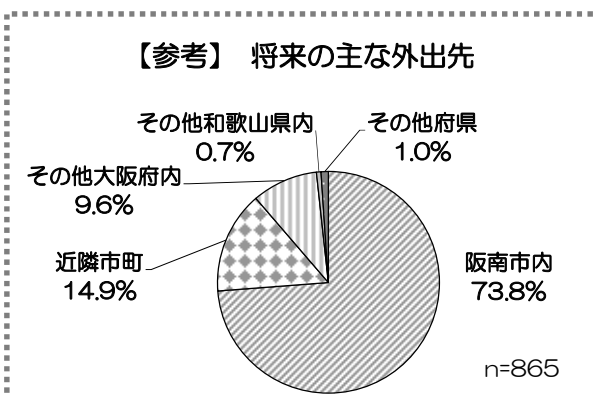
図 1.32 将来に多くなると思う外出目的

(3) 将来の主な外出先

- 将来の主な外出先は、「阪南市内」が約 7 割を占め、「尾崎駅周辺」が全体の約 6 割を占めている。

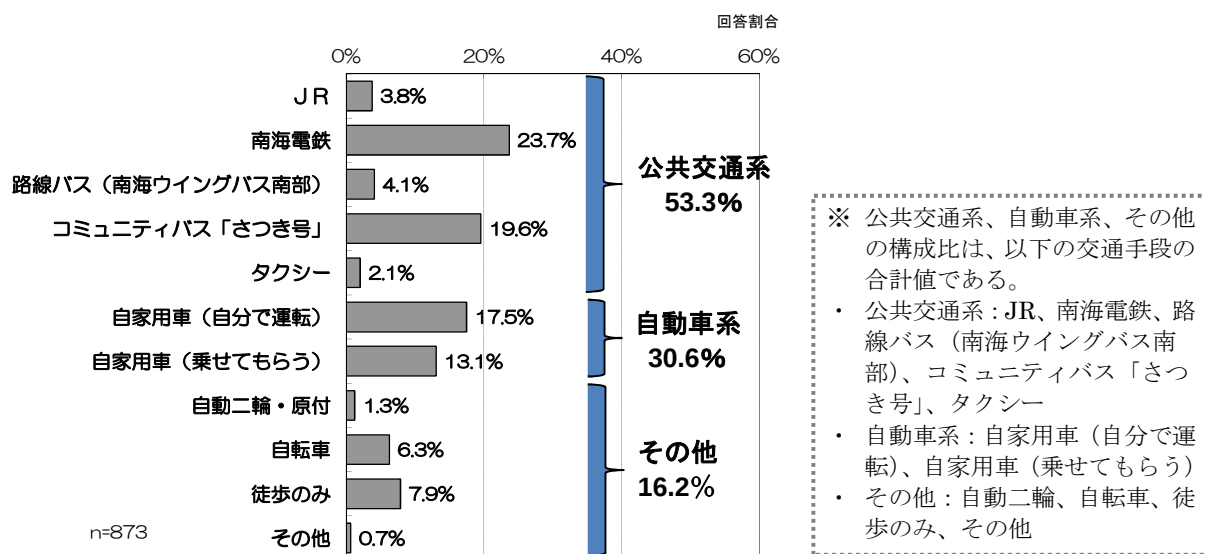
表 1.20 将来の主な外出先の内訳

	回答数	割合
阪南市内 (n=638)	638	73.8%
尾崎駅周辺 (n=492)	492	56.9%
鳥取ノ荘駅周辺 (n=46)	46	5.3%
箱作駅周辺 (n=17)	17	2.0%
和泉鳥取駅周辺 (n=13)	13	1.5%
その他阪南市内 (n=64)	64	7.4%
未回答・不明 (n=6)	6	0.7%
近隣市町 (n=129)	129	14.9%
泉南市 (n=67)	67	7.7%
泉佐野市 (n=28)	28	3.2%
岬町 (n=6)	6	0.7%
和歌山市 (n=22)	22	2.5%
未回答・不明 (n=6)	6	0.7%
その他大阪府内 (n=83)	83	9.6%
大阪市 (n=49)	49	5.7%
貝塚市 (n=3)	3	0.3%
岸和田市 (n=3)	3	0.3%
その他 (n=3)	3	0.3%
未回答・不明 (n=25)	25	2.9%
その他和歌山県内 (n=6)	6	0.7%
その他府県 (n=9)	9	1.0%
計 (n=865)	865	100.0%



(4) 将来の外出時における交通手段

- 将来の外出時における交通手段は、公共交通系の利用が約5割を占める。現在の外出時の交通手段と比べて、公共交通系の利用が増加している（現在の平日の公共交通系利用：約26%、現在の休日の公共交通系利用：約18%）。



【将来に利用する鉄道駅】

回答内容	総回答数(N=149)	回答割合
南海樽井駅	2	1.6%
南海尾崎駅	69	56.1%
南海鳥取ノ荘駅	16	13.0%
南海箱作駅	43	35.0%
南海淡輪駅	0	0.0%
JR和泉砂川駅	1	0.8%
JR和泉鳥取駅	16	13.0%
JR山中溪駅	2	1.6%
総回答数	149	121.1%
回答者数	149	-

※複数回答

【将来に利用するバス停】

回答内容	総回答数(N=96)	回答者割合
尾崎駅前	29	32.2%
箱作駅前	8	8.9%
和泉鳥取駅前	4	4.4%
鳥取ノ荘駅前	4	4.4%
山中溪駅前	1	1.1%
阪南市役所	16	17.8%
阪南市民病院	15	16.7%
東鳥取地区内々	10	11.1%
西鳥取地区内々	3	3.3%
下荘地区内々	6	6.7%
総回答数	96	106.7%
回答者数	90	-

※複数回答

図 1.33 将来の外出時における交通手段

(5) 将来の外出時の移動で重要なもの

- 将来の外出時の移動で重要なものは、1 番目が「安全」、2 番目が「料金」及び「時間」である。

表 1.21 将来の外出時の移動で重要なもの

	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	計
時間(速く移動できる) (n=899)	27.1%	33.6%	27.4%	11.9%	100.0%
料金(運賃等が安い) (n=903)	23.6%	36.3%	27.5%	12.6%	100.0%
安全(事故等のリスク低減) (n=901)	45.0%	22.5%	28.9%	3.7%	100.0%
楽しさ(友人や家族との交流) (n=891)	5.2%	7.3%	15.9%	71.6%	100.0%

(6) 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換

- 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換は、「将来、高齢になるとできると思う」が約 6 割を占める。

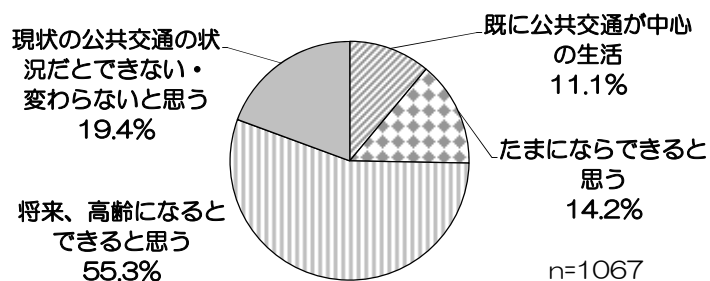


図 1.34 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換

1.9 尾崎駅周辺のまちづくりのあり方

(1) 南海本線尾崎駅や尾崎駅周辺の施設や店舗の利用状況

- 南海本線尾崎駅や尾崎駅周辺の施設や店舗の利用状況としては、約 9 割が利用している。

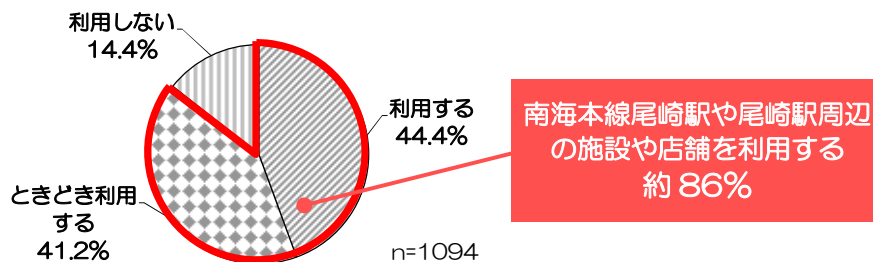


図 1.35 南海本線尾崎駅や尾崎駅周辺の施設や店舗の利用状況

(2) 南海本線尾崎駅や尾崎駅周辺の施設や店舗までの交通手段

- 南海本線尾崎駅や尾崎駅周辺の施設や店舗までの交通手段は、約 6 割が自動車系を利用している。公共交通系の利用は約 1 割である。

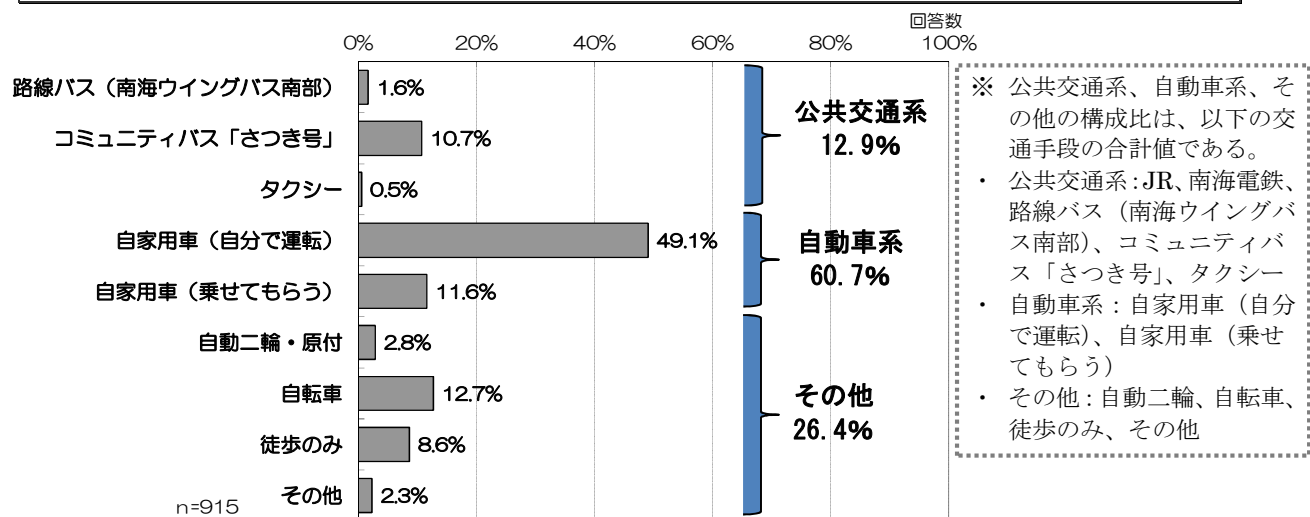


図 1.36 南海本線尾崎駅や尾崎駅周辺の施設や店舗までの交通手段

(3) 尾崎駅周辺で特に充実すべき機能

- 尾崎駅周辺で特に充実すべき機能は、「商業・業務機能」が最も多く、次いで「医療・福祉機能」、「バスのアクセス機能」、「にぎわい空間機能」、「自家用車のアクセス機能」の順である。

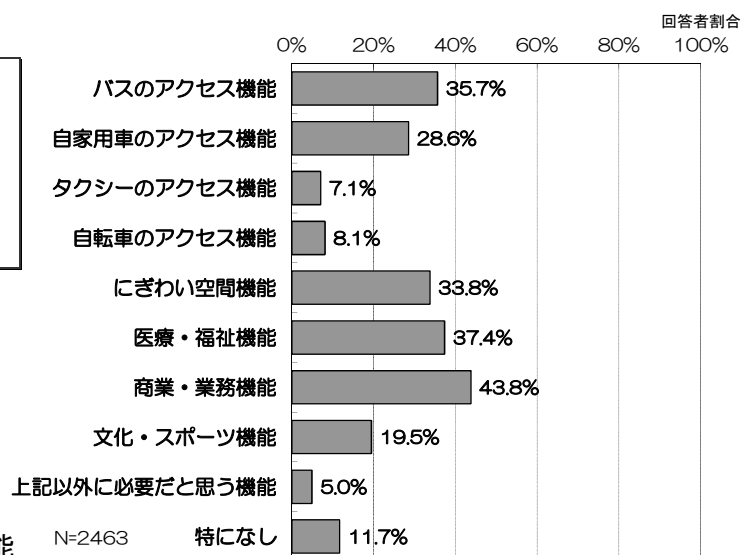


図 1.37 尾崎駅周辺で特に充実すべき機能

1.10 ご近所付き合いの状況

(1) ご近所付き合いの程度

- ご近所付き合いは、「あいさつ程度の最小限の付き合い」が約 5 割で最も多く、次いで「日常的に立ち話をする程度」が約 3 割を占める。

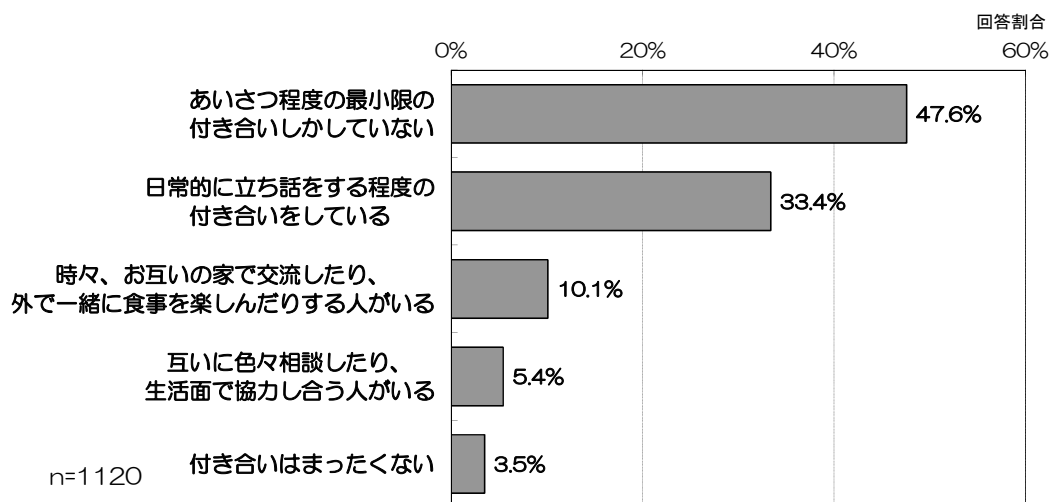


図 1.38 ご近所付き合いの程度

(2) 地域活動の参加状況

- 地域活動の参加状況は、下荘校区や舞校区では「よく参加している」の割合が、他校区に比べ高い。

表 1.22 地域活動の参加状況（校区別）

	よく参加している	たまに参加している	ほとんど参加していない	参加していない	わからない	計
回答者数 (n=1121)	9.1%	30.0%	31.0%	28.2%	1.8%	100.0%
尾崎校区 (n=137)	6.6%	16.1%	34.3%	38.0%	3.6%	100.0%
上荘校区 (n=135)	5.2%	25.9%	34.1%	31.9%	3.0%	100.0%
東鳥取校区 (n=149)	3.4%	29.5%	30.2%	33.6%	3.4%	100.0%
朝日校区 (n=115)	10.4%	34.8%	27.0%	27.0%	0.0%	100.0%
西鳥取校区 (n=89)	10.1%	23.6%	28.1%	38.2%	0.0%	100.0%
舞校区 (n=194)	11.9%	30.4%	36.1%	18.6%	2.6%	100.0%
下荘校区 (n=197)	14.2%	29.9%	26.4%	26.9%	0.5%	100.0%
桃の木台校区 (n=88)	6.8%	58.0%	22.7%	12.5%	0.0%	100.0%

1.11 自由意見

住民アンケート調査における全体の自由意見の内訳を以下に示す。

1	バスの運行本数に関する意見	69
2	バスのダイヤに関する意見	67
3	バスの路線(既存)に関する意見	28
4	南海電鉄に関する意見	22
5	運賃について	20
6	バスの車両に関する意見	18
7	駅・病院・商業施設にバス停を作してほしい	15
8	バス停を増やしてほしい	14
9	尾崎駅周辺に関する意見	13
10	道路について	13
11	バスの路線(新規増設)に関する意見	12
12	バスの情報・PR不足	11
13	今はバスを利用しないが、将来利用するかもしれない	11
14	バスを利用していない	10
15	現在ルートの逆廻り希望	8
16	その他バスに関する意見	7
17	乗合タクシー要望・タクシーに関する意見	7
18	予算について	7
19	バス停の施設(ベンチ・屋根)について	6
20	バス停以外での乗降希望	4
21	バスの運転・運転手に関する意見	3
22	イオンへ行くバス復活希望	3
23	その他の意見	64
24	特になし	7
回答数 合計		439
回答者数		353

1. バスの運行本数に関する意見

	コミュニティバス	路線バス	区分なし	合計
増便希望	39	6	23	68
減便希望	1	0	0	1
合計	40	6	23	69



2. バスのダイヤに関する意見

	コミュニティバス	路線バス	区分なし	合計
朝便希望	5	0	2	7
昼便希望	2	0	1	3
夜便希望	12	1	5	18
朝・夜便希望	6	0	4	10
電車との連携	7	1	3	11
区分なし	13	0	5	18
合計	45	2	20	67

3. 運賃について

1	運転免許証返納制度を活用した運賃割引について	2
2	運賃割引について	2
3	運賃制度の公平性について	1
4	通園・通学用の運賃割引を導入してほしい	1
5	赤字なのであれば値上げしても良いのでは	2
6	回数券や定期券を導入してほしい	3
7	バスを無料にしてほしい	2
8	値上げするのであればサービス水準も上げるべき	7
9	運賃が高い	1
10	運賃100円は続けてほしい	1
11	その他	1
合計		23

※運賃についての回答（回答数：20）について、上記11項目に分類している。

2.1 バス利用実態調査概要

(1) 調査対象

(2) 調査日時

路線ごとに調査員を配置し、バス利用者の乗車時に調査票を手渡し、バス車内設置の回収箱あるいは調査員により回収

バス利用者属性、バス停間 OD 等



図 2.1 調査時の様子

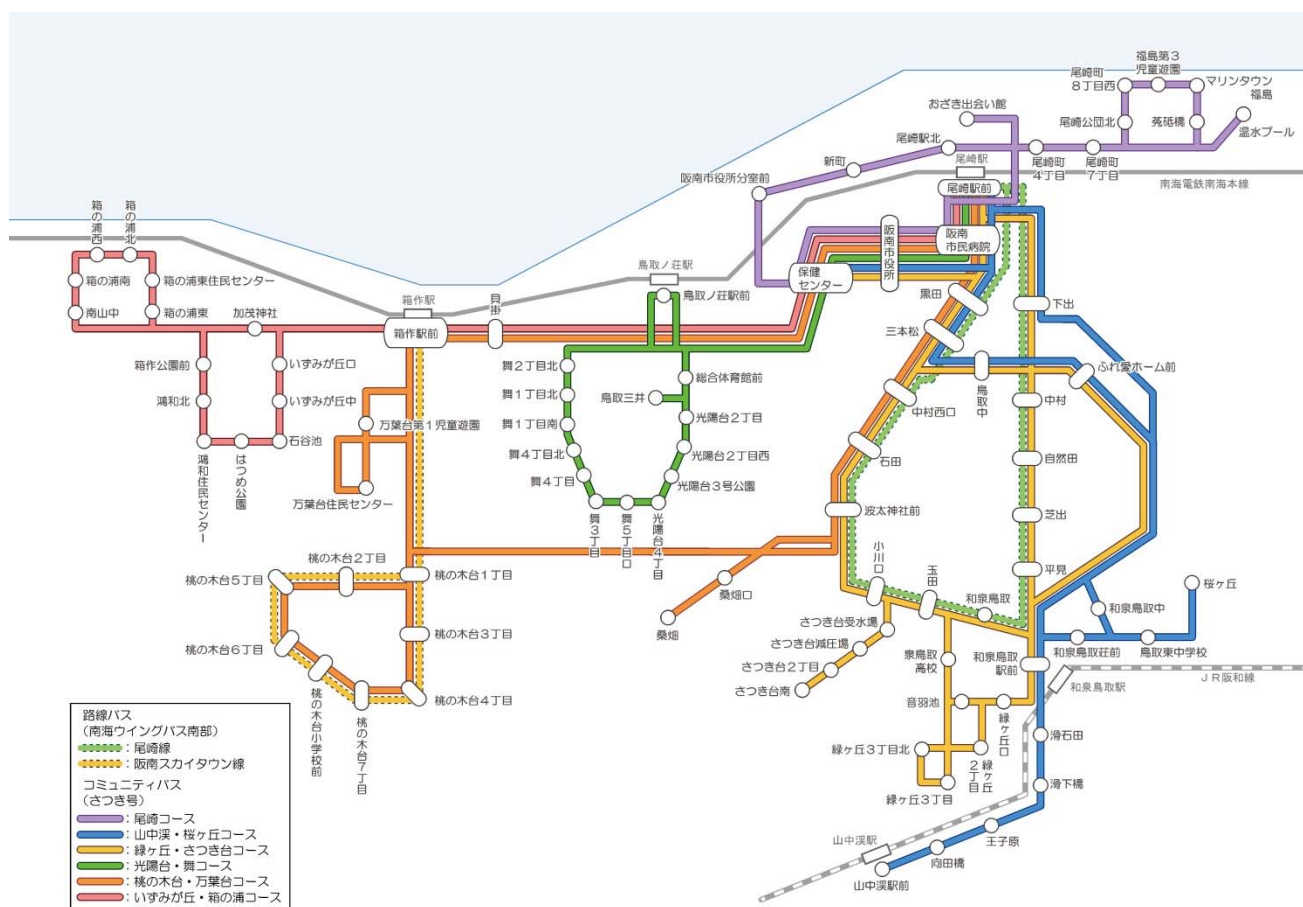


図 2.2 調査対象路線

2.2 路線バス

2.2.1 利用者数

- 調査日（平成 29 年 4 月 24 日(月)）の利用者数は、合計で 875 人である。
- 路線別では、阪南スカイタウン線が 536 人と最も多く、次いで尾崎線が 339 人である。
- 1 便あたり利用者数は、阪南スカイタウン線 12.8 人/便と最も多く、次いで尾崎線が 10.0 人/便である。
- 路線別の利用者の割合は、阪南スカイタウン線が最も多く利用者全体の約 61%を占め、次いで尾崎線が約 39%である。

表 2.1 路線バス利用者数（路線別）

単位：人

路線名	利用者数	男性	女性	小学生以下 (～12歳未満)	中学生以上の学生 (12～20歳未満)	成人1 (20～40歳未満)	成人2 (40～65歳未満)	高齢者 (65歳以上)	1便あたり 利用者数	運行便数 (便/日)
尾崎線	339	153	186	0	61	113	90	75	10.0	34
阪南スカイタウン線	536	306	230	3	103	201	186	43	12.8	42
合計	875	459	416	3	164	314	276	118	11.5	76

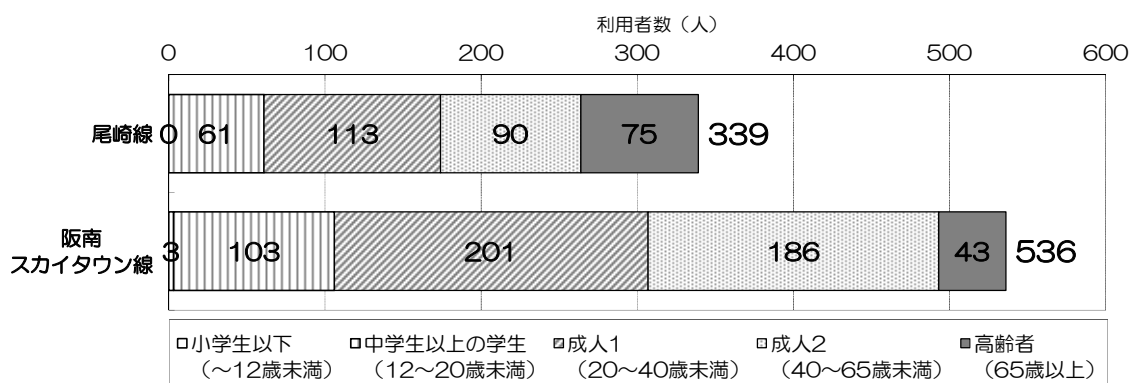


図 2.3 路線バス利用者数（路線別）

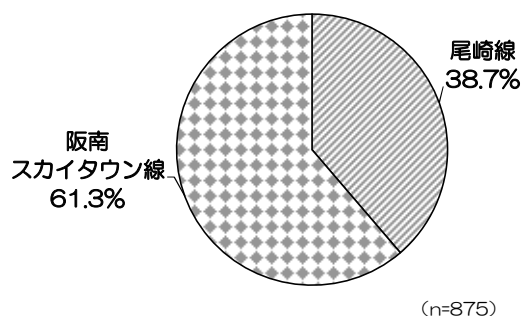


図 2.4 路線バス路線別利用者の割合

2.2.2 年齢別に見た利用者数

- 尾崎線は、「成人1（20～40歳未満）」が約33%と最も多く、次いで「成人2（40～65歳未満）」が約27%、「高齢者（65歳以上）」が約22%、「中学生以上の学生（12～20歳未満）」が約18%を占める。
- 阪南スカイタウン線は、「成人1（20～40歳未満）」が約38%と最も多く、次いで「成人2（40～65歳未満）」が約35%、「中学生以上の学生（12～20歳未満）」が約19%、「高齢者（65歳以上）」が約8%を占める。
- 「高齢者（65歳以上）」の利用は、尾崎線が阪南スカイタウン線に比べて多い。

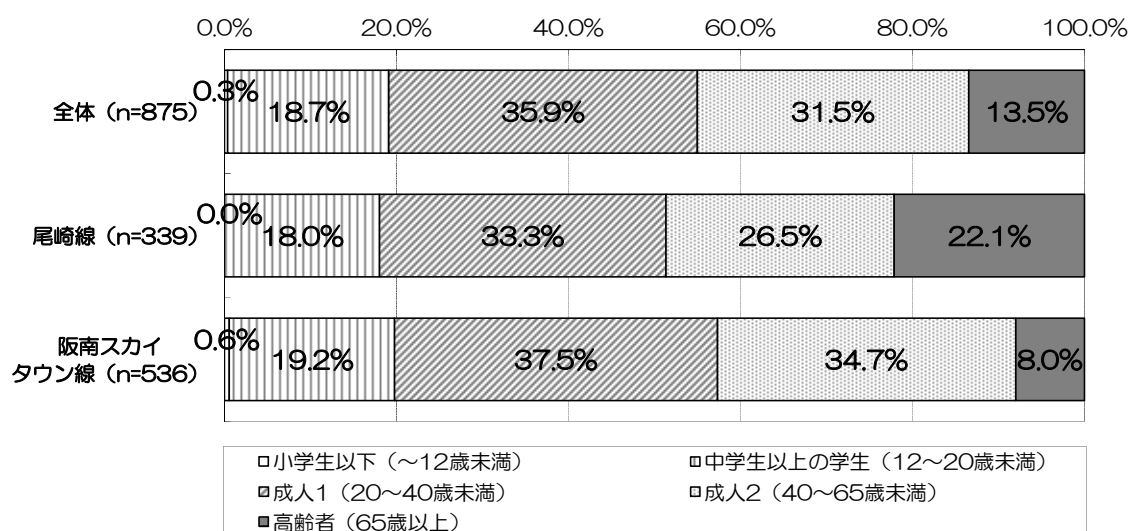


図 2.5 路線バス利用者の年齢（路線別）

2.2.3 運行時間帯別

(1) 尾崎線

- 尾崎線の時間帯別利用者数は、「7 時台」が 49 人/時と最も多く、次いで「18 時台」が 31 人/時、「6 時台」が 30 人/時、「15 時台」が 29 人/時である。
- 通勤・通学時間帯や帰宅時間帯をはじめ、10～11 時台の利用も多い。
- 8～12 時台では高齢者（65 歳以上）の利用が目立つ。

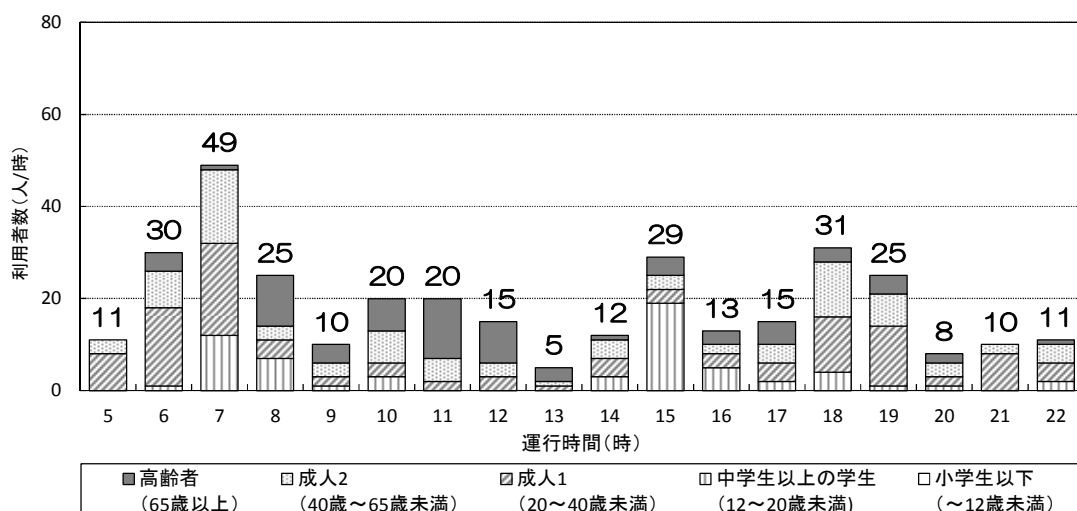


図 2.6 時間帯別利用者数（尾崎線）



(2) 阪南スカイタウン線

- 阪南スカイタウン線の時間帯別利用者数は、「6～7 時台」が 76 人/時と最も多く、次いで「19 時台」が 71 人/時、「18 時台」が 50 人/時、「20 時台」が 38 人/時である。
- 通勤・通学時間帯や帰宅時間帯での利用が多い。
- 昼間時間帯利用は、尾崎線と比べやや少ない。

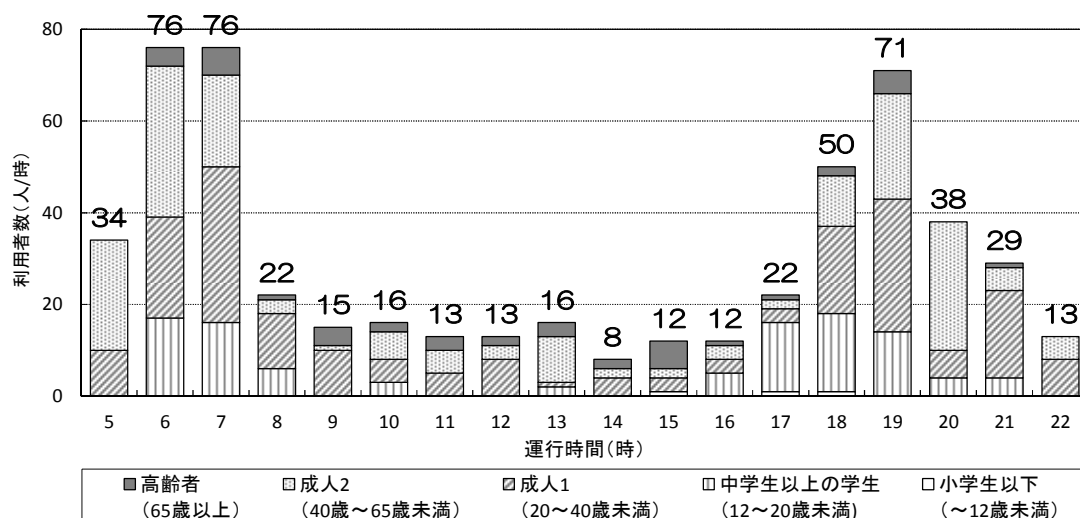


図 2.7 時間帯別利用者数 (阪南スカイタウン線)

2.2.4 バス停別乗降人員

(1) 尾崎線

- 尾崎線のバス停別乗降人員は、「尾崎駅前」が 317 人と最も多く、次いで「和泉鳥取」が 84 人、「小川口」が 61 人、「玉田」が 59 人、「中村西口」が 37 人である。

表 2.2 バス停別乗降人員 (尾崎線)

単位: 人				
No.	バス停名称	乗車	降車	乗降計
1	尾崎駅前	164	153	317
2	下出	3	2	5
3	中村	5	8	13
4	自然田	10	8	18
5	芝出	5	7	12
6	平見	15	11	26
7	和泉鳥取	40	44	84
8	玉田	29	30	59
9	小川口	36	25	61
10	波太神社前	8	9	17
11	石田	10	12	22
12	中村西口	13	24	37
13	三本松	1	2	3
14	黒田	0	4	4
総計		339	339	678

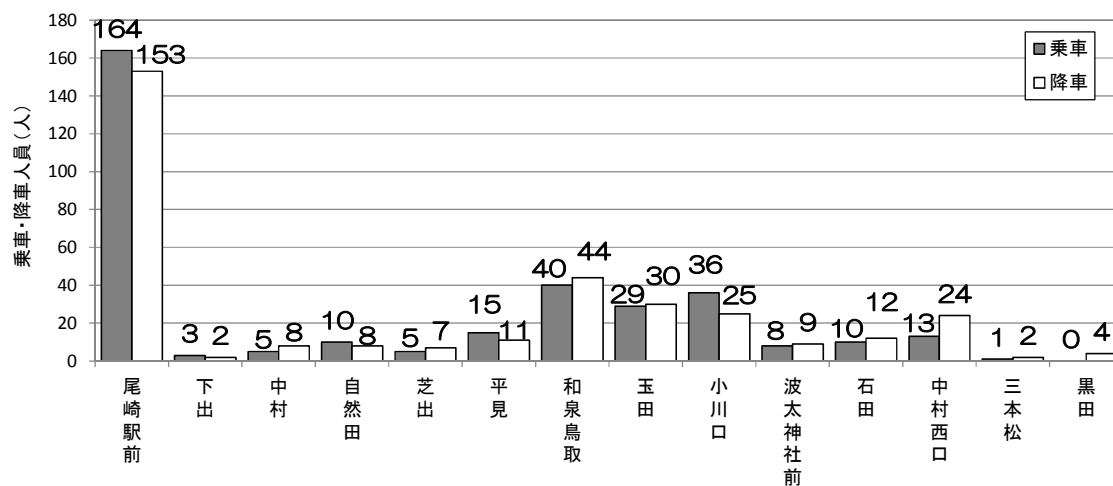


図 2.8 バス停別乗降人員（尾崎線）

(2) 阪南スカイタウン線

- 阪南スカイタウン線のバス停別乗降人員は、「箱作駅前」が 536 人と最も多く、次いで「桃の木台六丁目」が 109 人、「桃の木台四丁目」が 84 人、「桃の木台三丁目」が 81 人、「桃の木台五丁目」が 78 人である。

表 2.3 バス停別乗降人員（阪南スカイタウン線）

単位: 人

No.	バス停名称	乗車	降車	乗降計
1	箱作駅前	267	269	536
2	桃の木台一丁目	29	34	63
3	桃の木台二丁目	11	24	35
4	桃の木台五丁目	32	46	78
5	桃の木台六丁目	52	57	109
6	桃の木台小学校前	29	15	44
7	桃の木台七丁目	18	24	42
8	桃の木台四丁目	42	42	84
9	桃の木台三丁目	56	25	81
総計		536	536	1,072

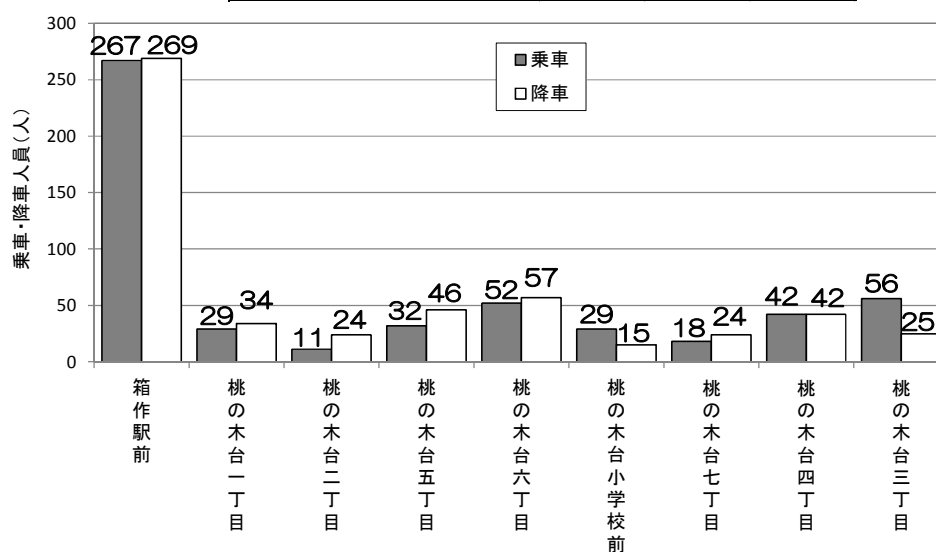


図 2.9 バス停別乗降人員（阪南スカイタウン線）

2.2.5 尾崎駅前時間帯別乗降人員

- 尾崎駅前バス停での時間帯別乗降人員を見ると、降車人員は通勤時間帯である「7 時台」が最も多く、次いで「6 時台」、下校時間帯の「15 時台」である。
- 乗車人員は、通勤先からの帰宅時間帯である「18 時台」が最も多く、次いで「19 時台」、朝の通勤時間帯の「7 時台」である。

表 2.4 尾崎駅前時間帯別乗降人員

単位：人/時

運行 時間帯	乗車人員	降車人員	乗降人員
5	0	10	10
6	2	25	27
7	15	32	47
8	5	16	21
9	3	7	10
10	11	8	19
11	10	9	19
12	12	3	15
13	2	3	5
14	4	8	12
15	9	17	26
16	6	6	12
17	9	5	14
18	27	2	29
19	24	0	24
20	7	1	8
21	9	1	10
22	9	0	9
総計	164	153	317

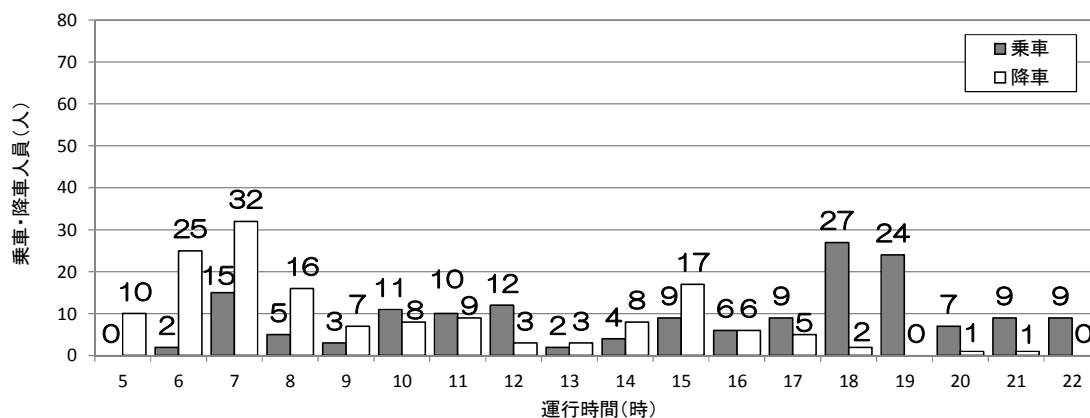


図 2.10 尾崎駅前時間帯別乗降人員

2.2.6 箱作駅前時間帯別乗降人員

- 箱作駅前バス停での時間帯別乗降人員を見ると、降車人員は通勤時間帯である「6 時台」が最も多く、次いで「7 時台」、「5 時台」である。
- 乗車人員は、通勤先からの帰宅時間帯である「19 時台」が最も多く、次いで「18 時台」、「20 時台」で、夕方以降が多い。

表 2.5 箱作駅前時間帯別乗降人員

単位：人/時

運行 時間帯	乗車人員	降車人員	乗降人員
5	0	34	34
6	2	74	76
7	4	72	76
8	7	16	23
9	1	14	15
10	5	10	15
11	4	9	13
12	6	7	13
13	10	6	16
14	4	4	8
15	5	7	12
16	8	4	12
17	18	4	22
18	45	5	50
19	69	2	71
20	37	1	38
21	29	0	29
22	13	0	13
総計	267	269	536

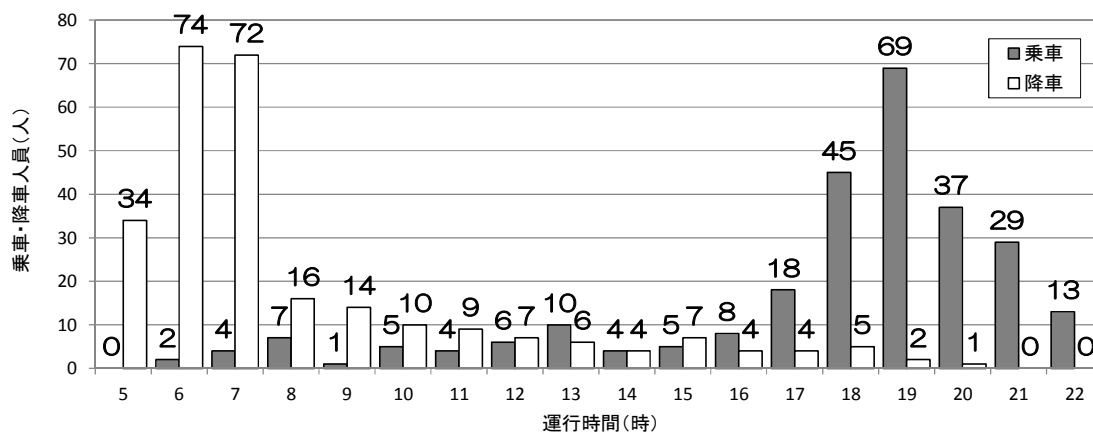


図 2.11 箱作駅前時間帯別乗降人員

2.2.7 OD 集計結果

(1) 尾崎線

- 尾崎駅前を起点・終点とした利用が多い。
- 「尾崎駅前」バス停と「和泉鳥取」バス停間での利用が最も多く、次いでさつき台の北端に位置する「小川口」バス停、大阪リハビリテーション病院等が最寄りの「玉田」バス停である。

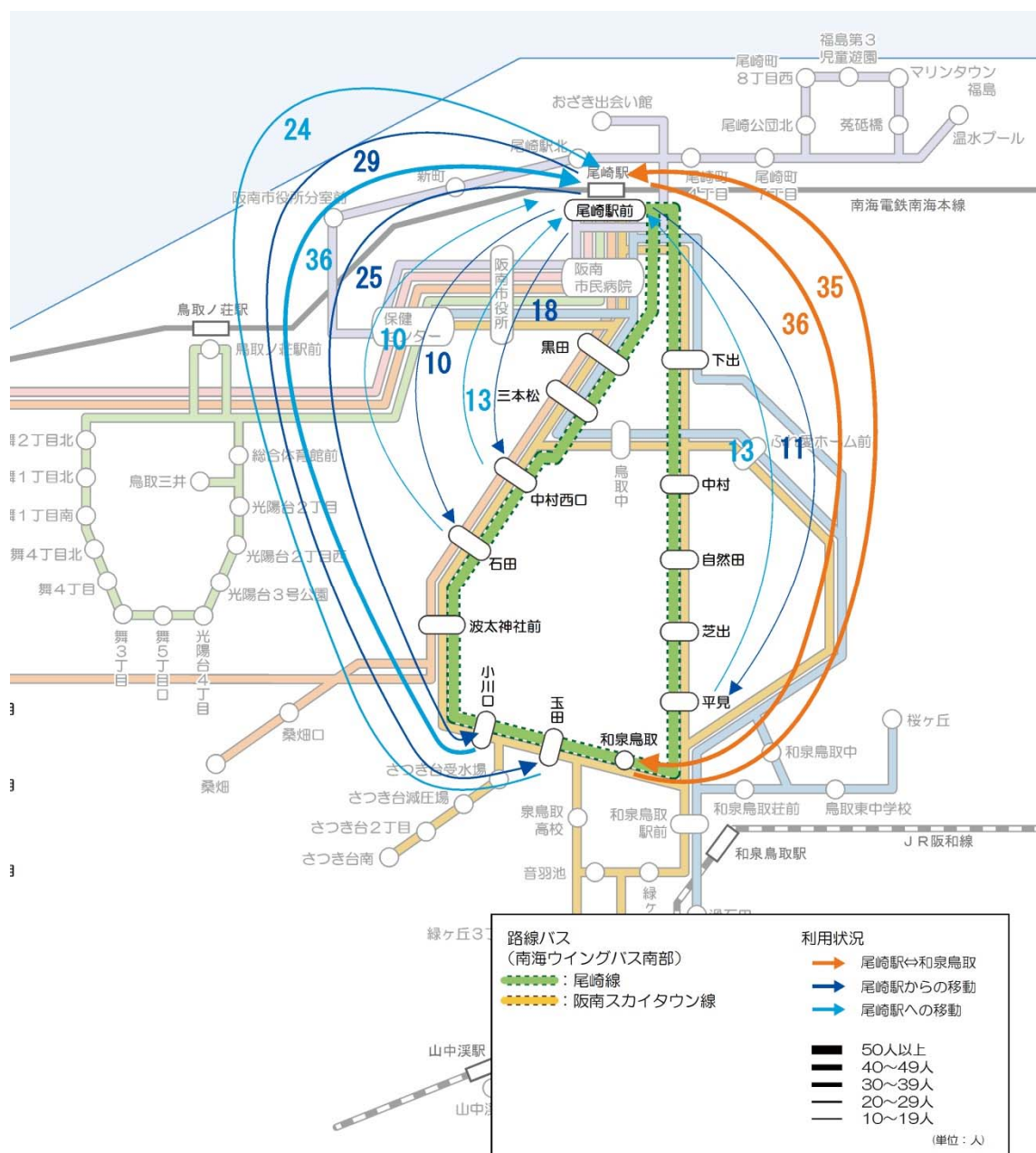


図 2.12 OD 図（尾崎線）

(2) 阪南スカイタウン線

- 箱作駅前を起点・終点とした利用が多い。
- 「箱作駅前」バス停と「桃の木台六丁目」バス停間での利用が最も多く、次いで「桃の木台四丁目」バス停、「桃の木台三丁目」バス停である。

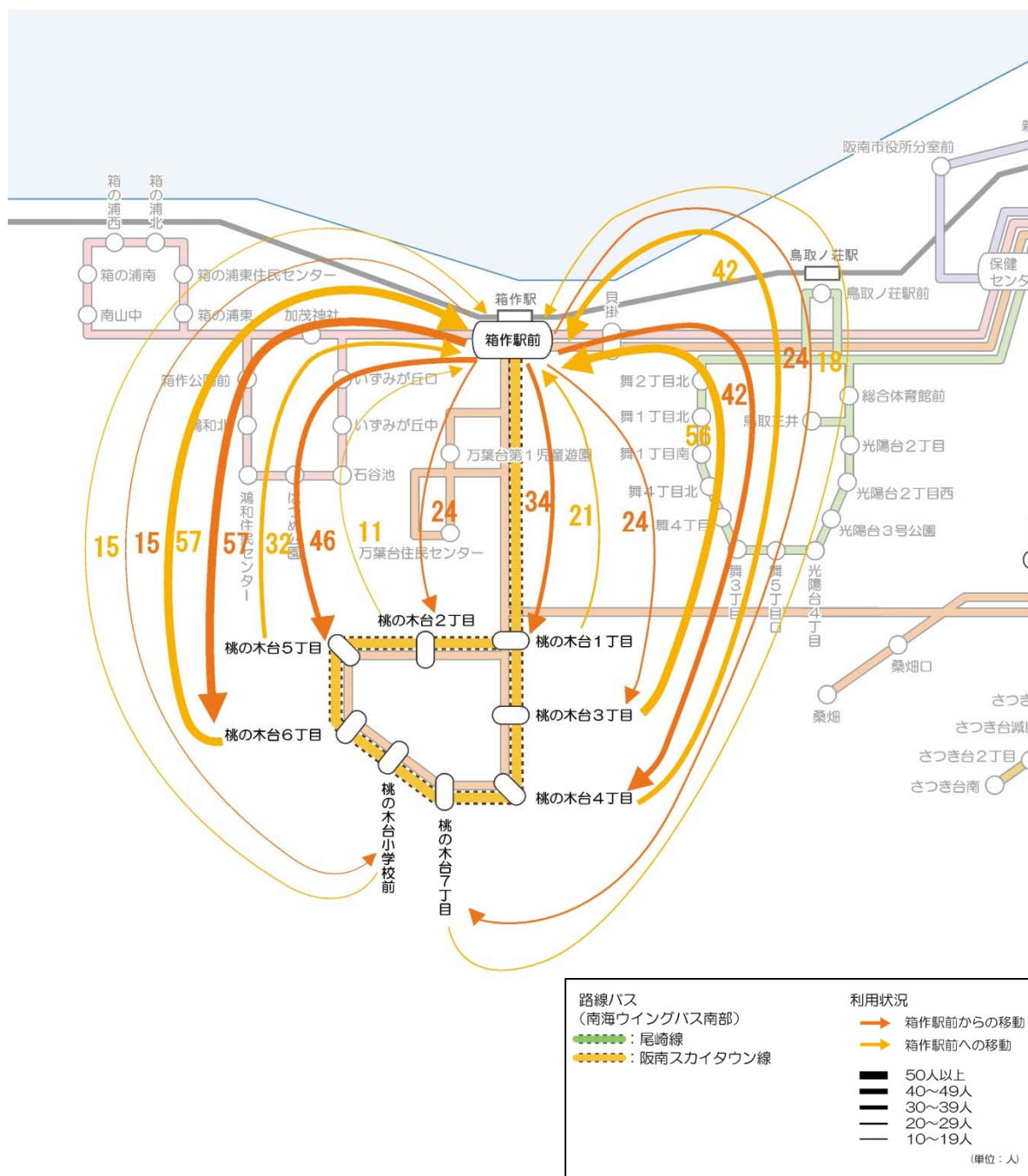


図 2.13 OD 図（阪南スカイタウン線）

2.3 コミュニティバス「さつき号」

2.3.1 利用者数

- 調査日（平成 29 年 4 月 24 日(月)）の利用者数は、合計で 558 人である。
- コース別では、「光陽台・舞コース」が 159 人と最も多く、次いで「いずみが丘・箱の浦コース」が 137 人、「緑ヶ丘・さつき台コース」が 106 人であり、「尾崎コース」が最も少なく 33 人である。
- 1 便あたり利用者数は、「光陽台・舞コース」が 19.9 人/便と最も多く、次いで「いずみが丘・箱の浦コース」が 19.6 人/便、「緑ヶ丘・さつき台コース」が 17.7 人/便であり、「尾崎コース」が最も少なく 6.6 人/便である。
- コース別の利用者は、「光陽台・舞コース」が最も多く利用者全体の約 29%を占め、次いで「いずみが丘・箱の浦コース」が約 25%、「緑ヶ丘・さつき台コース」が約 19%を占め、「尾崎コース」が最も少なく約 6%である。

表 2.6 コミュニティバス「さつき号」利用者数（コース別）

単位：人

コース名	利用者数	男性	女性	小学生以下 (～12歳 未満)	中学生以上 の学生 (12～20 歳未満)	成人1 (20～40 歳未満)	成人2 (40～65 歳未満)	高齢者 (65歳以上)	1便あたり 利用者数	運行便数 (便/日)
尾崎	33	5	28	0	0	1	1	31	6.6	5
山中溪・桜ヶ丘	56	19	37	0	5	6	14	31	11.2	5
緑ヶ丘・さつき台	106	35	71	0	3	7	18	78	17.7	6
光陽台・舞	159	39	120	0	0	10	27	122	19.9	8
桃の木台・万葉台	67	17	50	0	1	7	19	40	13.4	5
いずみが丘・箱の浦	137	49	88	1	3	5	26	102	19.6	7
合計	558	164	394	1	12	36	105	404	15.5	36

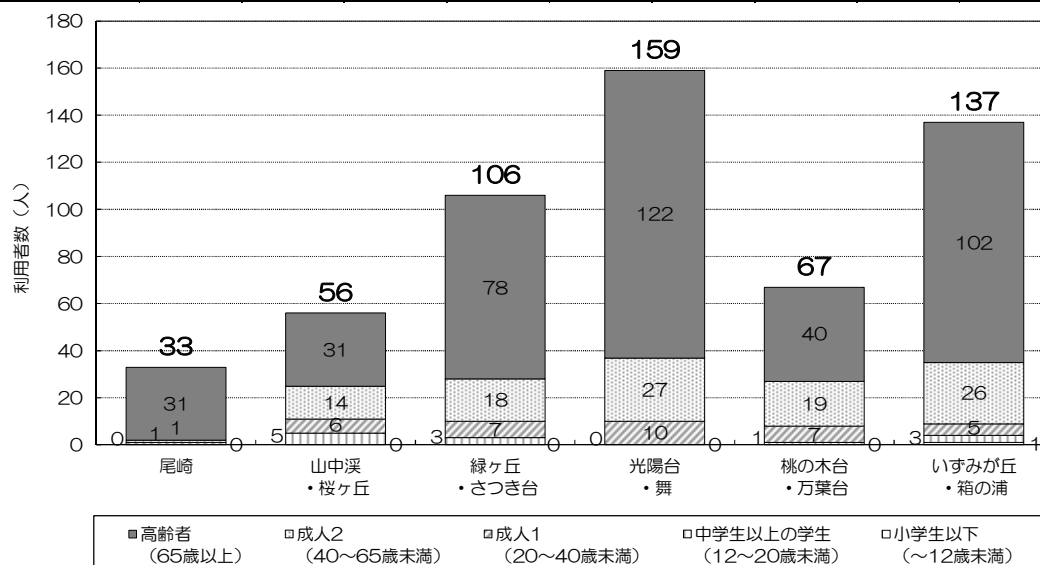


図 2.14 コミュニティバス「さつき号」利用者数（コース別）

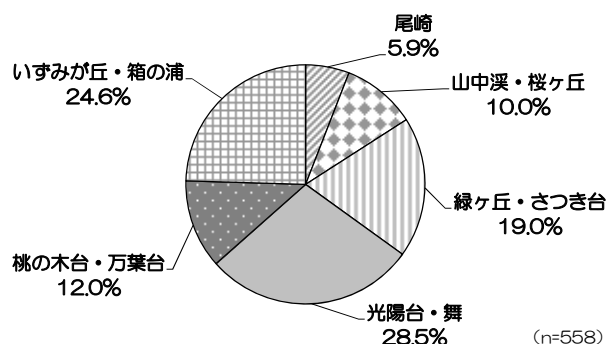


図 2.15 コミュニティバス「さつき号」コース別利用者の割合

2.3.2 年齢別に見た利用者数

- 年齢は、「高齢者（65歳以上）」が約72%と最も多く、次いで「成人2（40～65歳未満）」が約19%を占める。
- 尾崎コースが「高齢者（65歳以上）」の占める割合が約94%と最も多く、次いで光陽台・舞コースが約77%、いずみが丘・箱の浦コースが約75%、緑ヶ丘・さつき台コースが約74%、桃の木台・万葉台コースが約60%、山中溪・桜ヶ丘コースが約55%である。
- 山中溪・桜ヶ丘コース、緑ヶ丘・さつき台コース、桃の木台・万葉台コース及びいずみが丘・箱の浦コースでは、「中学生以上の学生（12～20歳未満）」の利用が見受けられる。
- また、いずみが丘・箱の浦コースでは、「小学生以下（12歳未満）」の利用が見受けられる。

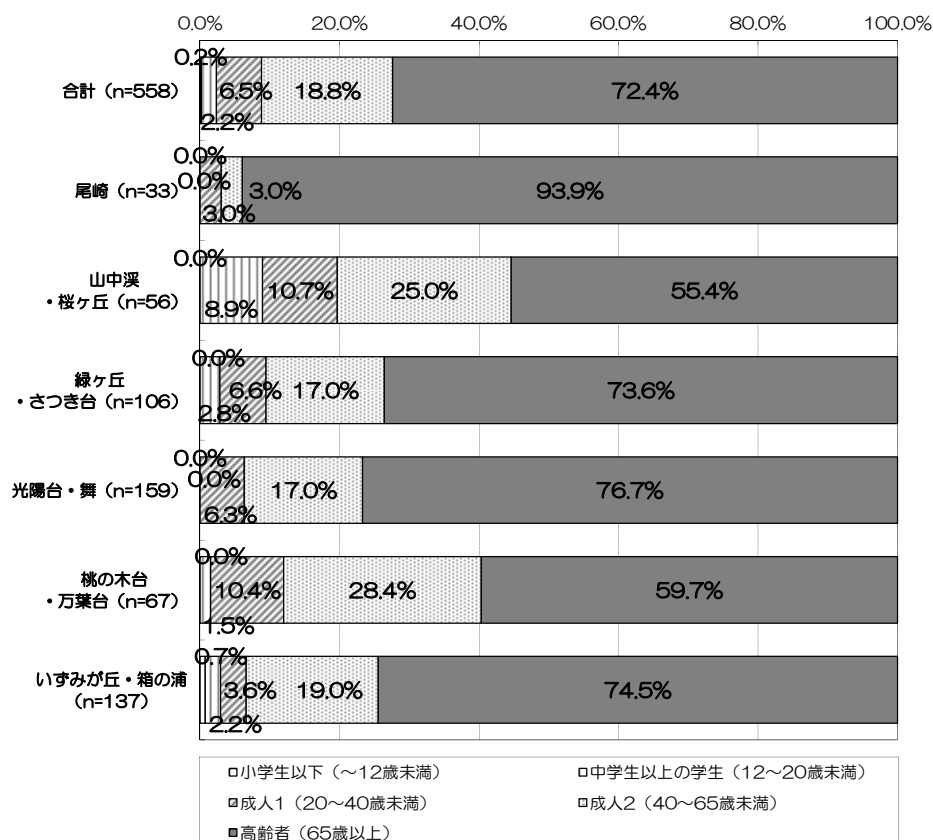


図 2.16 コミュニティバス「さつき号」利用者の年齢（コース別）

2.3.3 運行時間帯別【全コース】

- 運行時間帯別利用者数は、「8 時台」が 86 人/時と最も多く、次いで「10 時台」が 76 人/時、「13 時台」が 68 人/時、「9 時台」が 58 人/時である。
- 午前中から昼過ぎにかけての時間帯での利用が多い。
- 各時間帯において、高齢者（65 歳以上）の利用が多い。

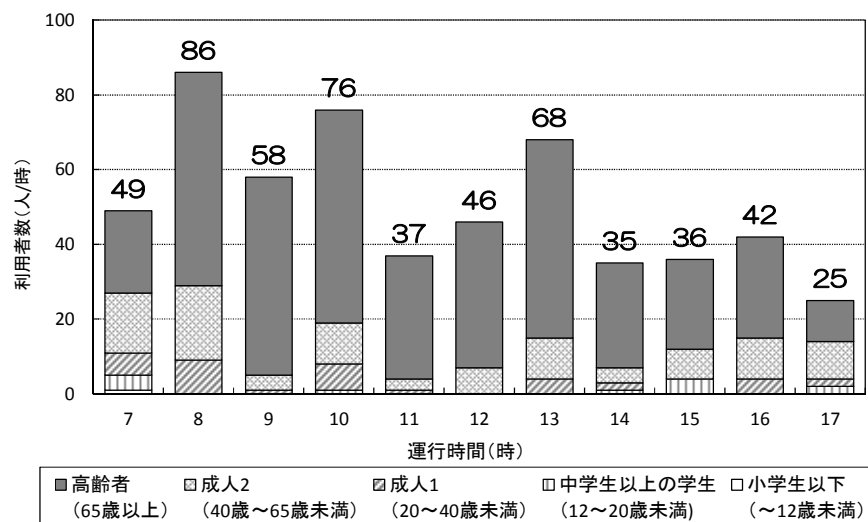


図 2.17 時間帯別利用者数（全コース）

2.3.4 運行便別【コース別】

- 運行便別利用者数は、各コースにおいて午前中から昼過ぎに始発バス停を出発する便で利用が多い傾向にある。

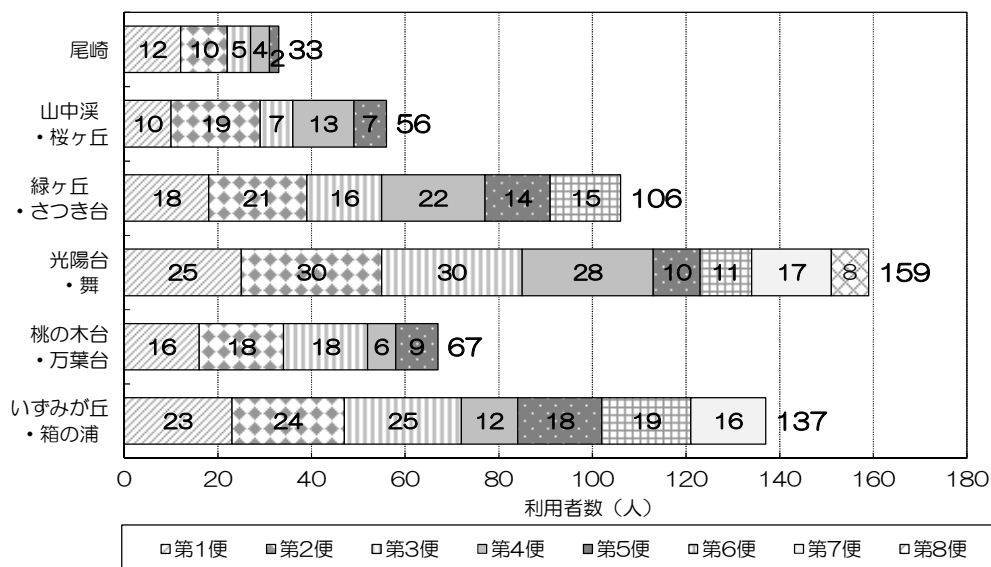


図 2.18 運行便別利用者数（コース別）

2.3.5 バス停別乗降者人員

- コミュニティバス「さつき号」のバス停別乗降者人員（全バス停 92 カ所）を見ると、「阪南市役所」が 225 人と最も多く、次いで「阪南市民病院」が 136 人、「尾崎駅前」が 97 人、「箱作駅前」が 42 人、「鳥取ノ荘駅前（上り・下り）」が 39 人、「和泉鳥取駅前」が 31 人である。
- 阪南市中心部や市内鉄道駅の最寄りバス停での乗降者が多い。
- 「阪南市民病院」は、降車人員（38 人）に比べ、乗車人員（98 人）が多く、「尾崎駅前」は、乗車人員（12 人）に比べ、降車人員（85 人）が多い。
- 乗降人員が 0 人のバス停が 7 カ所、1 人が 6 カ所、2 人が 10 カ所である。

表 2.7 バス停別乗降人員（1/2）

順位	バス停名称	乗降人員（人）	乗車人員（人）	降車人員（人）	運行コース					
					尾崎	山中溪・桜ヶ丘	緑ヶ丘・さつき台	光陽台・舞	桃の木台・万葉台	いずみが丘・箱の浦
1	阪南市役所	225	119	106	○	○	○	○	○	○
2	阪南市民病院	136	98	38	○	○	○	○	○	○
3	尾崎駅前	97	12	85	○	○	○	○	○	○
4	箱作駅前	42	19	23					○	○
5	鳥取ノ荘駅前（上り・下り）	39	29	10				○		○
6	和泉鳥取駅前	31	11	20		○	○			
7	舞5丁目口	26	5	21				○		
8	舞4丁目	22	9	13				○		
9	光陽台4丁目	19	7	12				○		
10	中村西口	18	8	10			○		○	
10	南山中	18	10	8						○
10	保健センター	18	11	7	○	○	○	○	○	○
13	光陽台3号公園	17	9	8				○		
14	光陽台2丁目西	16	6	10				○		
15	はつめ公園	15	7	8						○
15	尾崎町4丁目（上り・下り）	15	7	8	○					
15	桜ヶ丘	15	10	5		○				
18	鴻和住民センター	14	6	8						○
18	貝掛（上り・下り）	14	11	3					○	○
20	光陽台2丁目	13	6	7				○		
21	箱の浦東	12	6	6						○
22	鴻和北	10	5	5						○
23	舞2丁目北	9	3	6				○		
23	箱の浦南	9	5	4						○
23	玉田	9	7	2			○			
26	黒田	8	1	7		○	○		○	
26	王子原	8	2	6		○				
26	音羽池	8	4	4			○			
26	桃の木台1丁目（上り・下り）	8	5	3					○	
26	桃の木台4丁目	8	5	3					○	
31	桃の木台6丁目	7	3	4					○	
31	尾崎町7丁目（上り・下り）	7	3	4	○					
31	菟砥橋	7	4	3	○					
31	舞4丁目北	7	4	3				○		
31	箱の浦東住民センター	7	5	2						○



表 2.8 バス停別乗降人員 (2/2)

順位	バス停名称	乗降人員(人)	乗者人員(人)	降者人員(人)	運行コース					
					尾崎	山中溪・桜ヶ丘	緑ヶ丘・さつき台	光陽台・舞	桃の木台・万葉台	いずみが丘・箱の浦
36	滑石田(上り・下り)	6	2	4		○				
36	さつき台減圧場	6	3	3			○			
36	鳥取三井	6	3	3				○		
36	緑ヶ丘3丁目北	6	3	3			○			
36	石谷池	6	4	2						○
36	舞1丁目南	6	4	2				○		
36	石田	6	5	1			○		○	
36	箱の浦西	6	5	1						○
36	箱の浦北	6	5	1						○
36	舞3丁目	6	5	1				○		
46	おざき出会い館	5	0	5	○	○	○	○	○	○
46	いずみが丘口	5	1	4						○
46	平見	5	1	4			○			
46	桃の木台5丁目	5	2	3					○	
46	いずみが丘中	5	3	2						○
46	総合体育館前	5	3	2				○		
46	緑ヶ丘2丁目	5	3	2			○			
46	波太神社前	5	4	1			○		○	
54	自然田	4	1	3			○			
54	箱作公園前	4	1	3						○
54	緑ヶ丘3丁目	4	1	3			○			
54	桃の木台7丁目	4	2	2					○	
54	舞1丁目北	4	2	2				○		
54	下出	4	3	1		○	○			
54	万葉台住民センター	4	3	1					○	
54	加茂神社	4	4	0						○
62	さつき台南	3	0	3			○			
62	芝出	3	0	3			○			
62	泉鳥取高校	3	0	3			○			
62	さつき台2丁目	3	1	2			○			
62	小川口	3	2	1			○			
62	桃の木台3丁目	3	2	1					○	
62	ふれ愛ホーム前	3	3	0		○	○			
62	緑ヶ丘口	3	3	0			○			
70	向田橋	2	0	2		○				
70	三本松	2	0	2		○	○		○	
70	新町	2	0	2	○					
70	万葉台第1児童遊園	2	0	2					○	
70	桑畑	2	1	1					○	
70	中村	2	1	1			○			
70	尾崎町8丁目西	2	1	1	○					
70	山中溪駅前	2	2	0		○				
70	桃の木台2丁目	2	2	0					○	
70	和泉鳥取荘前	2	2	0		○				
80	マリントウン福島	1	0	1	○					
80	尾崎駅北	1	0	1	○					
80	尾崎公園北	1	0	1	○					
80	滑下橋(上り・下り)	1	1	0		○				
80	鳥取中	1	1	0		○	○			
80	和泉鳥取中	1	1	0		○				
86	桃の木台小学校前	0	0	0					○	
86	福島第3児童遊園	0	0	0	○					
86	阪南市役所分室前	0	0	0	○					
86	鳥取東中学校	0	0	0		○				
86	さつき台受水場	0	0	0			○			
86	桑畑口	0	0	0					○	
86	温水プール	0	0	0	○					
合計		1,116	558	558	-	-	-	-	-	-

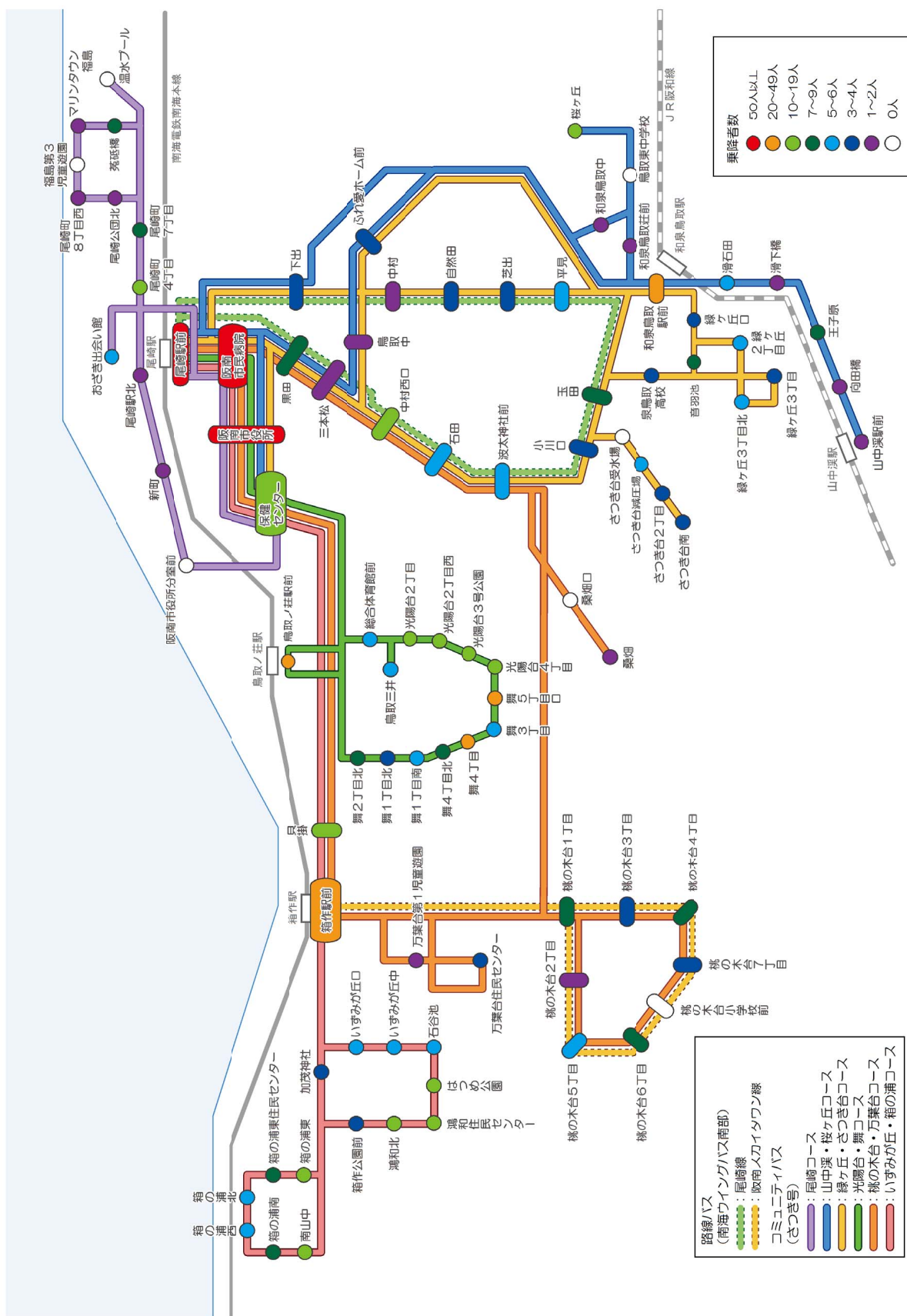


図 2.19 バス停別乗降人員の状況



2.3.6 区間別乗車人員

(1) 尾崎コース

- コース別に各運行便における区間別乗車人員（当該バス停を降車した時点で乗車している利用者数）を見ると、尾崎コースでは、第1便の「尾崎町7丁目（上り）」から「尾崎駅北」までの12人/便が最も多い。

表 2.9 運行便別利用者数（尾崎コース）

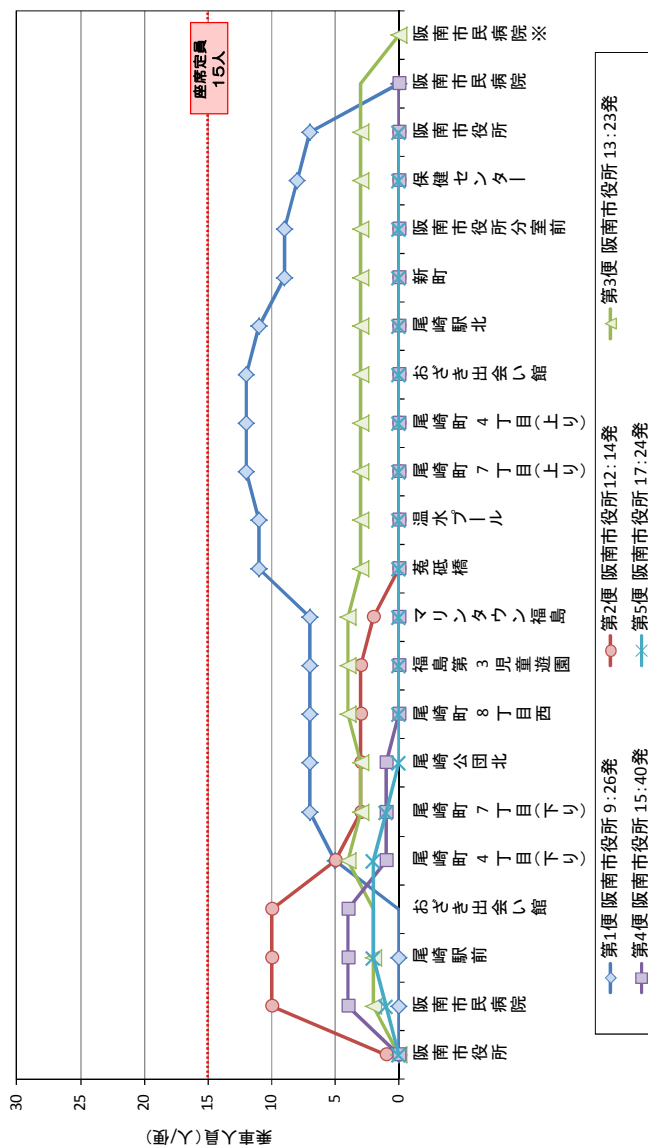
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		阪南市役所	阪南市民病院	尾崎駅前	おさき出合い館	尾崎町4丁目（下り）	尾崎町7丁目（下り）	尾崎公団北	尾崎町8丁目西	福島第3児童遊園	マリントウン福島	菟砥橋	温水プール
第1便	乗者数	0	0	0		5	2	0	0	0	0	4	0
	降者数	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	乗車人員	0	0	0		5	7	7	7	7	7	11	11
第2便	乗者数	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	降者数	0	0	0	0	5	2	0	0	0	1	2	0
	乗車人員	1	10	10	10	5	3	3	3	3	2	0	0
第3便	乗者数	0	2	0		2	0	0	1	0	0	0	0
	降者数	0	0	0		0	1	0	0	0	0	1	0
	乗車人員	0	2	2		4	3	3	4	4	4	3	3
第4便	乗者数	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	降者数	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0
	乗車人員	0	4	4	4	1	1	1	0	0	0	0	0
第5便	乗者数	0	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0
	降者数	0	0	0		0	1	1	0	0	0	0	0
	乗車人員	0	1	2		2	1	0	0	0	0	0	0
		13	14	15	16	17	18	19	20	21	山3	合計	
		尾崎町7丁目（上り）	尾崎町4丁目（上り）	おさき出合い館	尾崎駅北	新町	阪南市役所分室前	保健センター	阪南市役所	阪南市民病院	阪南市民病院※		
第1便	乗者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0		12	
	降者数	0	0	0	1	2	0	1	1	7		12	
	乗車人員	12	12	12	11	9	9	8	7	0		-	
第2便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0	0			10	
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	0			10	
	乗車人員	0	0	0	0	0	0	0	0			-	
第3便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0	0		0	5	
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	0		3	5	
	乗車人員	3	3	3	3	3	3	3	3		0	-	
第4便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		4	
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		4	
	乗車人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0		-	
第5便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0	0			2	
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	0			2	
	乗車人員	0	0	0	0	0	0	0	0			-	

※山中溪・桜ヶ丘コースのバス停を示す。

調査日当日の運行車両の乗車定員（座席・立席）について



日野リエッセ
乗車定員：35人
座席：15人
立席：20人
※乗務員1人を除く



※山中溪・桜ヶ丘コースのバス停を示す。

図 2.20 運行便別利用者数（尾崎コース）



(2) 山中溪・桜ヶ丘コース

- 山中溪・桜ヶ丘コースでは、第2便の「ふれ愛ホーム前」から「尾崎駅前」までの12人/便が最も多い。

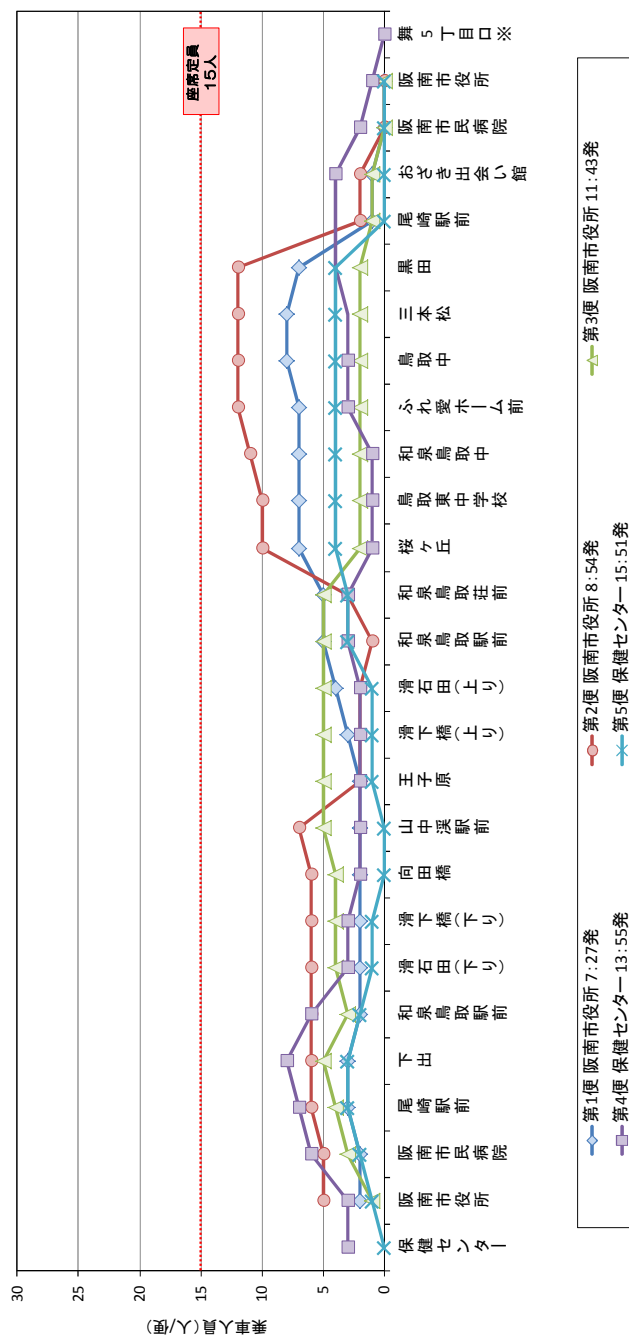
表 2.10 運行便別利用者数（山中溪・桜ヶ丘コース）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		保健センター	阪南市役所	阪南市民病院	尾崎駅前	下出	和泉鳥取駅前	滑石田（下り）	滑下橋（下り）	向田橋	山中溪駅前	王子原	滑下橋（上り）	滑石田（上り）	和泉鳥取駅前	和泉鳥取荘前
第1便	乗者数		2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0
	降者数		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乗車人員		2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	3	4	5	5
第2便	乗者数		5	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	降者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0
	乗車人員		5	5	6	6	6	6	6	6	7	2	2	2	1	3
第3便	乗者数		1	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	降者数		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乗車人員		1	3	4	5	3	4	4	4	5	5	5	5	5	5
第4便	乗者数	3	0	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	降者数	0	0	3	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0
	乗車人員	3	3	6	7	8	6	3	3	2	2	2	2	2	3	3
第5便	乗者数	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
	降者数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	乗車人員	0	1	2	3	3	2	1	1	0	0	1	1	1	3	3

		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	光11	合計
		桜ヶ丘	鳥取東中学校	和泉鳥取中	ふれ愛ホーム前	鳥取中	三本松	黒田	尾崎駅前	おざき出会い館	阪南市民病院	阪南市役所	舞5丁目口※	
第1便	乗者数	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		10
	降者数	0	0	0	0	0	0	1	6	0	1	0		10
	乗車人員	7	7	7	7	8	8	7	1	1	0	0		-
第2便	乗者数	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		19
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	10	0	2	0		19
	乗車人員	10	10	11	12	12	12	12	2	2	0	0		-
第3便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		7
	降者数	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		7
	乗車人員	2	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0		-
第4便	乗者数	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	16
	降者数	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	16
	乗車人員	1	1	1	3	3	3	4	4	4	2	1	0	-
第5便	乗者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		7
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0		7
	乗車人員	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0		-

※光陽台・舞コースのバス停を示す。

■：尾崎コースからの乗継利用者1人を示す。



※光陽台・舞台コースのバス停を示す。

図 2.21 運行便別利用者数（山中溪・桜ヶ丘コース）



(3) 緑ヶ丘・さつき台コース

- 緑ヶ丘・さつき台コースでは、第4便の「下出」から「自然田」までの19人/便が最も多く、次いで第2便の「波太神社前」から「石田」までが17人/便であり、座席定員の15人を上回っている。

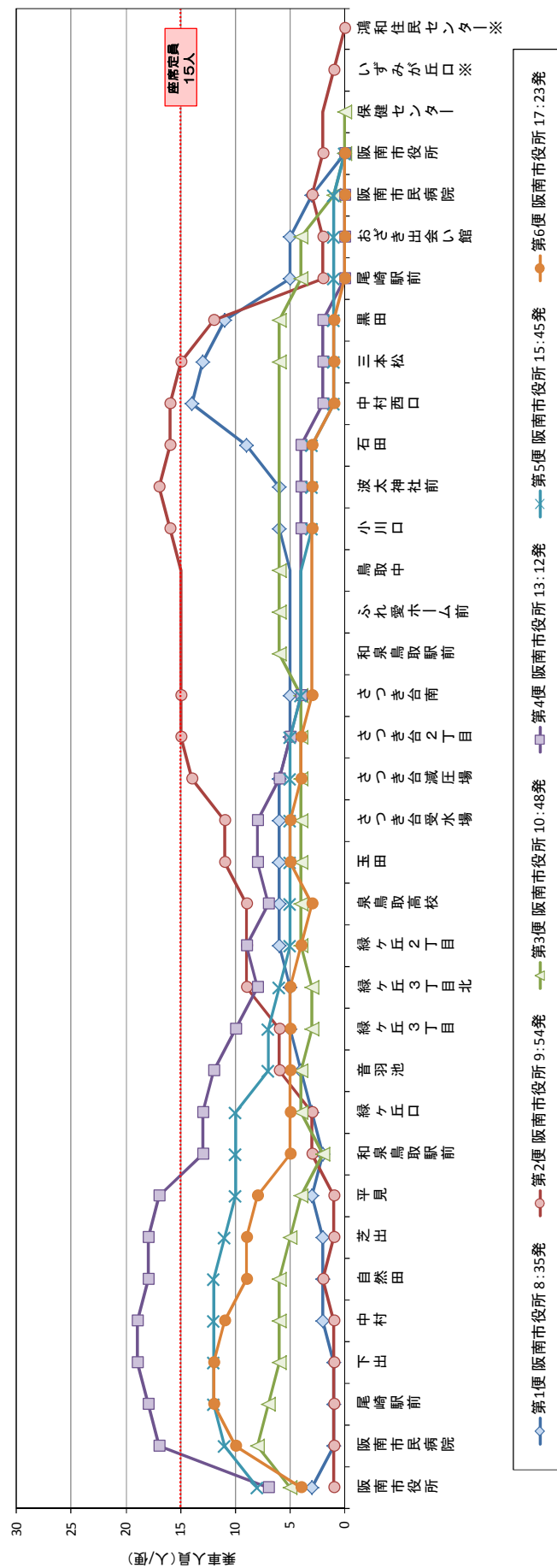
表 2.11 運行便別利用者数（緑ヶ丘・さつき台コース）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		阪南市役所	阪南市民病院	尾崎駅前	下出	中村	自然田	芝出	平見	和泉鳥取駅前	緑ヶ丘口	音羽池	緑ヶ丘3丁目	緑ヶ丘3丁目北	緑ヶ丘2丁目	泉鳥取高校	玉田	さつき台受水場	さつき台減圧場
第1便	乗者数	3	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0
	降者数	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乗車人員	3	1	1	1	2	2	2	3	2	3	4	5	5	6	6	6	6	6
第2便	乗者数	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	3	0	3	0	0	2	0	3
	降者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乗車人員	0	1	1	1	1	2	1	1	3	3	6	6	9	9	9	11	11	14
第3便	乗者数	5	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0
	降者数	0	1	1	1	0	0	1	1	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	乗車人員	5	8	7	6	6	6	5	4	2	4	4	3	3	4	4	4	4	4
第4便	乗者数	7	10	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	降者数	0	0	0	0	0	1	0	1	5	0	1	2	2	0	2	0	0	2
	乗車人員	7	17	18	19	19	18	18	17	13	13	12	10	8	9	7	8	8	6
第5便	乗者数	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	降者数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0
	乗車人員	8	11	12	12	12	12	11	10	10	10	7	7	6	5	5	5	5	5
第6便	乗者数	4	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
	降者数	0	0	0	0	1	2	0	1	3	0	0	0	0	1	1	1	0	1
	乗車人員	4	10	12	12	11	9	9	8	5	5	5	5	5	4	3	5	5	4

		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	い11	い17	合計
		さつき台2丁目	さつき台南	和泉鳥取駅前	ふれ愛ホーム前	鳥取中	小川口	波太神社前	石田	中村西口	三本松	黒田	尾崎駅前	おさき出会い館	阪南市民病院	阪南市役所	保健センター	いずみが丘口※	鴻和住民センター※	
第1便	乗者数	0	0				1	0	3	6	0	0	0	0	0	0				19
	降者数	1	0				0	0	0	1	1	2	6	0	2	3				19
	乗車人員	5	5				6	6	9	14	13	11	5	5	3	0				-
第2便	乗者数	1	0				1	1	0	1	0	0	0	0	2	0		0	0	21
	降者数	0	0				0	0	1	1	1	3	10	0	1	1		1	1	21
	乗車人員	15	15				16	17	16	16	15	12	2	2	3	2		1	0	-
第3便	乗者数	0	0	2	0	0					0	0	0	0	0	0	0			16
	降者数	0	0	0	0	0					0	0	2	0	3	1	0			16
	乗車人員	4	4	6	6	6					6	6	4	4	1	0	0			-
第4便	乗者数	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				22
	降者数	1	1				0	0	0	2	0	0	2	0	0	0				22
	乗車人員	5	4				4	4	4	2	2	2	0	0	0	0				-
第5便	乗者数	0	0				0	1	0	0	0	0	1	0	0	0				14
	降者数	0	1				1	1	0	2	0	0	1	0	0	1				14
	乗車人員	5	4				3	3	3	1	1	1	1	1	1	0				-
第6便	乗者数	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				15
	降者数	0	1				0	0	0	2	0	0	1	0	0	0				15
	乗車人員	4	3				3	3	3	1	1	1	0	0	0	0				-

※いずみが丘・箱の浦コースのバス停を示す。

桃の木台・万葉台コースからの乗継利用者1人を示す。



※いずみが丘・箱の浦コースのバス停を示す。

図 2.22 運行便別利用者数（緑ヶ丘・さつき台コース）



(4) 光陽台・舞コース

- 光陽台・舞コースでは、第2便の「舞1丁目北」から「鳥取ノ荘駅前（上り）」及び第3便の「鳥取ノ荘駅前（下り）」から「総合体育館前」までの26人/便がともに最も多く、次いで第4便の「総合体育館前」から「光陽台2丁目西」までが24人/便であり、座席定員の15人を上回っている。全8便中4便（第1便、第2便、第3便、第4便）において、座席定員の15人を上回る区間がある。

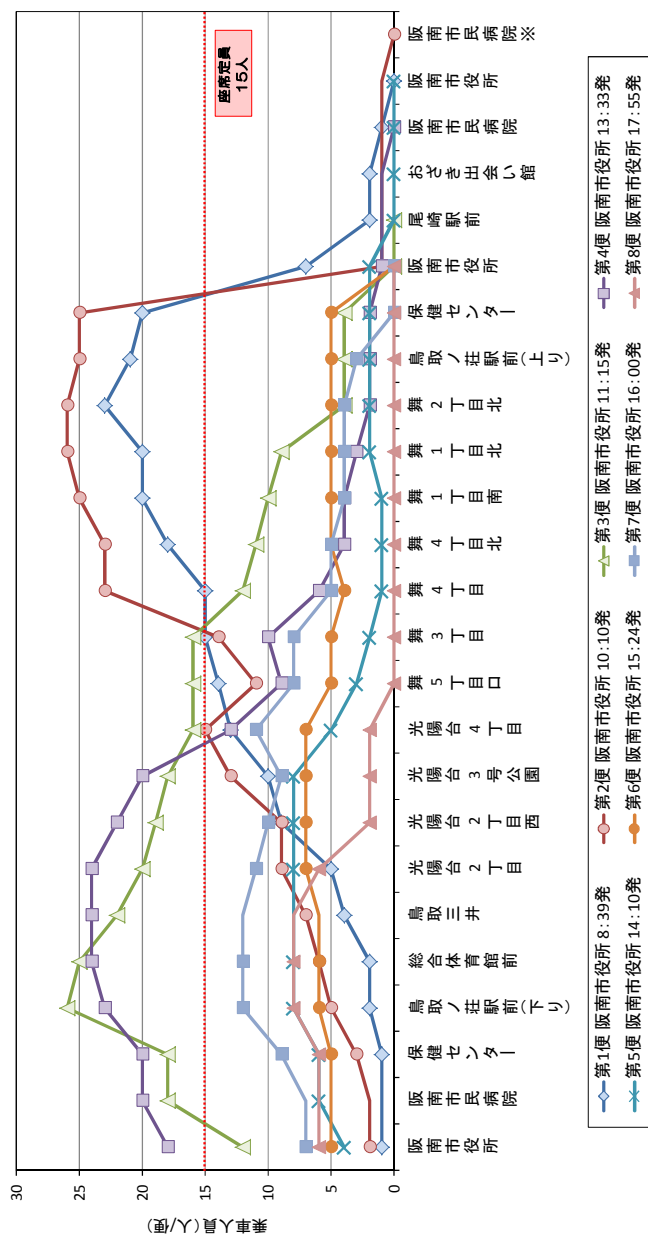
表 2.12 運行便別利用者数（光陽台・舞コース）

		1 阪 南 市 役 所	2 阪 南 市 民 病 院	3 保 健 セ ン タ ー	4 鳥 取 ノ 荘 駅 前 （ 下 り ）	5 総 合 体 育 館 前	6 鳥 取 三 井	7 光 陽 台 2 丁 目	8 光 陽 台 2 丁 目 西	9 光 陽 台 3 号 公 園	10 光 陽 台 4 丁 目	11 舞 5 丁 目 口	12 舞 3 丁 目	13 舞 4 丁 目
第1便	乗者数	1		0	1	0	2	1	4	1	3	2	1	0
	降者数	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	乗車人員	1		1	2	2	4	5	9	10	13	14	15	15
第2便	乗者数	2		1	2	1	1	2	0	4	2	0	3	9
	降者数	0		0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
	乗車人員	2		3	5	6	7	9	9	13	15	11	14	23
第3便	乗者数	12	6	0	8	0	0	1	0	2	0	1	0	0
	降者数	0	0	0	0	1	3	3	1	3	2	1	0	4
	乗車人員	12	18	18	26	25	22	20	19	18	16	16	16	12
第4便	乗者数	18	2	0	3	2	0	0	1	0	0	1	1	0
	降者数	0	0	0	0	1	0	0	3	2	7	5	0	4
	乗車人員	18	20	20	23	24	24	22	20	13	9	10	6	
第5便	乗者数	4	2	0	2	0		0	0	0	0	1	0	0
	降者数	0	0	0	0	0		0	0	0	3	3	1	1
	乗車人員	4	6	6	8	8		8	8	8	5	3	2	1
第6便	乗者数	5		0	1	0		2	0	2	0	0	0	0
	降者数	0		0	0	0		1	0	2	0	2	0	1
	乗車人員	5		5	6	6		7	7	7	7	5	5	4
第7便	乗者数	7		2	5	0		0	1	0	2	0	0	0
	降者数	0		0	2	0		1	2	1	0	3	0	3
	乗車人員	7		9	12	12		11	10	9	11	8	8	5
第8便	乗者数	6		0	2	0		0	0	0	0	0	0	0
	降者数	0		0	0	0		2	4	0	0	2	0	0
	乗車人員	6		6	8	8		6	2	2	2	0	0	0

		14 舞 4 丁 目 北	15 舞 1 丁 目 南	16 舞 1 丁 目 北	17 舞 2 丁 目 北	18 鳥 取 ノ 荘 駅 前 （ 上 り ）	19 保 健 セ ン タ ー	20 阪 南 市 役 所	21 尾 崎 駅 前	22 お ざ き 出 会 い 館	23 阪 南 市 民 病 院	24 阪 南 市 役 所	緑2 阪 南 市 民 病 院 ※	合計
第1便	乗者数	3	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0		25
	降者数	0	0	0	0	3	1	13	5	0	1	1		25
	乗車人員	18	20	20	23	21	20	7	2	2	1	0		-
第2便	乗者数	0	2	1	0	0	0	0					0	30
	降者数	0	0	0	0	1	0	24					1	30
	乗車人員	23	25	26	26	25	25	1					0	-
第3便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0	0					30
	降者数	1	1	1	5	0	0	4	0					30
	乗車人員	11	10	9	4	4	4	0	0					-
第4便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0			0			28
	降者数	2	0	1	1	0	0	1			1			28
	乗車人員	4	4	3	2	2	2	1			0			-
第5便	乗者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		10
	降者数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0		10
	乗車人員	1	1	2	2	2	2	2	0	0	0	0		-
第6便	乗者数	1	0	0	0	1	0	0						12
	降者数	0	0	0	0	1	0	5						12
	乗車人員	5	5	5	5	5	5	0						-
第7便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0						17
	降者数	0	1	0	0	1	3	0						17
	乗車人員	5	4	4	4	3	0	0						-
第8便	乗者数	0	0	0	0	0	0	0						8
	降者数	0	0	0	0	0	0	0						8
	乗車人員	0	0	0	0	0	0	0						-

※緑ヶ丘・さつき台コースのバス停を示す。

■：山中溪・桜ヶ丘コースからの乗継利用者1人を示す。



※緑ヶ丘・さつき台コースのバス停を示す。

図 2.23 運行便別利用者数 (光陽台・舞コース)



(5) 桃の木台・万葉台コース

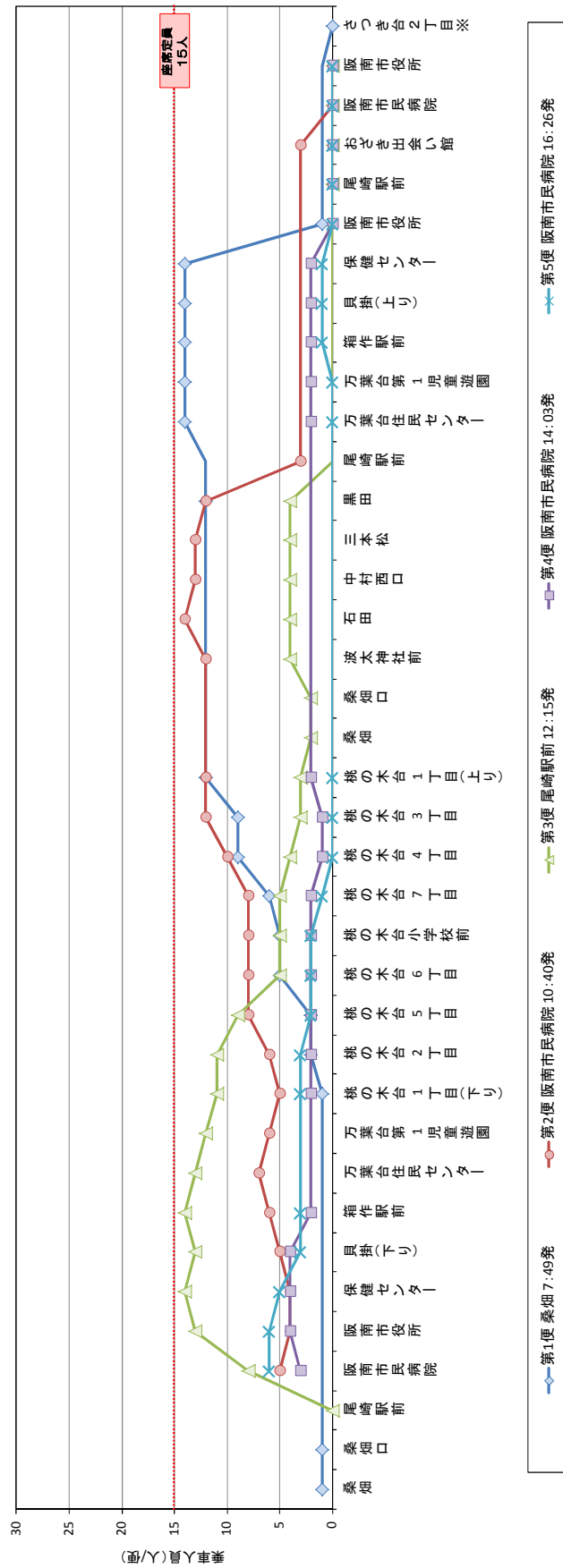
- 桃の木台・万葉台コースでは、第1便の「万葉台住民センター」から「阪南市役所」、第2便の「石田」から「中村西口」及び第3便の「保健センター」から「貝掛（下り）」等での14人/便が最も多い。

表 2.13 運行便別利用者数（桃の木台・万葉台コース）

		1 桑畑	2 桑畑口	3 尾崎駅前	4 阪南市民病院	5 阪南市役所	6 保健センター	7 貝掛（下り）	8 箱作駅前	9 万葉台住民センター	10 万葉台第1児童遊園	11 桃の木台1丁目（下り）	12 桃の木台2丁目	13 桃の木台5丁目	14 桃の木台6丁目	15 桃の木台小学校前	16 桃の木台7丁目	17 桃の木台4丁目	18 桃の木台3丁目	19 桃の木台1丁目（上り）	20 桑畑	21 桑畑口
第1便	乗者数	1	0									0	1	0	3	0	1	3	0	3		
	降者数	0	0									0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	乗車人員	1	1									1	2	2	5	5	6	9	9	12		
第2便	乗者数				5	0	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	2	2	0		
	降者数				0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	乗車人員				5	4	4	5	6	7	6	5	6	8	8	8	8	10	12	12		
第3便	乗者数			0	8	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	降者数			0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	2	4	0	1	1	1	0	1	0
	乗車人員			0	8	13	14	13	14	13	12	11	11	9	5	5	5	4	3	3	2	2
第4便	乗者数				3	1	0	0	0			1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	降者数				0	0	0	0	2			1	0	0	0	0	0	1	0	0		
	乗車人員				3	4	4	4	2			2	2	2	2	2	2	1	1	2		
第5便	乗者数				6	0	0	0	2			0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	降者数				0	0	1	2	2			0	0	1	0	0	1	1	0	0		
	乗車人員				6	6	5	3	3			3	3	2	2	2	1	0	0	0		

		22 波太神社前	23 石田	24 中村西口	25 三本松	26 黒田	27 尾崎駅前	28 万葉台住民センター	29 万葉台第1児童遊園	30 箱作駅前	31 貝掛（上り）	32 保健センター	33 阪南市役所	34 尾崎駅前	35 おさき出会い館	36 阪南市民病院	37 阪南市役所	緑19 さつき台2丁目※	合計
第1便	乗者数							2	0	2	0	0	0					0	16
	降者数							0	0	2	0	0	13					1	16
	乗車人員							14	14	14	14	14	1					0	-
第2便	乗者数	0	2	1	0	0	0								0	0	0	0	18
	降者数	0	0	2	0	1	9								0	3	0	0	18
	乗車人員	12	14	13	13	12	3								3	0	0	0	-
第3便	乗者数	2	0	0	0	0	0								0	0	0	0	18
	降者数	0	0	0	0	0	4								0	0	0	0	18
	乗車人員	4	4	4	4	4	0								0	0	0	0	-
第4便	乗者数							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	降者数							0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6
	乗車人員							2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	-
第5便	乗者数							0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	降者数							0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9
	乗車人員							0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	-

※緑ヶ丘・さつき台コースのバス停を示す。



※緑ヶ丘・さつき台コースのバス停を示す。

図 2.24 運行便別利用者数 (桃の木台・万葉台コース)

(6) いずみが丘・箱の浦コース

- いずみが丘・箱の浦コースでは、第3便の「加茂神社」から「箱作駅前」までの22人/便が最も多く、次いで第2便の「貝掛（上り）」から「阪南市役所」までが18人/便であり、座席定員の15人を上回っている。全7便中4便（第1便、第2便、第3便、第6便）において、座席定員の15人を上回る区間がある。

表 2.14 運行便別利用者数（いずみが丘・箱の浦コース）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		尾崎駅前	阪南市市民病院	阪南市役所	保健センター	貝掛（下り）	箱作駅前	いずみが丘口	いずみが丘中	石谷池	はつめ公園	鴻和住民センター	鴻和北	箱作公園前	南山中	箱の浦南
第1便	乗者数			0	2	0	1	0	0	0	2	3	1	0	2	0
	降者数			0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	乗車人員			0	2	2	2	2	2	2	4	7	8	7	9	9
第2便	乗者数			1	0	0	0	1	0	0	3	1	2	0	2	1
	降者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乗車人員			1	1	1	1	1	2	2	5	6	8	8	10	11
第3便	乗者数			3	0	0	1	0	0	4	2	2	1	0	1	4
	降者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	乗車人員			3	3	3	4	4	4	8	10	12	13	13	12	16
第4便	乗者数		5	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0
	降者数		0	0	0	0	0	1	1	0	4	1	1	0	0	0
	乗車人員		5	7	7	7	7	7	6	6	2	1	1	1	4	4
第5便	乗者数	0	0	3	5	3	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0
	降者数	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	2	0	2	0	0
	乗車人員	0	0	3	7	10	10	7	8	8	8	6	6	5	6	6
第6便	乗者数		12	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	降者数		0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	4	2
	乗車人員		12	15	15	15	16	16	16	16	15	12	9	9	6	4
第7便	乗者数			9	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	降者数			0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	2	2
	乗車人員			9	9	9	14	14	14	12	9	7	6	6	4	2

		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
		箱の浦西	箱の浦北	箱の浦東住民センター	箱の浦東	加茂神社	箱作駅前	貝掛（上り）	鳥取ノ荘駅前（上り）	保健センター	阪南市役所	尾崎駅前	おざき出会い館	阪南市市民病院	合計
第1便	乗者数	3	1	3	0	1	0	0	3	0	1	0	0	0	23
	降者数	1	0	0	0	0	1	0	2	0	9	6	0	2	23
	乗車人員	11	12	15	15	16	15	15	16	16	8	2	2	0	-
第2便	乗者数	0	1	1	2	0	3	6		0	0	0	0	0	24
	降者数	0	0	0	0	0	6	0		0	7	9	0	2	24
	乗車人員	11	12	13	15	15	12	18		18	11	2	2	0	-
第3便	乗者数	1	0	1	4	1	0	0		0	0	0	0	0	25
	降者数	0	0	1	0	0	6	0		0	8	5	0	3	25
	乗車人員	17	17	17	21	22	16	16		16	8	3	3	0	-
第4便	乗者数	0	1	0	0	1	0	0		0	0	0	0	0	14
	降者数	0	0	0	1	0	0	0		0	5	0	0	0	14
	乗車人員	4	5	5	4	5	5	5		5	0	0	0	0	-
第5便	乗者数	0	0	0	0	1	0	1		0	1	0	0	0	18
	降者数	0	1	0	1	0	2	0		0	0	0	5	0	18
	乗車人員	6	5	5	4	5	3	4		4	5	5	0	0	-
第6便	乗者数	1	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	19
	降者数	0	0	0	3	0	0	0		0	3	0	0	0	19
	乗車人員	5	6	6	3	3	3	3		3	0	0	0	0	-
第7便	乗者数	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	16
	降者数	0	0	1	1	0	0	0		0	1	0	0	0	16
	乗車人員	2	3	2	1	1	1	1		1	0	0	0	0	-

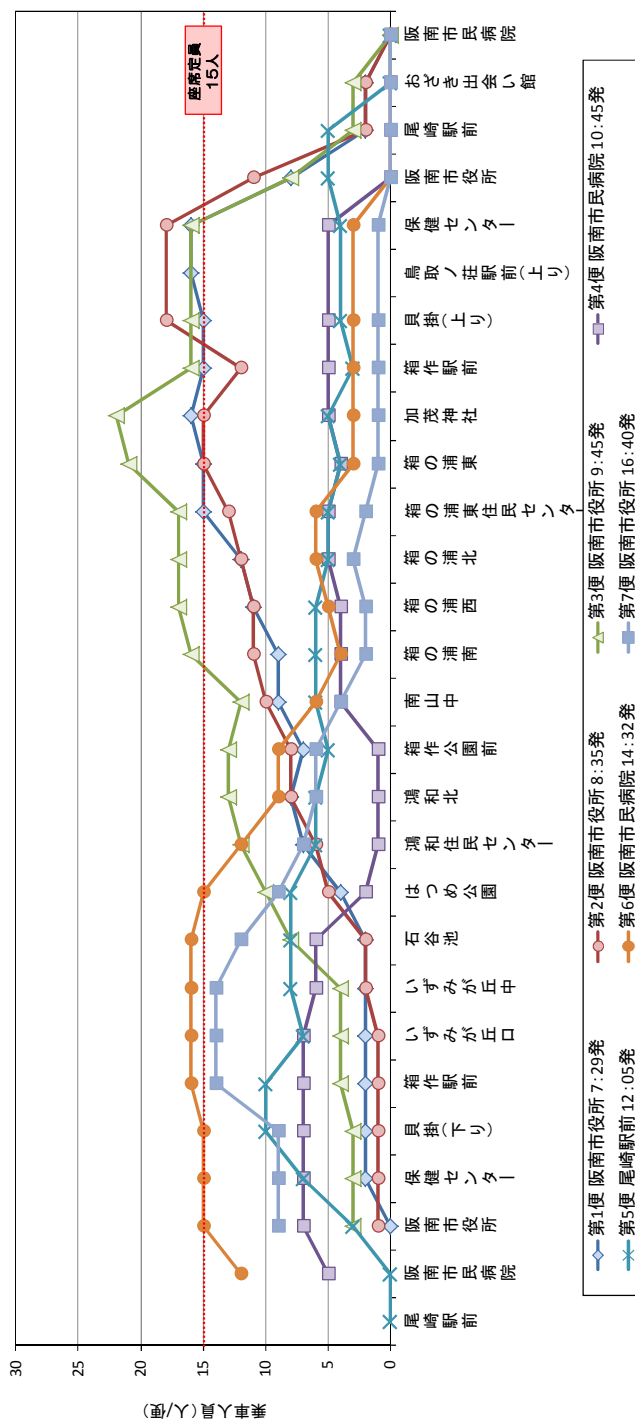


図 2.25 運行便別利用者数 (いずみが丘・箱の浦コース)

(1) 全コース

-
- 路線バス**
- (南河内・王宮バス南部)
 - 尾崎駅前・山手橋方面への移動
 - 尾崎駅前・山手橋方面からの移動
 - その他の移動
 - コミュニティバス (さつぎ号)
 - 尾崎コース
 - 山中道・桜ヶ丘コース
 - 緑ヶ丘・さつき台コース
 - 光園台・舞子コース
 - 桜の木台・万葉台コース
 - いずみが丘・稲の淵コース
- 利用状況**
- | 線路色 | 乗車人数 (単位：人) |
|-----|-------------|
| 黒色 | 9人以上 |
| 赤色 | 7、8人 |
| 青色 | 5、6人 |
| 黄色 | 4人 |
| 白色 | 3人 |
- * 尾崎駅前、阪南市民病院前、阪南市民役所、保蔵センターが対象

図 2.26 OD 集計結果 (全コース)

(2) 【参考】コース別

1) 尾崎コース

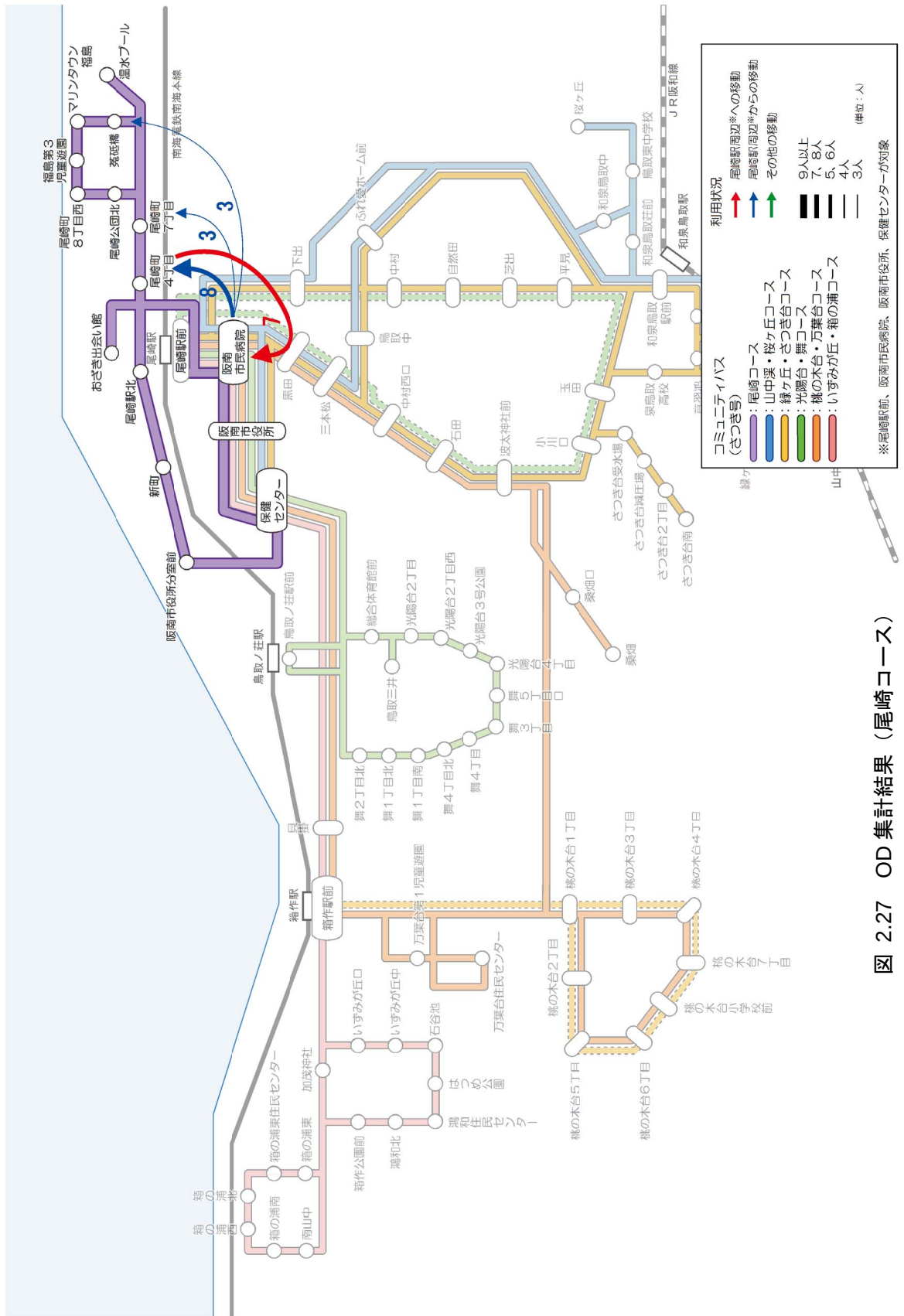


図 2.27 OD 集計結果 (尾崎コース)

2) 山中溪・桜ヶ丘コース

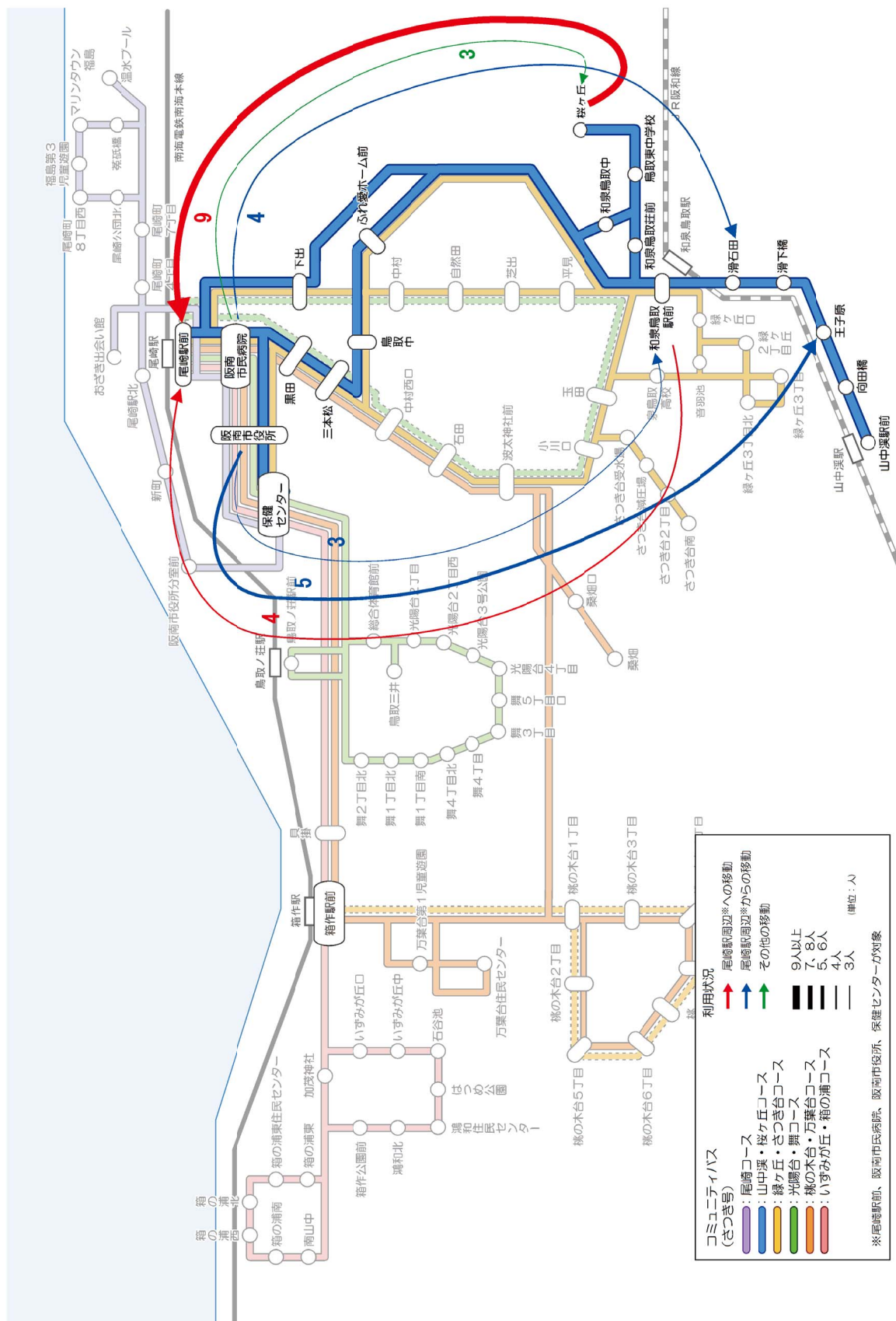


図 2.28 OD 集計結果 (山中溪・桜ヶ丘コース)

3) 緑ヶ丘・さつき台コース

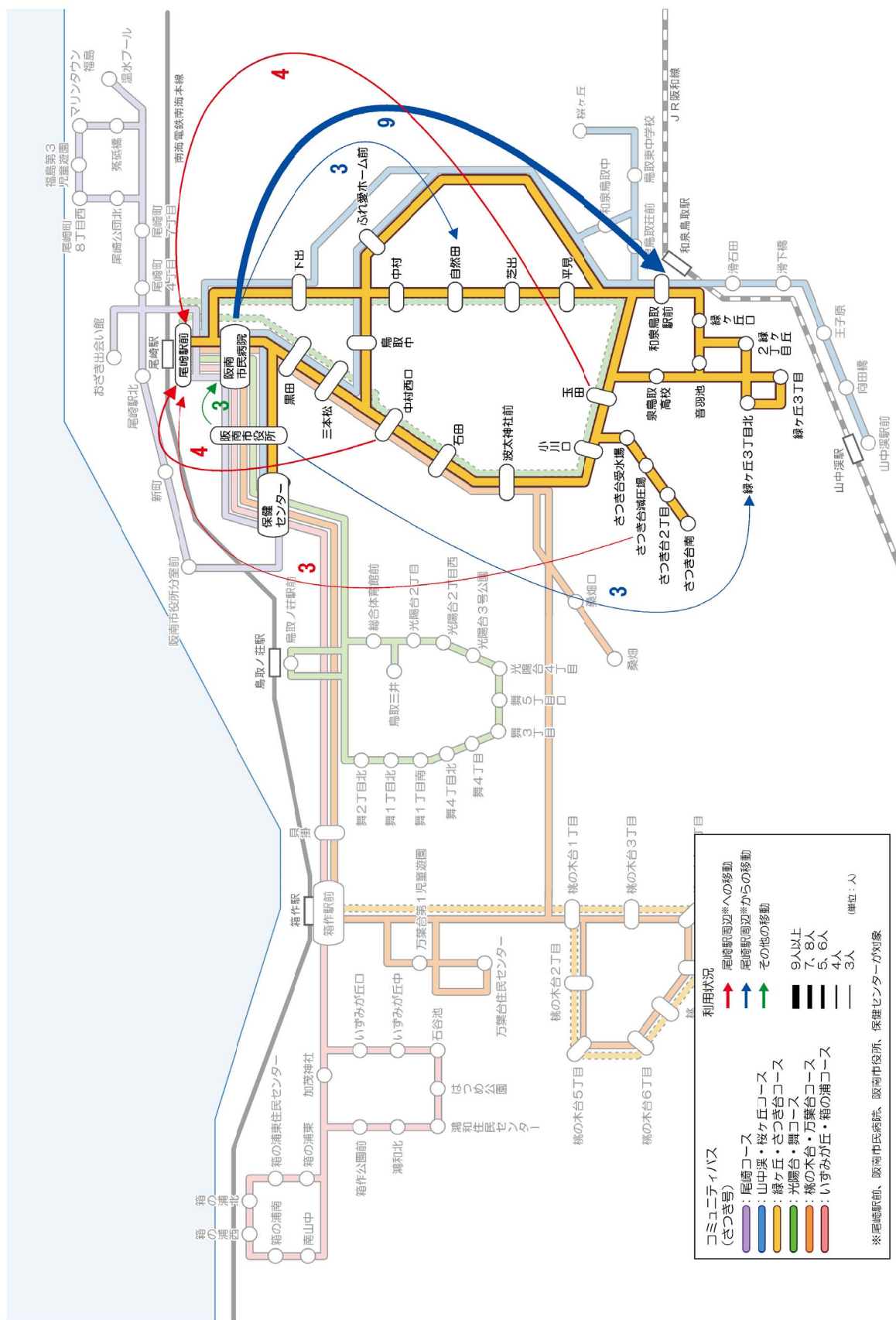


図 2.29 OD 集計結果 (緑ヶ丘・さつき台コース)

4) 光陽台・舞コース

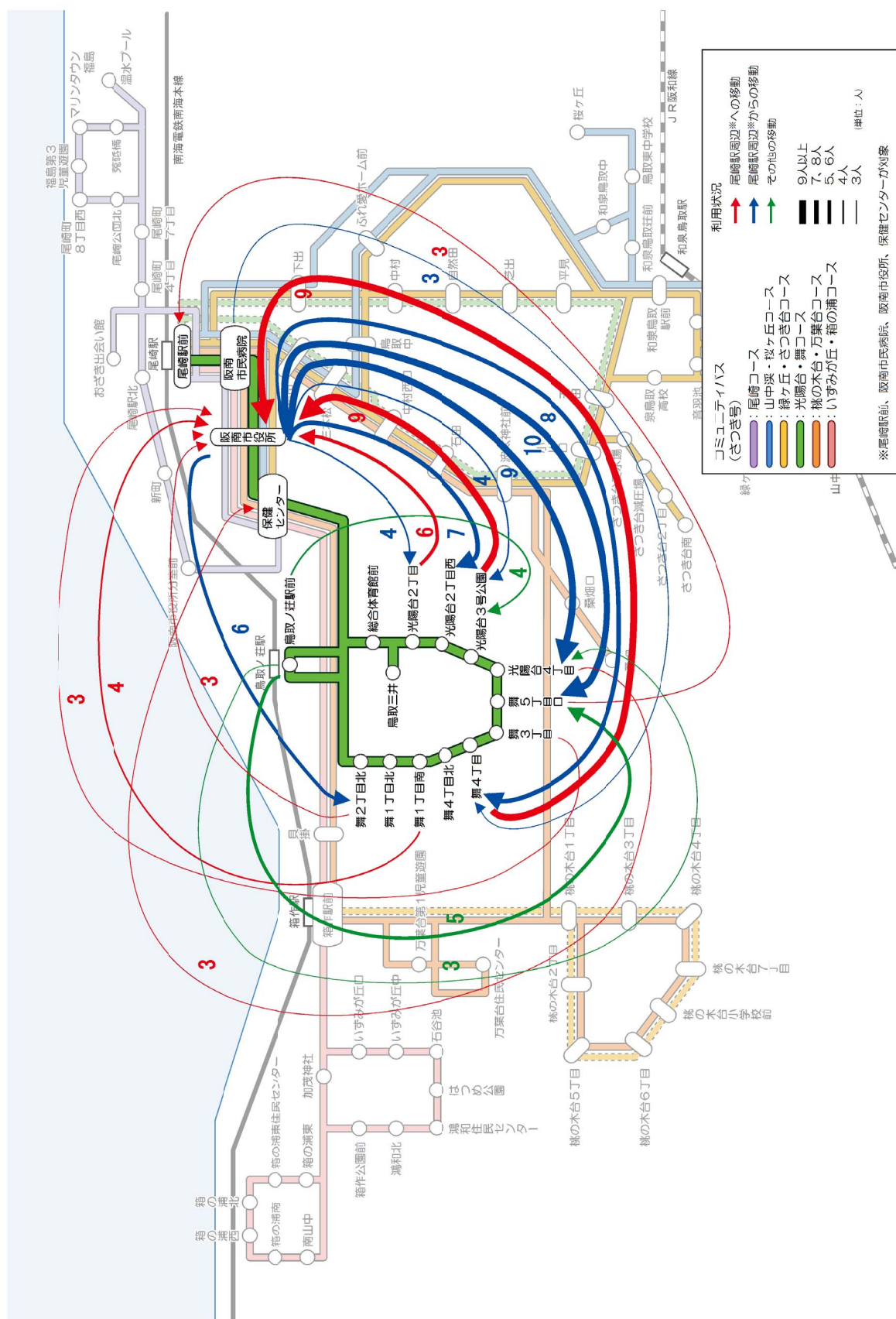


図 2.30 OD 集計結果 (光陽台・舞コース)

5) 桃の木台・万葉台コース

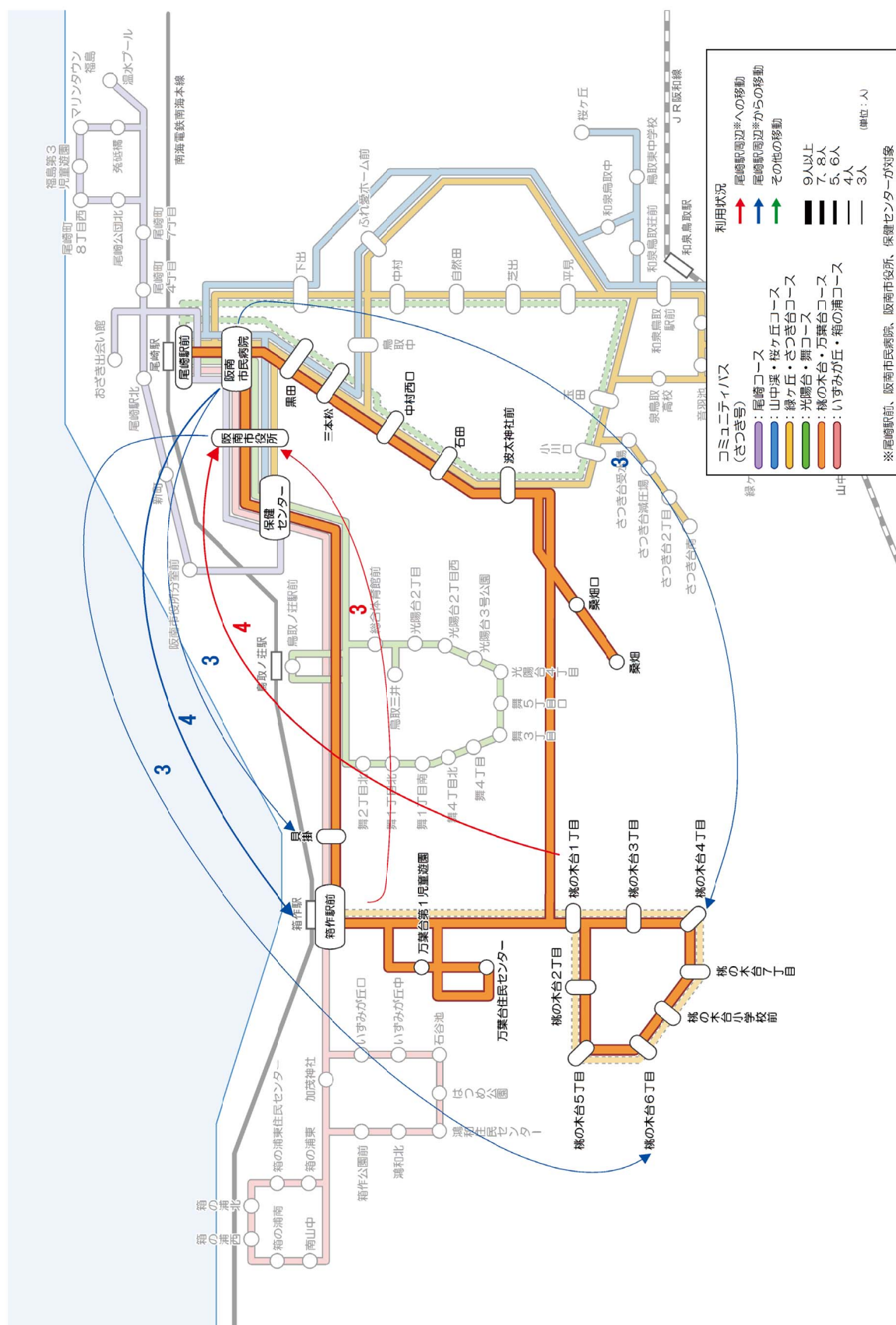


図 2.31 OD 集計結果 (桃の木台・万葉台コース)

6) いずみが丘・箱の浦コース

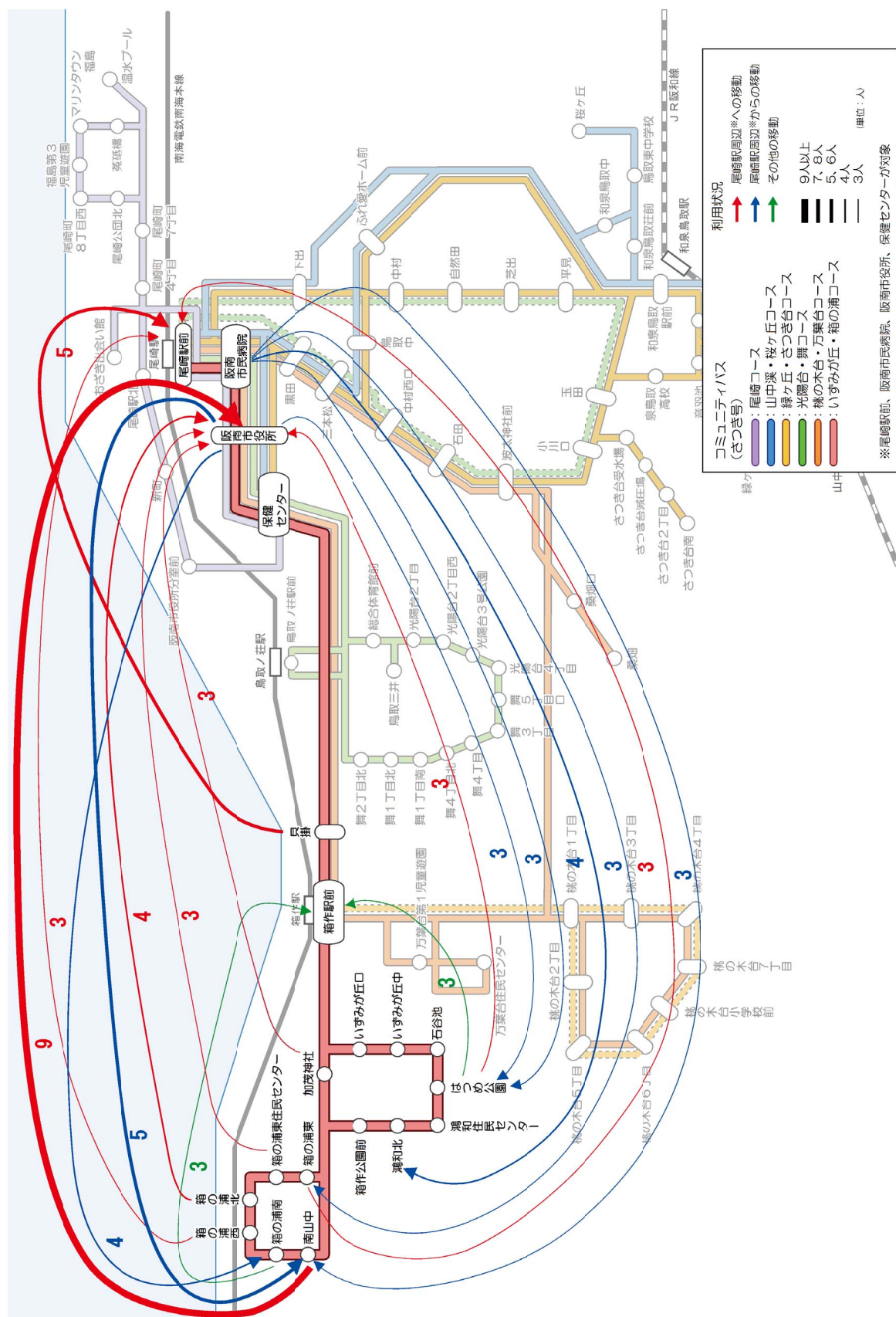


図 2.32 OD 集計結果 (いずみが丘・箱の浦コース)

3. コミュニティバス利用者ヒアリング調査

3.1 コミュニティバス利用者ヒアリング調査概要

コミュニティバス「さつき号」の利用実態等を把握するため、以下の調査実施要領に基づき調査を実施した。

(1) 調査対象

コミュニティバス「さつき号」の利用者

(2) 調査日時

平成 29 年 4 月 24 日（月）10：00～18：00

(3) 調査方法

バス乗車待ちの方を基本的に対象として、対面式の聞き取り調査、もしくは調査員による調査票の配布・回収

(4) 調査場所

阪南市役所、阪南市民病院、尾崎駅前、箱作駅前の
合計 4 バス停

(5) 主な調査項目

- ① コミュニティバス「さつき号」の利用状況
- ② サービス向上による利用意向と支払可能金額
- ③ これまでのルートや時刻表（ダイヤ）の変更による利用状況の変化
- ④ 属性（年齢、住まいの地域、運転免許証の保有状況、利用可能な自動車等の保有状況）

(6) 回収部数

101 部

(7) 注意事項

- ・ グラフ及び表中の構成比（％）は、小数第 2 位を四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも 100％にはなりません。
- ・ サンプル数の見方について、基数となるべき実数は「n」（回答者数）、複数回答が可能な設問では総回答数を「N」としています。
- ・ 属性別のクロス集計については、各属性（性別、年齢、地区等）が無回答のサンプルを除外して集計しています。そのため、属性ごとの各選択肢の回答数を合計しても、調査結果全体の数値と一致しない場合があります。
- ・ 複数回答方式では、割合を算出する分母として、各質問に回答した回答者数としています。このため、回答の合計は 100％を超える場合があります。

■阪南市役所バス停



■阪南市民病院バス停



■尾崎駅前バス停



■箱作駅前バス停



図 3.1 調査時の様子



3.2 集計結果

3.2.1 回答者属性

(1) 性別と年齢

- 回答者の性別は、女性が約 9 割を占める。
- 年齢は、65 歳以上の高齢者が約 7 割を占める

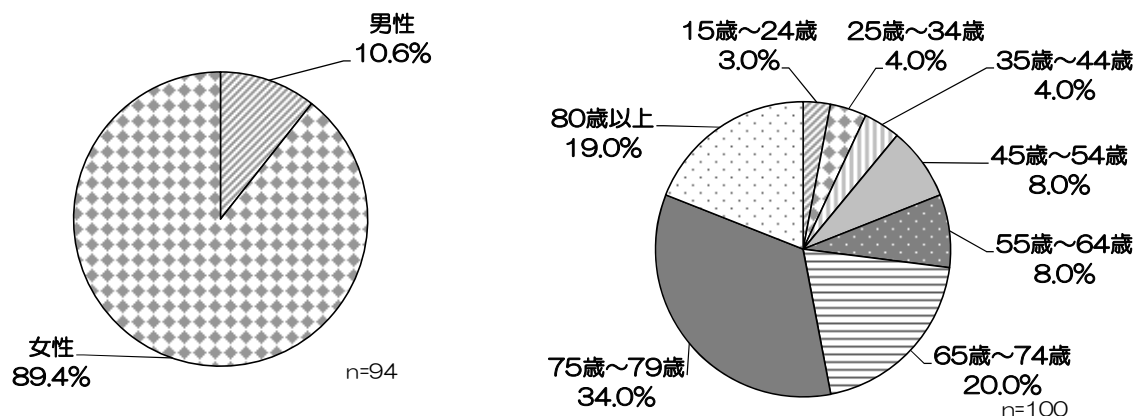


図 3.2 性別（左）と年齢（右）

(2) 住まいの地域

- 住まいの地域は、「舞」が約 20%と最も多く、次いで「箱作」、「桃の木台」、「箱の浦」の順であり、下荘地区や西鳥取地区の回答者が多い。

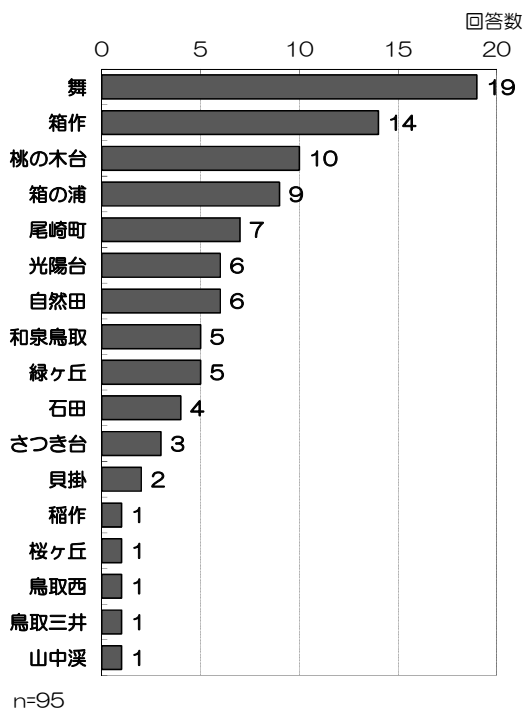


図 3.3 住まいの地域



(3) 運転免許証の保有状況と利用可能な自動車等の保有状況

- 運転免許証の保有状況は、「持っていない」が約 7 割と最も多い。
- 利用可能な自動車等の保有状況は、「持っていない」が最も多く、次いで「自動車（家族が運転する）」、「自転車」、「自動車（自分で運転する）」の順である。

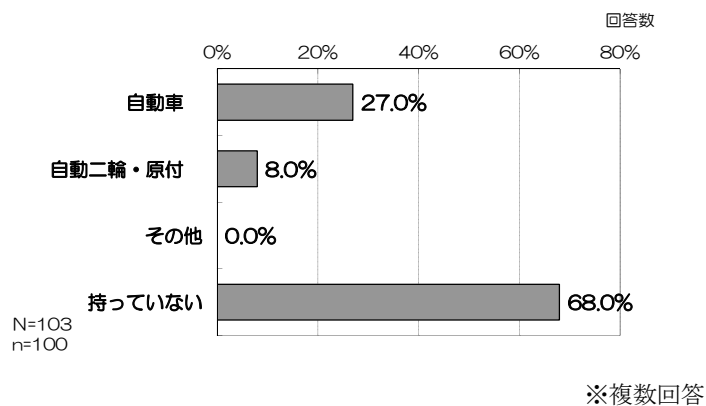


図 3.4 運転免許証の保有状況

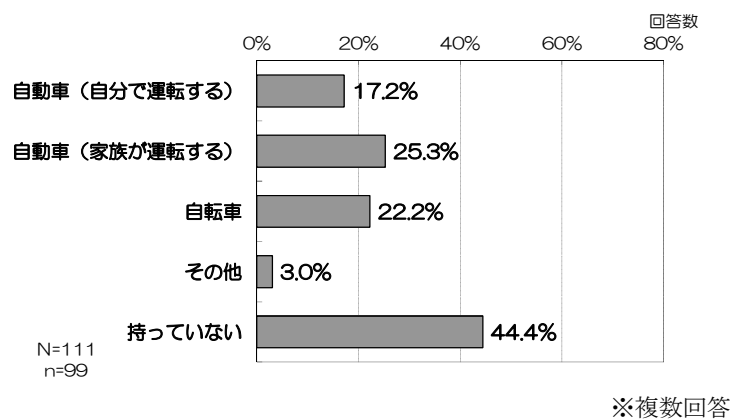


図 3.5 利用可能な自動車等の保有状況

3.2.2 コミュニティバス「さつき号」の利用状況

(1) 利用目的

- 利用目的は、「買い物」が最も多く、次いで「通院」である。また、利用目的が「買い物」と回答した人のうち、約 6 割は「通院」も回答しており、「通院」と回答した人のうち、約 8 割は「買い物」も回答している。

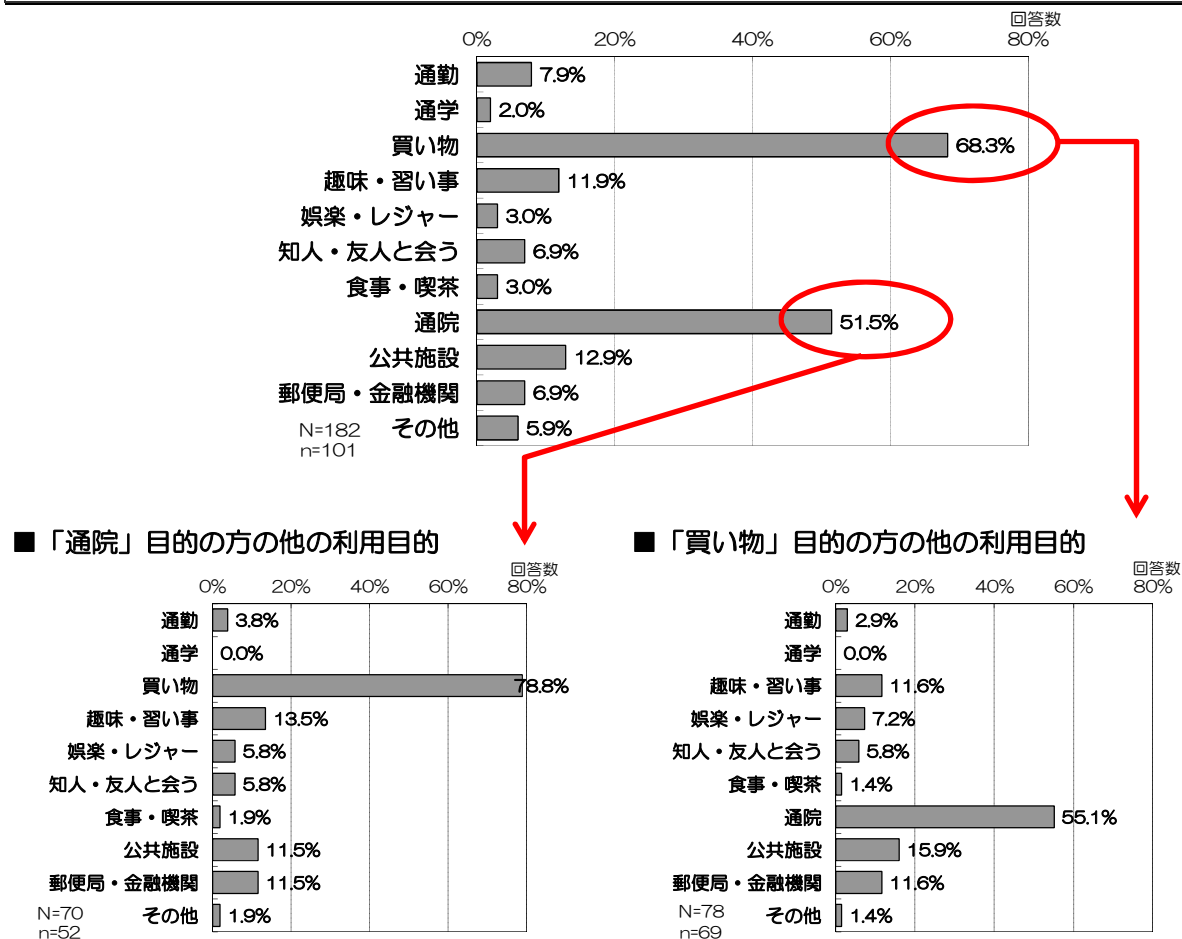


図 3.6 コミュニティバス「さつき号」の利用目的

(2) 利用時間帯

- 利用時間帯は、行きが 8 時台～10 時台が多く、帰りが 12 時台～16 時台が多い。

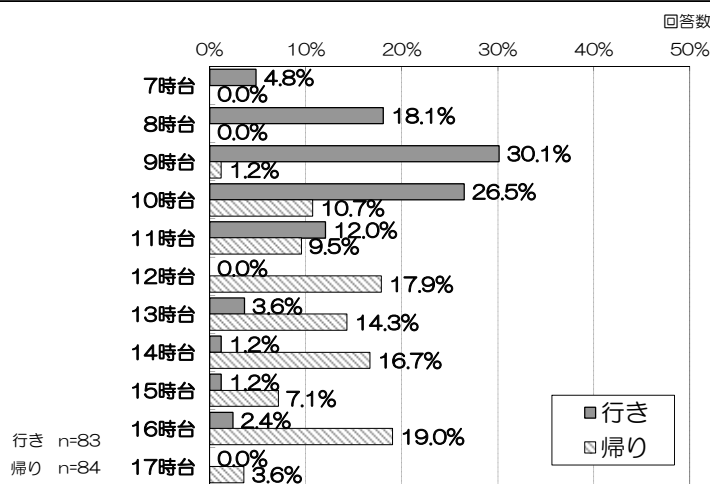


図 3.7 コミュニティバス「さつき号」の利用時間帯

(3) よく利用するコース

- よく利用するコースは、「光陽台・舞コース」が約28%と最も多く、次いで「いずみが丘・箱の浦コース」が約25%、「桃の木台・万葉台コース」が約16%である。

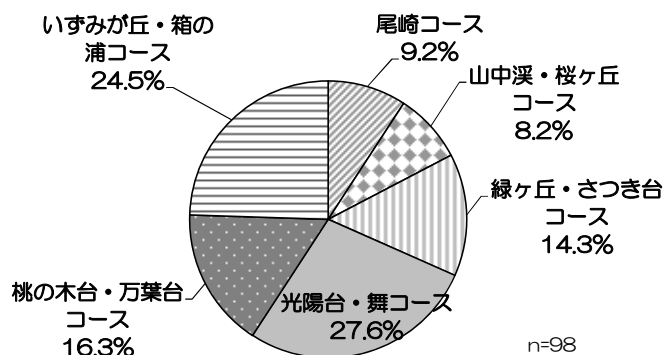
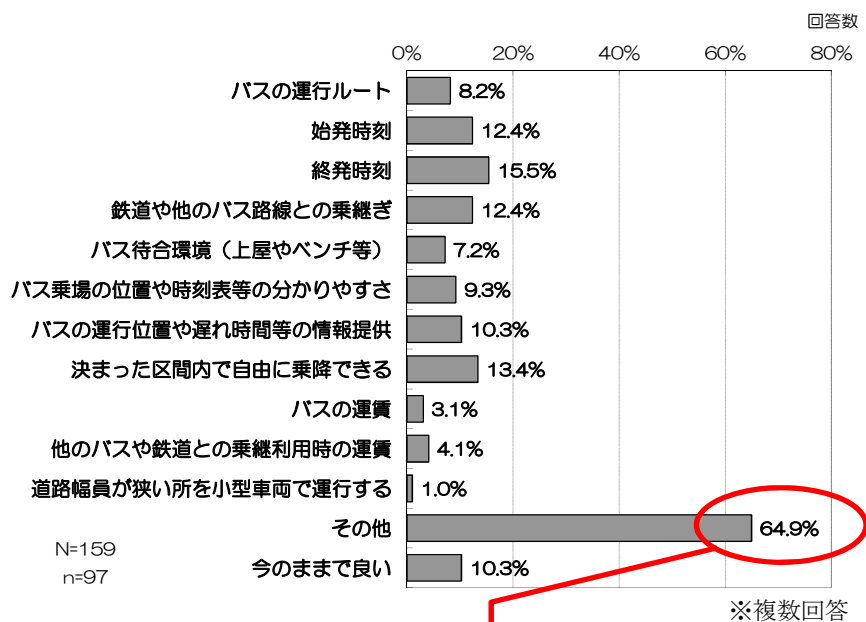


図 3.8 よく利用するコース

3.2.3 サービス向上による利用意向と支払可能金額

(1) 利用しやすくするために改善が必要なこと

- 利用しやすくするために改善が必要なことは、その他の「バスの増便」が最も多く、次いで「終発時刻」、「決まった区間内で自由に乗降できる」、「始発時刻」、「鉄道や他のバス路線との乗継ぎ」の順である。



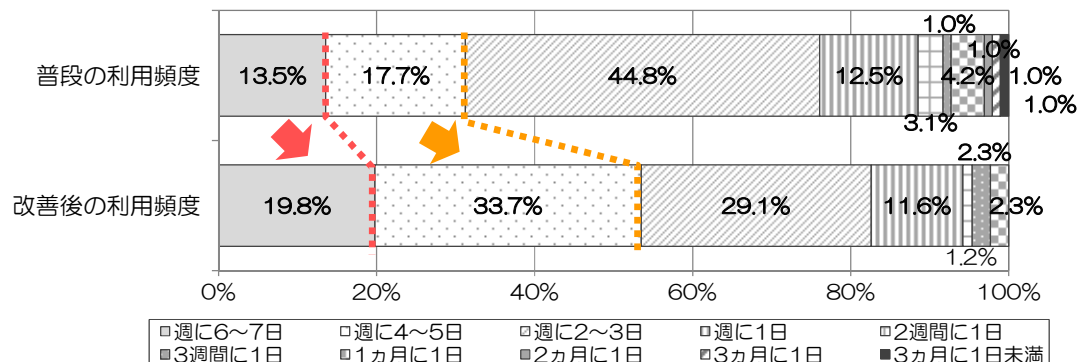
増便してほしい	53
バスの車両について	8
バス停を増やしてほしい	1
無料券の発行	1
合計	63

図 3.9 利用しやすくするために改善が必要なこと



(2) 改善されたことによるバス利用頻度の変化

- 改善されたことによるバス利用頻度の変化は、「週に 4～5 日」利用する方の割合が、改善後の利用頻度が普段の利用頻度と比べ、約 16%増加している。



週に 6～7 日

普段（改善前）：約 14% ⇒ 改善後：約 20%

週に 4～5 日

普段（改善前）：約 18% ⇒ 改善後：約 34%

図 3.10 改善されたことによるバス利用頻度の変化

(3) 改善した場合の支払可能な運賃

- 改善した場合の支払可能な運賃は、「100 円（現状維持）」が最も多い。

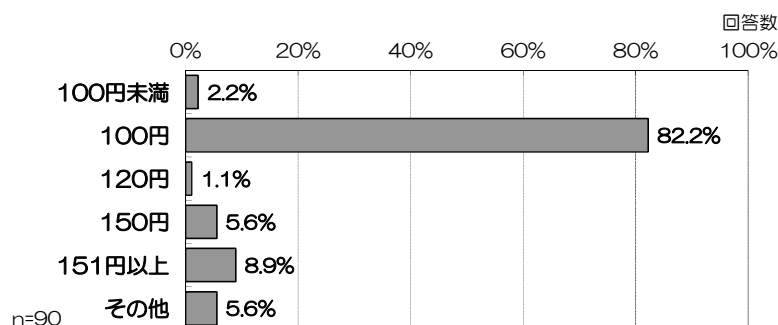


図 3.11 改善した場合の支払可能な運賃

3.2.4 これまでのルートや時刻表の変更による利用状況の変化

- これまでのルートや時刻表（ダイヤ）の変更による利用状況の変化は、「ダイヤ改正前から利用していて、改正後の利用頻度は変わらない」と回答した方が9割以上を占める。

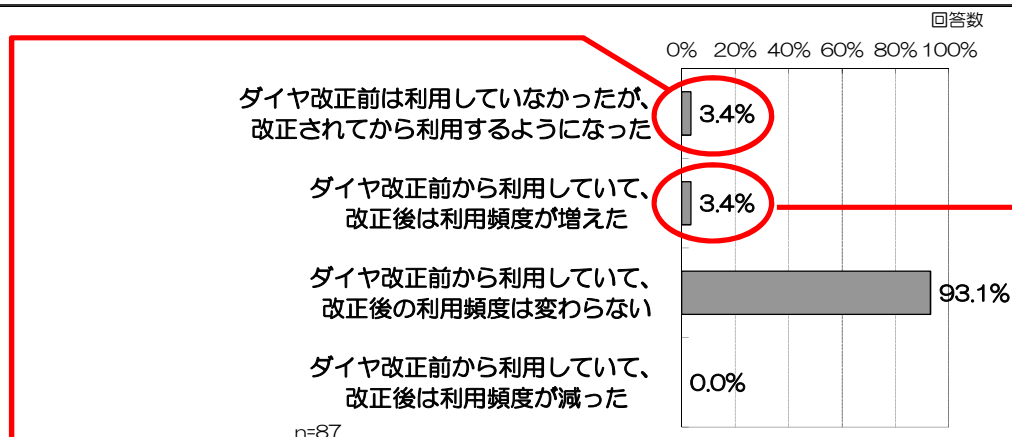


図 3.12 これまでのルートや時刻表（ダイヤ）の変更による利用状況の変化

■ダイヤ改正前は利用していなかったが、改正されてから利用するようになった理由

- ダイヤ改正前は利用していなかったが、改正されてから利用するようになった理由は、「時刻表（ダイヤ）が改正されたから」、「買い物・通院など利用する用事ができたから」である。

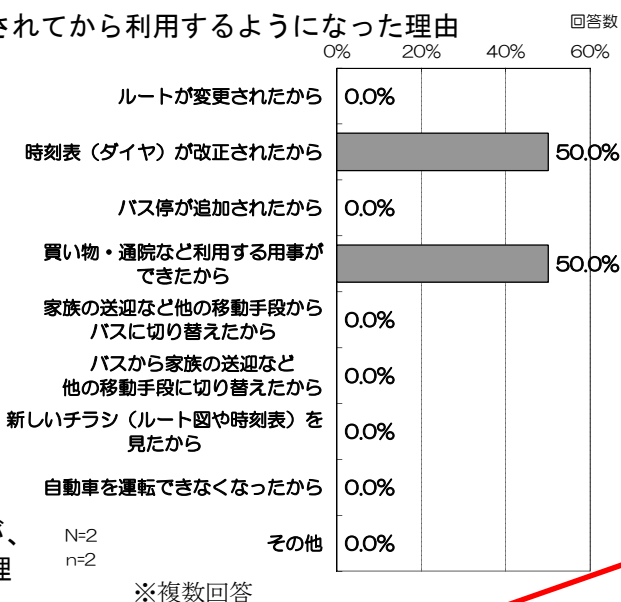


図 3.13 ダイヤ改正前は利用していなかったが、改正されてから利用するようになった理由

■ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が増えた理由

- ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が増えた理由は、「ルートが変更されたから」、「バス停が追加されたから」、「時刻表（ダイヤ）が改正されたから」、「買い物・通院など利用する用事ができたから」、「バスから家族の送迎など他の移動手段に切り替えたから」である。

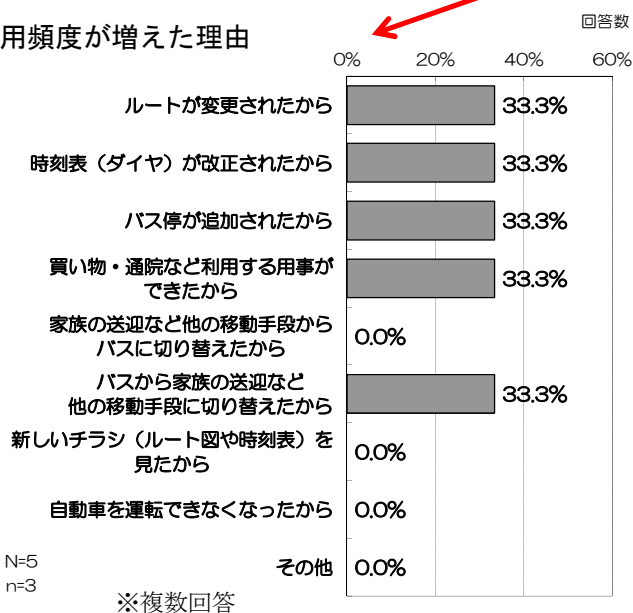


図 3.14 ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が増えた理由

【参考資料 1】住民アンケート調査依頼文・調査票

(1) 住民アンケート調査依頼文

阪南市の公共交通に関するアンケート調査

あなたの公共交通の利用についてお聞かせください

平素は、本市行政の運営に、格別の御高配と御協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、バスや鉄道等の公共交通^{*}は、近年、全国的に利用者が減少し、便数の減少や路線の廃止等が行われています。一方で、高齢化が進行する中、公共交通は、車を運転しない市民の皆様の日常生活を支える重要な役割を担っており、その確保が重要な課題となっています。

そこで、本市では、学識経験者・交通事業者・関係行政機関・公募市民委員等で構成される阪南市公共交通基本計画検討委員会を設置し、今後のまちづくりや交通事業者との連携を踏まえ、持続可能な公共交通をめざすため、「阪南市公共交通基本計画」の策定に向けて検討を始めました。本アンケート調査は、市民の皆様の公共交通に関する利用状況や意向等を把握し、同計画を策定するための基礎資料とするために実施するものです。

この調査では、阪南市にお住まいの15歳以上の方、3,000人 を無作為に抽出し、御回答をお願いしております。御回答いただきました内容は全て、阪南市個人情報保護条例により適切に管理し、無記名で統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することは一切ありません。

つきましては、誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、アンケート調査に御協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月 阪南市長 水 野 謙 二

^{*} 公共交通：不特定多数の人々が利用する交通機関（路線バス・鉄道・コミュニティバス・タクシー等）

【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答は、できるだけあて名の御本人が記入してください。
あて名の御本人が記入できない場合は、御家族の方が御本人の立場に立って記入してください。
2. 回答に際しましては、選択肢の番号に○をし、（ ）内や枠内にはできるだけ具体的に記入してください。
3. 回答は、**平成 29 年 1 月 17 日（火）**までに同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送下さいますようお願いいたします。

これからの
公共交通のあり方を
みんなで考えるための
アンケートだよ



阪南市イメージキャラクター
「はなてい」

■ 調査主体、調査票に関する問合せ先

阪南市公共交通基本計画検討委員会事務局 （阪南市 事業部 都市整備課内）

TEL：072-471-5678（内線 3203） FAX：072-471-5781

E-mail：tosei@city.hannan.lg.jp

※お問合せは、土日祝日を除く平日 9：00～17：00 とさせていただきます。

(2) 住民アンケート調査票

あなたの普段の外出状況についてお聞きます

平日の外出行動についてお聞きます。

問1 あなたが平日に最もよく行く外出先は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 阪南市内

1の場合、以下の①～⑤を選択してください。

- ① 尾崎駅周辺 ② 鳥取ノ荘駅周辺 ③ 箱作駅周辺
④ 和泉鳥取駅周辺
⑤ その他阪南市内 (施設名や住所を記入:)

2. 近隣市町

2の場合、以下の①～④を選択してください。

- ① 泉南市 ② 泉佐野市 ③ 岬町 ④ 和歌山市

3. その他大阪府内 (市区町村名を記入:)

4. その他和歌山県内 (市町村名を記入:)

5. その他府県 (市町村名を記入:)

問2 その外出目的は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院
5. 娯楽・レジャー 6. その他 (具体的に:)

問3 その外出先に行く頻度は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 週に4～5日 2. 週に2～3日 3. 週に1日
4. 2週間に1日 5. 3週間に1日 6. 1カ月に1日
7. 2カ月に1日 8. 3カ月に1日 9. 3カ月に1日未満

問4 その外出時に自宅を出発する時間帯は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. ～6時台 2. 7～8時台 3. 9～10時台
4. 11～12時台 5. 13～14時台 6. 15～16時台
7. 17～18時台 8. 19～20時台 9. 21時台以降

問5 その外出時に自宅へ帰宅する時間帯は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. ～6時台 2. 7～8時台 3. 9～10時台
4. 11～12時台 5. 13～14時台 6. 15～16時台
7. 17～18時台 8. 19～20時台 9. 21時台以降

問6 その外出先には、どのような交通手段で行きますか？ (あてはまるものを選び、番号に○)

1. JR 2. 南海電鉄
3. 路線バス (南海ウイングバス南部)
4. コミュニティバス「さつき号」
5. タクシー
6. 自家用車 (自分で運転)
7. 自家用車 (乗せてもらう)
8. 自動二輪・原付 9. 自転車
11. その他 (具体的に:)

「1. JR」、「2. 南海電鉄」の場合、よく利用する鉄道駅名をご記入ください。

よく利用する鉄道駅名を記入

10. 徒歩のみ



休日の外出行動についてお聞きます。

問7 あなたが休日に最もよく行く外出先は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 阪南市内

1の場合、以下の①～⑤を選択してください。

- ① 尾崎駅周辺 ② 鳥取ノ荘駅周辺 ③ 箱作駅周辺
④ 和泉鳥取駅周辺
⑤ その他阪南市内 (施設名や住所を記入:)

2. 近隣市町

2の場合、以下の①～④を選択してください。

- ① 泉南市 ② 泉佐野市 ③ 岬町 ④ 和歌山市

3. その他大阪府内 (市区町村名を記入:)

4. その他和歌山県内 (市町村名を記入:)

5. その他府県 (市町村名を記入:)

問8 その外出目的は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院
5. 娯楽・レジャー 6. その他 (具体的に:)

問9 その外出先に行く頻度は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 月に6～8日 2. 月に4～5日 3. 月に2～3日 4. 1カ月に1日
5. 2カ月に1日 6. 3カ月に1日 7. 3カ月に1日未満

問10 その外出時に自宅を出発する時間帯は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. ～6時台 2. 7～8時台 3. 9～10時台
4. 11～12時台 5. 13～14時台 6. 15～16時台
7. 17～18時台 8. 19～20時台 9. 21時台以降

問11 その外出時に自宅へ帰宅する時間帯は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. ～6時台 2. 7～8時台 3. 9～10時台
4. 11～12時台 5. 13～14時台 6. 15～16時台
7. 17～18時台 8. 19～20時台 9. 21時台以降

問12 その外出先には、どのような交通手段で行きますか？ (あてはまるものを選び、番号に○)

1. JR 2. 南海電鉄

3. 路線バス (南海ウイングバス南部)

4. コミュニティバス「さつき号」

5. タクシー

6. 自家用車 (自分で運転)

7. 自家用車 (乗せてもらう)

8. 自動二輪・原付 9. 自転車

11. その他 (具体的に:) 10. 徒歩のみ

「1. JR」、「2. 南海電鉄」の場合、
よく利用する鉄道駅名をご記入ください。

よく利用する鉄道駅名を記入



同伴者との外出状況や寄り道の状況についてお聞きます。

問13 普段の外出時において、どなたと一緒に外出（移動）されますか？
（あてはまるものを選び、番号に○）

- | | | | |
|-----------------------|----------|---------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 父親・母親 | 3. 兄弟姉妹 | 4. 祖父・祖母 |
| 5. 子供 | 6. 孫 | 7. 友人 | 8. 近所の方 |
| 9. その他（具体的に： ） → 問14へ | | | |
| 10. いつも一人で移動する → 問16へ | | | |

問13で「1.配偶者」から「9.その他」と回答した方にお聞きます。

問14 一緒に外出（移動）される時の頻度は？ （1つだけ選び、番号に○）

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. 月に1～2日程度 | 5. 月に1日未満 | |

問15 一緒に外出（移動）される時の主な目的は？ （1つだけ選び、番号に○）

- | | | | |
|------------|----------------|--------|-------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 通院 |
| 5. 娯楽・レジャー | 6. その他（具体的に： ） | | |

みなさんにお聞きます。

問16 外出の際に、寄り道をされることはありますか？ （1つだけ選び、番号に○）

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. 月に1～2日程度 | 5. 月に1日未満 | |

普段の移動における満足度についてお聞きます。

問17 日々の生活を営む上で、移動に満足されていますか？ （1つだけ選び、番号に○）

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|---------|-------|
| 1. 不満 | 2. やや不満 | 3. どちらともいえない | 4. やや満足 | 5. 満足 |
|-------|---------|--------------|---------|-------|

問18 市内のバス交通の利便性が高いことはあなたが日常生活を送る上で重要ですか？
（1つだけ選び、番号に○）

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|-------------|----------|
| 1. 重要 | 2. やや重要 | 3. どちらともいえない | 4. あまり重要でない | 5. 重要でない |
|-------|---------|--------------|-------------|----------|

問19 市内のバス交通はどの程度必要ですか？ （1つだけ選び、番号に○）

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|-------------|----------|
| 1. 必要 | 2. やや必要 | 3. どちらともいえない | 4. あまり必要でない | 5. 必要でない |
|-------|---------|--------------|-------------|----------|

市内のバス（路線バス（南海ウイングバス南部）や
コミュニティバス「さつき号」）の利用状況についてお聞きます

市内のバスの利用状況についてお聞きます。

問20 あなたは市内のバスを利用したことがありますか？ （1つだけ選び、番号に○）

- | | | |
|--------------|--------------|--------|
| 1. よく利用する | 2. 時々利用する | → 問21へ |
| 3. ほとんど利用しない | 4. 利用したことがない | → 問28へ |



問 20 で「1.よく利用する」「2.時々利用する」と回答した方にお聞きします。

問21 最もよく利用する市内のバスは？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 主に路線バス(南海ウイングバス南部)
2. 主にコミュニティバス「さつき号」
3. 路線バスとコミュニティバスの両方を同じ程度利用する

問22 よく利用する市内のバス停は？ (バス停名を2つ記入)

【出発地のバス停】 【目的地のバス停】

問23 市内のバスの利用目的は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 通勤
2. 通学
3. 買い物
4. 通院
5. 娯楽・レジャー
6. その他(具体的に:)

問24 市内のバスの利用頻度は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 週に6~7日
2. 週に4~5日
3. 週に2~3日
4. 週に1日
5. 2週間に1日
6. 3週間に1日
7. 1カ月に1日
8. 2カ月に1日
9. 3カ月に1日
10. 3カ月に1日未満

問25 市内のバスの利用時間帯は？ (あてはまるものを2つ選び、番号に○)

1. ~6時台
2. 7~8時台
3. 9~10時台
4. 11~12時台
5. 13~14時台
6. 15~16時台
7. 17~18時台
8. 19~20時台
9. 21時台以降

問26 市内のバスでの移動は満足していますか？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 不満
2. どちらかといえば不満
3. どちらかといえば満足
4. 満足

→ 問 27 へ

→ 問 29 へ

問 26 で「1.不満」「2.どちらかといえば不満」と回答した方にお聞きします。

問27 その理由は何ですか？ (あてはまるものを3つ選び、番号に○)

1. 運行本数が少ない
2. バス停が遠い
3. 鉄道との乗り継ぎが悪い
4. 待ち時間が長い
5. 時間が不正確
6. 目的地まで時間がかかる
7. 利用したい時間に走っていない
8. 目的地にバスが乗り入れていない
9. バスルートが悪い
10. 運賃が高い
11. バスルートや時刻表の情報が不足
12. その他(具体的に:)

→ 問 29 へ

問 20 で「3.ほとんど利用しない」及び「4.利用したことがない」と回答した方にお聞きします。

問28 市内のバスを利用しない理由は？ (あてはまるものを3つ選び、番号に○)

1. 運行本数が少ない
2. バス停が遠い
3. 鉄道との乗り継ぎが悪い
4. 待ち時間が長い
5. 時間が不正確
6. 目的地まで時間がかかる
7. 利用したい時間に走っていない
8. 目的地にバスが乗り入れていない
9. バスルートが悪い
10. 運賃が高い
11. バスルートや時刻表の情報が不足
12. 駅が近い
13. 徒歩で移動する
14. 自動車で移動する
15. 自転車やバイクで移動する
16. その他(具体的に:)

みなさんにお聞きします。

問29 サービスが改善された場合、市内のバスの利用が増えますか？

(1つだけ選び、番号に○)

1. 今よりももっと乗るようになる

2. 今より少しだけ乗るようになる

3. 今とほとんど変わらない

4. わからない

→ 問 30 へ

→ 問 32 へ

問 29 で「1. 今よりももっと乗るようになる」及び「2. 今より少しだけ乗るようになる」と回答した方にお聞きします。

問30 何が改善されたら市内のバスの利用が増えますか？

(あてはまるものを3つ選び、番号に○)

1. バスルート

2. 始発時刻

3. 終発時刻

4. 鉄道や他のバス路線との乗継ぎ

5. バス待合環境（上屋やベンチ等）

6. バス乗場の位置や時刻表等の分かりやすさ

7. バスの現在位置や遅れ時間等の情報提供

8. 決まった区間内で自由に乗降できる

9. バスの運賃

10. 他のバスや鉄道との乗継利用時の運賃

11. 道路幅員が狭い所を小型車両で運行する

12. その他（具体的に：

）

問31 サービスが改善することで、どれくらい利用が増えますか？

(1つだけ選び、番号に○)

1. 週に6～7日

2. 週に4～5日

3. 週に2～3日

4. 週に1日

5. 2週間に1日

6. 3週間に1日

7. 1カ月に1日

8. 2カ月に1日

9. 3カ月に1日

10. 3カ月に1日未満

みなさんにお聞きします。

問32 バスが便利になったら、バスを利用して行ってみたい外出先は？

(1つだけ選び、番号に○)

1. ある（施設名や住所を記入： ）

→ 問 33 へ

2. ない

→ 問 34 へ

問 32 で「1.ある」と回答した方にお聞きします。

問33 その外出先へバスで行けるようになった場合、どのくらいの頻度で利用しますか？

(1つだけ選び、番号に○)

1. ほぼ毎日

2. 週に3～4日

3. 週に1～2日程度

4. 月に1～2日程度

5. 月に1日未満

6. 半年に1日程度

7. 1年に1日程度

みなさんにお聞きします。

公共交通の税負担に関する意識についてお聞きします

阪南市では、市民の交通手段を確保するために、阪南市コミュニティバス「さつき号」の運行に年間約3,700万円（市民1人あたり年間で約670円）の財政負担をしています（平成26年度実績）。

また、運行経費を利用料金でまかなうには、今の約5倍の利用者数が必要となります。

阪南市コミュニティバス「さつき号」は、市内6コースを毎日（※年末年始（12月30日から翌年1月3日）を除く）運行しており、1乗車100円（※障がいのある方および未就学児は無料）でどなたでもご乗車いただくことができます。



問34 こうした中で、バスを維持・充実するために、市が経費を負担することについて
どう思いますか。 (1つだけ選び、番号に○)

1. 当然だと思う 2. 仕方がない 3. 反対

問35 阪南市コミュニティバス「さつき号」を今後も維持していくためにはどのように
すれば良いと考えますか？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 便数や路線を充実させるために、利用者の運賃を値上げすべき
2. 便数や路線を充実させるために、利用者の運賃の値上げをせずに市が財政負担すべき
3. 現状の路線や便数を維持するために、利用者の運賃を値上げすべき
4. 現状の路線や便数を維持するために、利用者の運賃の値上げをせずに市が財政負担すべき
5. 市の財政負担を下げるために、路線の縮小や減便をすべき

阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度についてお聞きます

問36 阪南市の交通に関する現状の満足度と重要度についてお答えください。
(1)から(5)について、あてはまるものをそれぞれ1つだけ選び、番号に○)

	満 足 度					重 要 度					
	不 満	やや 不 満	い え な い	ど か ら でも	やや 満 足	満 足	重要 でない	あ ま り 重 要	い え な い	ど か ら でも	やや 重 要
例) 高齢者や障がい者が外出しやすい	1	②	3	4	5	1	2	3	4	5	
(1) 高齢者や障がい者が外出しやすい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(2) 子育てする人が気軽に安全に移動できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(3) 自家用車がなくても（運転できなくても）気軽に移動できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(4) 阪南市から大阪市や他都市への移動がしやすい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(5) 駅周辺を楽しく歩いて回遊できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

将来における外出についてお聞きます

問37 将来、あなたの外出が変化するのはいつ頃からだと思いますか？
(1つだけ選び、番号に○)

1. 就職してから 2. 結婚してから 3. 子供ができてから
4. 子供が進学してから 5. 子供が独立してから 6. 退職してから
7. 身体機能が低下してから 8. 自動車を運転出来なくなってから
9. その他(具体的に:) 問 38 へ
10. 変化しない 問 44 へ 問 39 へ

問 37 で「6.退職してから」と回答した方にお聞きます。

問38 退職してから何をしたい、何ができればいいと思いますか？
(1つだけ選び、番号に○)

1. 今の仕事を続けたい 2. 別の仕事をしたい 3. 社会貢献活動をしたい
4. 家庭菜園などをしたい 5. 孫の面倒をみたい 6. 旅行したい
7. ゆっくりしたい 8. その他(具体的に:)



問 37 で「1.就職してから」から「9.その他」と回答した方にお聞きします。

問39 外出が変化してからの外出頻度は、現在と比べて変化すると思いますか？
(1つだけ選び、番号に○)

1. 今より増えると思う 2. 今と変わらないと思う 3. 今より減ると思う

問40 主にどのような目的での外出が多くなると思いますか？(1つだけ選び、番号に○)

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院
5. 娯楽・レジャー 6. その他(具体的に:)

問41 その主な外出先はどこだと思いますか？(1つだけ選び、番号に○)

1. 阪南市内 1の場合、以下の①～⑤を選択してください。

- ① 尾崎駅周辺 ② 鳥取ノ荘駅周辺 ③ 箱作駅周辺
④ 和泉鳥取駅周辺
⑤ その他阪南市内(施設名や住所を記入:)

2. 近隣市町 2の場合、以下の①～④を選択してください。

- ① 泉南市 ② 泉佐野市 ③ 岬町 ④ 和歌山市

3. その他大阪府内(市区町村名を記入:)
4. その他和歌山県内(市町村名を記入:)
5. その他府県(市町村名を記入:)

問42 その外出先には、どのような交通手段で行きますか？(1つだけ選び、番号に○)

1. JR 2. 南海電鉄

3. 路線バス(南海ウイングバス南部)
4. コミュニティバス「さつき号」

5. タクシー
6. 自家用車(自分で運転)
7. 自家用車(乗せてもらう)
8. 自動二輪・原付
9. 自転車
10. 徒歩のみ
11. その他(具体的に:)

「1. JR」、「2. 南海電鉄」の場合、
利用する鉄道駅名をご記入ください。

利用する鉄道駅名を記入

「3. 路線バス」、「4. コミュニティバス」の場合、
利用するバス停名を2つご記入ください。

利用するバス停名を記入

1つ目

2つ目

問43 将来における外出時の移動で重要と考えられるものは？
(重要だと思う順に並び替え)

1. 時間(速く移動できる) 2. 料金(運賃等が安い)
3. 安全(事故等のリスク低減) 4. 楽しさ(友人や家族との交流)

①番目 ②番目 ③番目 ④番目
【 】⇒【 】⇒【 】⇒【 】



みなさんにお聞きします。

問44 公共交通を維持するためには、多くの方が利用する必要があります。
自家用車中心の生活から公共交通中心の生活に転換できますか？
(1つだけ選び、番号に○)

1. 既に公共交通が中心の生活
2. たまにならでできと思う
3. 将来、高齢になるとできと思う
4. 現状の公共交通の状況だとできない・変わらないと思う

(その理由を記入：)

尾崎駅周辺のまちづくりのあり方についてお聞きします

問45 南海本線尾崎駅及び尾崎駅周辺の施設や店舗等を利用しますか？
(1つだけ選び、番号に○)

1. 利用する
2. ときどき利用する
3. 利用しない

→ 問 46 へ

→ 問 47 へ

問 45 で「1.利用する」・「2.ときどき利用する」と回答した方にお聞きします。

問46 南海本線尾崎駅及び尾崎駅周辺の施設や店舗等まで、どのような交通手段で行きますか？
(1つだけ選び、番号に○)

1. 路線バス（南海ウイングバス南部）
2. コミュニティバス「さつき号」
3. タクシー
4. 自家用車（自分で運転）
5. 自家用車（乗せてもらう）
6. 自動二輪・原付
7. 自転車
8. 徒歩のみ
9. その他（具体的に：)

みなさんにお聞きします。

問47 尾崎駅周辺で必要な機能として、特に充実すべき機能は何ですか？
(あてはまるものを3つ選び、番号に○)

1. バスのアクセス機能
2. 自家用車のアクセス機能
3. タクシーのアクセス機能
4. 自転車のアクセス機能
5. にぎわい空間機能
6. 医療・福祉機能
7. 商業・業務機能
8. 文化・スポーツ機能
9. 1～8 以外に必要なだと思う機能（具体的に：)
10. 特になし

ご近所付き合いについてお聞きします

問48 あなたは、ご近所付き合いをどの程度していますか。(1つだけ選び、番号に○)

1. 付き合いはまったくない
2. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
3. 日常的に立ち話をする程度の付き合いをしている
4. 時々、お互いの家で交流したり、外で一緒に食事を楽しんだりする人がいる
5. 互いに色々相談したり、生活面で協力し合う人がいる



問49 あなたは、地域活動に参加していますか？ (1つだけ選び、番号に○)

1. よく参加している 2. たまに参加している 3. ほとんど参加していない
4. 参加していない 5. わからない

最後にあなたご自身のことについてお聞きします

問50 あなたの性別は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 男性 2. 女性

問51 あなたの年齢は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 15歳～24歳 2. 25歳～34歳 3. 35歳～44歳
4. 45歳～54歳 5. 55歳～64歳 6. 65歳～74歳
7. 75歳～79歳 8. 80歳以上

問52 あなたが住んでいる地域は？

阪南市

町丁・字まで

例) 阪南市尾崎町●番地の●の場合

尾崎町

例) 阪南市桃の木台1丁目●番地●号の場合

桃の木台1丁目

問53 あなたの職業は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 常勤で就労 2. 自営・自由業 3. パート・非常勤 4. 学生
5. 家事専業 6. 無職 7. その他 (具体的に:)

問54 運転免許証を保有していますか？ (あてはまるものを選び、番号に○)

1. 自動車 2. 自動二輪・原付 3. その他 (記入:)
4. 持っていない

問55 あなたが利用できる自動車等の乗り物をお持ちですか？

(あてはまるものを選び、番号に○)

1. 自動車 (自分で運転する) 2. 自動車 (家族が運転する)
3. 自動二輪・原付 4. 自転車
5. その他 (記入:)
6. 持っていない

問56 あなたの家族構成は？ (あてはまるものを選び、番号に○)

1. 未就学児と同居 2. 小学生と同居 3. 移動が困難な家族と同居
4. 一人暮らし 5. いずれにも該当しない

問57 外出する頻度は？ (1つだけ選び、番号に○)

1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日程度
4. 月に1～2日程度 5. 月に1日未満



問58 どのくらいの距離を歩く事ができますか。 (1つだけ選び、番号に○)

1. 問題なく歩ける 2. 長い距離を歩くのがつらい 3. 歩行困難

問59 自宅の最寄りにあるバス停を知っていますか？ (1つだけ選び、番号に○)

1. 知っている 2. 場所は知っているが、バス停名は知らない
3. 近くにバス停はない 4. バス停の場所がわからない

問60 市内の公共交通*に対してのご意見や、こうすれば利用しやすくなるといったアイデアがあればご記入ください。

*公共交通：不特定多数の人々が利用する交通機関（路線バス・コミュニティバス・タクシー・鉄道等）

最後までアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

【参考資料 2】コミュニティバス利用者ヒアリング調査票

阪南市コミュニティバス「さつき号」利用者ヒアリング票

阪南市コミュニティバス「さつき号」を今後も継続して運行していくための検討を行うために、ご利用の皆様のご意見をお聞きしております。ご協力の程、よろしくお願い致します。

調査主体：阪南市公共交通基本計画検討委員会事務局（阪南市 事業部 都市整備課内）
調査委託機関：株式会社建設技術研究所

あなたご自身のことについてお聞きします

問1 あなたの年齢は？（1つだけ選び、番号に○）

1. 15歳～24歳 2. 25歳～34歳 3. 35歳～44歳 4. 45歳～54歳
5. 55歳～64歳 6. 65歳～74歳 7. 75歳～79歳 8. 80歳以上

問2 あなたが住んでいる地域は？

1. 市内にお住いの場合 阪南市（ ）町丁・字まで
2. 市外にお住いの場合 （ ）市・区・町・村

問3 運転免許証を保有していますか？（あてはまるもの全てに○）

1. 自動車 2. 自動二輪・原付 3. その他（記入： ）
4. 持っていない

問4 あなたが利用できる自動車等の乗り物をお持ちですか？（あてはまるもの全てに○）

1. 自動車（自分で運転する） 2. 自動車（家族が運転する）
3. 自転車 4. その他（記入： ）
5. 持っていない

コミュニティバスの利用状況についてお聞きします

問5 コミュニティバスの利用目的は？（あてはまるもの全てに○）

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 趣味・習い事
5. 娯楽・レジャー 6. 知人・友人と会う 7. 食事・喫茶 8. 通院
9. 公共施設 10. 郵便局・金融機関 11. その他（具体的に： ）

問6 コミュニティバス利用する時間帯は？（時間帯を記入）

【行き】 時台 【帰り】 時台

問7 よく利用する路線はどれですか？（1つだけ選び、番号に○）

1. 尾崎コース 2. 山中溪・桜ヶ丘コース 3. 緑ヶ丘・さつき台コース
4. 光陽台・舞コース 5. 桃の木台・万葉台コース 6. いずみが丘・箱の浦コース

問8 よく利用するバス停はどこですか？（ルート図から選択し、記入）

乗車バス停

降車バス停



コミュニティバス利用のサービス向上による利用意向と
支払可能金額についてお聞きします

問9 コミュニティバスをもっと利用しやすくするためにどのようなことを改善した方が
良いと思いますか？ (あてはまるものを3つ選び、番号に○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. バスの運行ルート | 2. 始発時刻 |
| 3. 終発時刻 | 4. 鉄道や他のバス路線との乗継ぎ |
| 5. バス待合環境（上屋やベンチ等） | 6. バス乗場の位置や時刻表等の分かりやすさ |
| 7. バスの運行位置や遅れ時間等の情報提供 | 8. 決まった区間内で自由に乗降できる |
| 9. バスの運賃 | 10. 他のバスや鉄道との乗継利用時の運賃 |
| 11. 道路幅員が狭い所を小型車両で運行する | 12. その他（具体的に： ） |
| 13. 今のままで良い | |

問10 改善した方が良いところは具体的にどのようなことですか？

(具体的にご意見を記入)

例) バスに乗るときの段差で、足が痛くなるので、乗り降りしやすいバス車両にしてほしい。

問11 コミュニティバスの利用頻度は？

(1つだけ選び、番号に○)

- | | | | |
|-----------|--------------|-----------|-----------|
| 1. 週に6～7日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 | 4. 週に1日 |
| 5. 2週間に1日 | 6. 3週間に1日 | 7. 1ヵ月に1日 | 8. 2ヵ月に1日 |
| 9. 3ヵ月に1日 | 10. 3ヵ月に1日未満 | | |

問12 改善することで、どれくらい利用が増えますか？

(1つだけ選び、番号に○)

- | | | | |
|-----------|--------------|-----------|-----------|
| 1. 週に6～7日 | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 | 4. 週に1日 |
| 5. 2週間に1日 | 6. 3週間に1日 | 7. 1ヵ月に1日 | 8. 2ヵ月に1日 |
| 9. 3ヵ月に1日 | 10. 3ヵ月に1日未満 | | |

問13 上記の項目を改善した場合の支払可能な運賃は？

現在：100円 ⇒ 改善後（ ）円

コミュニティバスの利用状況の変化についてお聞きします

問14 これまでのルートや時刻表（ダイヤ）の変更によるコミュニティバスの利用状況の
変化は？ (1つだけ選び、番号に○)

- | |
|--|
| 1. ダイヤ改正前は利用していなかったが、改正されてから利用するようになった |
| 2. ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が増えた |
| 3. ダイヤ改正前から利用していて、改正後の利用頻度は変わらない |
| 4. ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が減った |

→ 問15へ

設問は以上です。ヒアリング調査に
ご協力いただき、ありがとうございました。



問 14 で「1. ダイヤ改正前は利用していなかったが、改正されてから利用するようになった」・「2. ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が増えた」あるいは「4. ダイヤ改正前から利用していて、改正後は利用頻度が減った」と回答した方にお聞きします。

問 15 利用頻度が増えたもしくは利用頻度が減った理由は？
(あてはまるものを選び、番号に○)

1. ルートが変更されたから
2. 時刻表（ダイヤ）が改正されたから
3. バス停が追加されたから
4. 買い物・通院など利用する用事が出来たから
5. 家族の送迎など他の移動手段からバスに切り替えたから
6. バスから家族の送迎など他の移動手段に切り替えたから
7. 新しいチラシ（ルート図や時刻表）を見たから
8. 自動車を運転出来なくなったから
9. その他（具体的に： ）

最後までヒアリング調査にご協力いただき、ありがとうございました。

調査員 記入欄	時 分	バス停名称：
	男 ・ 女	

Hannan City

Public Transportation Master Plan

Since 2018.3

